愛情点検　長年ご使用のデジタルセットトップボックスの点検を！

こんな症状はありませんか？	●映像も音も出ない。 ●映像が時々消える。 ●異常な臭いや音がする。 ●水や異物が入った。	▶	このような症状のときは使用を中止し、故障や事故防止のため、コンセントから電源プラグを抜いて、必ずご加入のケーブルテレビ局に点検をご相談ください。

便利メモ

おぼえのため記入されると便利です。

ご加入（契約）日	年　　月　　日	品　番	TZ-DCH
ケーブルテレビ局および お客様相談室	（　　　）　　－		

ID番号	ID番号	C-CASカード（カードID）
（49ページの「情報を見る」「ICカード」画面で確認できる「カードID」と「CATV-IDのSTB-ID」を記入してください。問い合わせのときに必要な場合があります。）		B-CASカード（カードID）
		CATV-ID（STB-ID）

パナソニック株式会社
AVCネットワークス社　映像・ディスプレイデバイス事業グループ

〒571－8504　大阪府門真市松生町1番15号

S0708-3118

Panasonic
CATVデジタルセットトップボックス　TZ-DCH520/TZ-DCH820/TZ-DCH1520/TZ-DCH1820　取扱説明書

Panasonic®

取扱説明書

CATVデジタル セットトップボックス

品番 TZ-DCH520
TZ-DCH820
TZ-DCH1520
TZ-DCH1820

このたびは、ケーブルテレビ局にご加入くださいまして、まことにありがとうございます。

● 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
● **ご使用前に「安全上のご注意」（98～101ページ）を必ずお読みください。**
　この取扱説明書は大切に保管してください。
● 取扱説明書は、TZ-DCH520、TZ-DCH520B、TZ-DCH820、TZ-DCH820B、TZ-DCH1520、TZ-DCH1520B TZ-DCH1820、TZ-DCH1820B共用ですが、機種により接続と設定内容が異なります。

TQBX0378-1

もくじ

確認

録画

番組を見る

ブラウザを楽しむ

●この取扱説明書のイラストや画面はイメージであり、実際とは異なる場合があります。

「安全上のご注意」を必ずお読みください
(☞98～101ページ)

便利に使う

接続・設定

外部機器の接続

必要なとき

本機の特長と楽しみかた

デジタル放送を楽しむ

本機は、地上・BS・CSデジタル放送、日本ケーブルラボ標準デジタル放送を受信するCATV用デジタルセットトップボックスです。ご加入のケーブルテレビ局のサービス内容により放送内容が異なります。詳しくは、ご加入のケーブルテレビ局にお問い合わせください。

地上デジタル

地上波のUHF放送(13～62ch)の周波数帯を使って行うデジタル放送で、高画質な映像や多チャンネルの番組以外に地域密着型のデータ放送なども行われています。

※本機では、ワンセグ放送は受信できません。

番組表を使う (☞18ページ)

画面上に番組を新聞のテレビ欄のように一覧表示します。
(最大8日分：ご契約のケーブルテレビ局により異なります)

- 番組表から選局や録画予約ができます。
- 地上デジタルの番組情報は地上デジタル放送、衛星デジタルの番組情報は衛星デジタル放送と一緒に送られています。

BSデジタル

放送衛星(Broadcasting Satellite)(ブロードキャスティング・サテライト)を使って行う放送でハイビジョン放送やデータ放送が特長です。BS日テレ、BS朝日、BS-i、BSジャパン、BSフジなどは無料放送を行っています。WOWOWなどの有料放送は、ご加入のケーブルテレビ局にて加入申し込みと契約が必要です。ご加入のケーブルテレビ局にお問い合わせください。

番組を探す (☞20ページ)

- 今の時間帯で放送されている他の番組(裏番組)が一覧表示できます。
- 「ジャンル別に」条件を指定して内容を探し、視聴や予約ができます。

CSデジタル

通信衛星(Communications Satellite)(コミュニケーションズ・サテライト)を使って行う放送で、ニュースや映画、スポーツ、音楽などの専門チャンネルがあります。ほとんどの放送は有料です。
ご加入のケーブルテレビ局にて加入申し込みと契約が必要です。ご加入のケーブルテレビ局にお問い合わせください。

高画質な映像を楽しむ

(☞52、53ページ)

- 本機は、コンポーネントビデオ信号を出力するD端子(D1/D2/D3/D4切り換え可能)とHDMI端子を装備しています。
- D端子またはHDMI端子付きテレビに接続すると高画質な映像をお楽しみいただけます。

外部機器で録画する

D-VHSビデオデッキやHDDレコーダーなどをi.LINKで接続すると、高画質で録画できます。
通常のVHSビデオデッキでも録画できますが、画質は従来の地上アナログ放送と同等になります。

有料番組について (☞17ページ)

- **ペイ・パー・ビュー(番組単位で購入できる有料番組)**
  画面上で購入操作をすることで、番組の視聴や録画ができます。
  この場合、ICカードの挿入が必要です。電話回線またはLANケーブルでケーブルモデムなどとの接続が必要な場合があります。
  ご加入のケーブルテレビ局にご確認ください。

本機で録画機器を操作する

- 付属のIrシステムケーブルを使うと、ビデオデッキやDVDレコーダーへの録画予約が簡単にできます。(☞26ページ)
- i.LINKで接続した、当社製D-VHSビデオデッキ、HDDレコーダーなどを本機のリモコンで操作できます。(☞73ページ)

データ放送について

(☞21ページ)

画面上の説明に従い操作すると、関連するデータを表示できる番組があります。
例えば、BS101を視聴中にリモコンの「d」ボタン(データ)を押すと、NHKデータ放送で送られている天気予報などがご覧になれます。
(2008年7月現在)

ブラウザを使う (☞34ページ)

インターネットを利用したテレビ向けの双方向情報提供サービスを受けることができます。

- サービスの内容は、ご加入のケーブルテレビ局にご確認ください。
- ご加入のケーブルテレビ局のサービス内容により利用できない場合があります。

ブラウザをお楽しみになるには

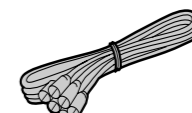
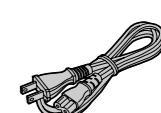
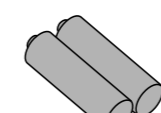
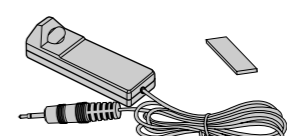
プログレッシブテレビやハイビジョンテレビに接続されることをおすすめします。
上記以外のテレビに接続されると文字などが見えにくい場合があります。

- ご加入のケーブルテレビ局以外のプロバイダー経由でインターネット接続されている場合は、ご加入のプロバイダーにご確認ください。

■各機種品番の表記のしかたと相違点

本取扱説明書では、各機種の品番を以下のように表記しています。
●**TZ-DCH520**　：TZ-DCH520、TZ-DCH520Bを含めています。
●**TZ-DCH820**　：TZ-DCH820、TZ-DCH820Bを含めています。
●**TZ-DCH1520**：TZ-DCH1520、TZ-DCH1520Bを含めています。
●**TZ-DCH1820**：TZ-DCH1820、TZ-DCH1820Bを含めています。
仕様など個別の品番が必要な場合は上記の限りではありません。

機種＼相違点	デジタル放送の変調方式	ケーブルモデム	LAN端子
TZ-DCH520	トランスモジュレーション※1	なし	あり
TZ-DCH820	トランスモジュレーション／パススルー※2	なし	あり
TZ-DCH1520	トランスモジュレーション	あり	なし
TZ-DCH1820	トランスモジュレーション／パススルー	あり	なし

※1　トランスモジュレーションとは、CATV局で受信した放送波の変調方式や周波数を変換して送出する方法のことをいいます。地上デジタル放送の場合、OFDMを64QAMに変換して送出します。
※2　パススルーとは、CATV局で受信した放送波の変調方式を変えずに送出する方法のことをいいます。

付属品の確認

設置、接続の前にまず付属品を確かめてください。
〈　〉は個数です。

- 付属品を紛失された場合は、ご加入のケーブルテレビ局にご相談ください。

□リモコン……………〈1〉 (☞10ページ)

□映像・音声コード　…〈1〉 (☞52ページ)

1.5 m

□電源コード………〈1〉 (☞9ページ)

1.7 m

□単3形乾電池………〈2〉
(リモコン用) (☞11ページ)

□Irシステムケーブル　〈1〉 (☞76ページ)
両面テープ…………〈1〉

1.5 m

使用上のご注意

本機は放送内容、ご使用環境、接続されている機器との組み合わせや、外部からの雑音などの影響によりリモコンからの操作ができなくなるなど、まれに正常に動作しないことがあります。

この場合は、本体前面のリセットボタンを押していただくか、電源プラグを一度抜き、しばらくした後、再度電源プラグを差し込み、動作を確認してください。

視聴記録の送信について

ICカードに記録されている視聴記録データは、定期的に本機に内蔵のケーブルモデム※またはLANケーブルで接続されたケーブルモデムや電話回線を通じ自動送信されます。
データ送信の電話料金は無料です。電話回線でデータ送信中は、同じ回線に接続の電話機は使用できません。
※TZ-DCH1520/TZ-DCH1820のとき

本機の受信周波数帯域に相当する周波数を用いた機器とは離してご使用ください。

本機の受信周波数帯域（90 MHz～770 MHz）に相当する周波数を用いた携帯電話などの機器を、本機やケーブルテレビ宅内線の途中に接続している機器に近づけると、その影響で映像・音声などに不具合が生じる場合があります。それらの機器とは離してご使用ください。

本機は性能向上のためダウンロードを行う場合があります。ダウンロードを実行するには、本機の電源を「切」にしてください。

電源プラグをはずしたり、電源「入」にしているとダウンロードが実行されません。
ダウンロードを実行するには、本機の電源プラグをコンセントに接続し、電源「切」の状態にしてください。

本機の通風孔をふさがないようにしてください。

本機は放熱のため、天面の一部で温度が高くなります。品質、性能には異常ありませんが、内部温度の上昇をおさえるため通風孔をふさがないようにして、風通しのよい所に設置してください。

長時間動かない画像を映さないでください。

本機に接続されたテレビやプロジェクターに、動かない画像を長時間映していると、画面に映像が焼き付き、影のように画面に残る恐れがあります。動かない画像を長時間映さないでください。

本機の上に他の機器を置いたり、他の機器の上に本機を置かないでください。

他の機器の放熱によって本機の内部温度が上がり、故障の原因となることがあります。

ICカード取り扱い上の留意点

●折り曲げたり、変形させない。
●重いものを置いたり、踏みつけたりしない。
●水をかけたり、ぬれた手でさわらない。
●IC（集積回路）部には手をふれない。
●分解加工は行わない。

- 本機に組み込まれているソフトウェアの解析、変更、改造などを行わないでください。
- 本製品は、著作権保護技術を採用しており、マクロヴィジョン社及びその他の著作権利者が保有する米国特許及びその他の知的財産権によって保護されています。この著作権保護技術の使用は、マクロヴィジョン社の許可が必要で、また、マクロヴィジョン社の特別な許可がない限り家庭用及びその他の一部の鑑賞用の使用に制限されています。分解したり、改造することも禁じられています。
- 本機はARIB（電波産業会）規格および日本ケーブルラボ規格に基いた商品仕様になっております。将来規格変更があった場合は、商品仕様を変更する場合があります。
- 何らかの不具合により正常に録画できなかった場合の内容の補償、および直接・間接の損害に対して、当社及びご加入のケーブルテレビ局では一切の責任を負いませんのであらかじめご了承ください。
- あなたが外部録画機器などで録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。
- メールや購入記録、データ放送のポイントなどのデジタル放送に関する情報は、本機が記憶します。
万一、本機の不具合によって、これらの情報が消失した場合、復元は不可能です。その内容の補償についてはご容赦ください。
- 国外でこの製品を使用して有料放送サービスを享受することは、有料サービス契約上禁止されています。
- B-CASカードおよびC-CASカードは地上・BS・CSデジタル放送、日本ケーブルラボ標準デジタル放送を視聴していただくために、お客様へ貸与された大切なカードです。お客様の責任で破損、故障、紛失などが発生した場合は、再発行費用が請求されます。
- 本機から電話回線を通じて通信を行うと、通信料金無料のフリーダイヤルでないかぎり、電話料金はお客様の負担になります。

商標などについて

●i.LINKとi.LINKロゴ"i"は商標です。●D-VHSは、日本ビクター株式会社の登録商標です。
●マークは、株式会社アクトビラの商標です。
●HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing LLCの商標または、登録商標です。
●CP8 PATENT
なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

この製品に使用されているソフトウェアに関する情報は、操作一覧ボタンを押し、「情報を見る」→「ステータス表示」→「ソフト情報表示」を参照ください。

各部のはたらき

本体前面

録画表示について

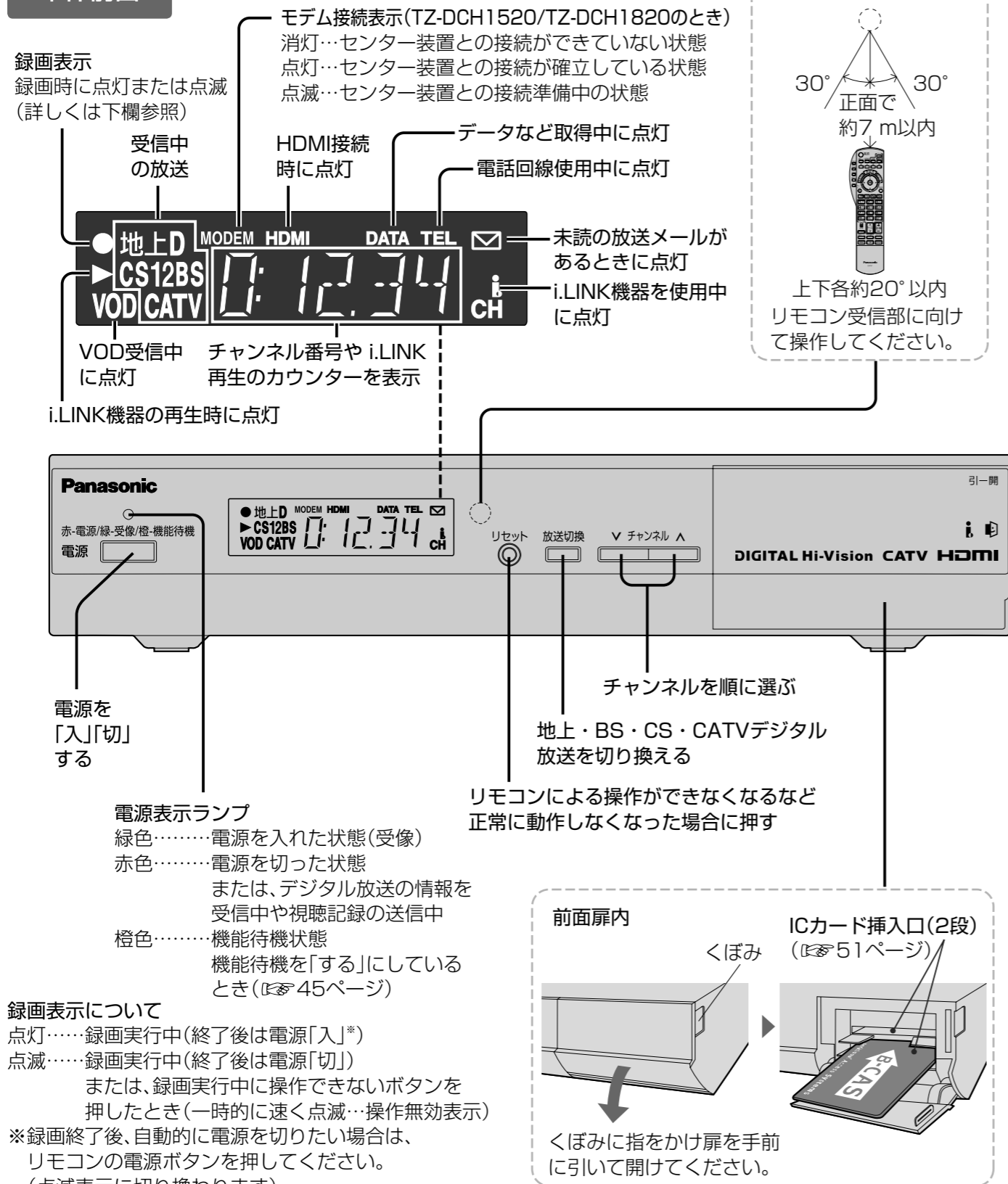
点灯……録画実行中(終了後は電源「入」※)
点滅……録画実行中(終了後は電源「切」)
　　　または、録画実行中に操作できないボタンを押したとき(一時的に速く点滅…操作無効表示)

※録画終了後、自動的に電源を切りたい場合は、リモコンの電源ボタンを押してください。
(点滅表示に切り換わります)

前面扉内

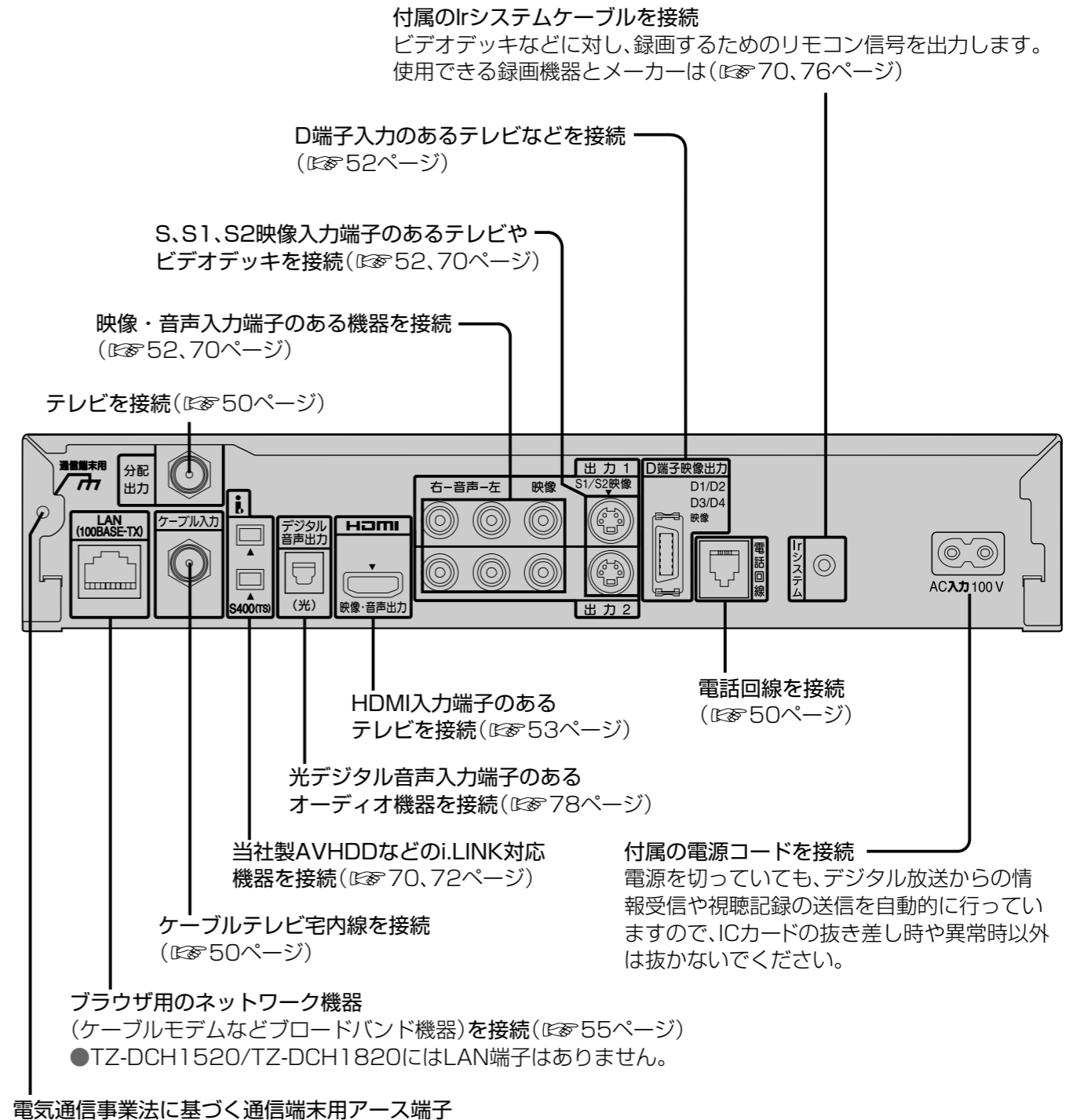
くぼみ

ICカード挿入口(2段)
(☞51ページ)

くぼみに指をかけ扉を手前に引いて開けてください。

お願い

- 録画中は、操作できなくなるボタンがあります。受信異常ではありませんので、リセットボタンを押さないでください。録画中に録画を中止したい場合は、前面の電源ボタンを押してください。
- 電源「切」時(電源表示ランプが赤色の状態)でも、デジタル放送からの情報受信や有料番組の視聴記録の送信を自動的に行います。

本体背面

●イラストはTZ-DCH820です。

お知らせ

- 出力1、出力2の端子からは同じ信号を出力します。
- 出力1、出力2のS1／S2映像端子からは、ワイド映像を自動判別するための識別信号も出力しますので、テレビのS1／S2映像入力端子と接続した場合は、テレビ側が識別信号を検出すると自動的に「フル」画面や「ワイド」画面になります。
- 出力1、出力2の映像端子からは、ワイド映像や画面の上下に映像のないアスペクト比の映像を自動判別するための識別信号も出力しますのでID-1検出機能付きのテレビを接続すると、テレビ側が識別信号を検出して自動的に「フル」画面や「ワイド」画面になります。接続するテレビによっては、識別信号(例 ID-1等)により4：3画面になることがあります。

各部のはたらき

リモコン

- 電源を「入」「切」する
- 画面モードを切り換える（☞16ページ）
- ブラウザを使うとき（☞34ページ）
- データ放送の画面を表示（☞21ページ）
- おすすめ一覧を表示（☞22ページ）
- 番組内容を表示（☞14ページ）
- 再生ナビ画面を表示（☞74ページ）
- 使用しません
- 見ている画面に関連した機能を表示（☞15ページ）
- 放送のチャンネルを選ぶ 数字や文字入力を行う
- チャンネルを順送りで選ぶ

テレビ側にすると、チャンネル∧∨や数字ボタンで、テレビの操作ができます。（テレビに合わせたリモコンのメーカー設定☞87ページ）

- テレビ放送の画面に戻す
- 放送メールを確認する
- チャンネル番号を入力して選局する（☞13ページ）
- 裏番組の一覧を表示
- オフタイマーの設定をする（☞15ページ）
- 本機に関する情報を表示（☞97ページ）

- 見ている番組のタイトルなどを表示（☞15ページ）
- テレビの操作をする
  - ・電源を「入」「切」する
  - ・テレビの入力を切り換える
  - ・音を消す
- カラーボタン 画面上で指示が出たときに使う
- 番組表を表示（☞18ページ）
- 操作一覧メニューを表示
- 画面上で選択や決定をする（☞右ページ）
  - ●VOD操作時の使用方法については、ご加入のケーブルテレビ局にお問い合わせください。（ご加入のケーブルテレビ局のサービス内容によりこの機能が使用できない場合があります）
- 1つ前の画面に戻す
- 放送を切り換える（☞12ページ）
  - ●押すとボタンが点滅します。
  - ●ご加入のケーブルテレビ局によりサービス内容が異なります。サービスされていない放送には、切り換わりません。
- VODを使用するときに押す
  - ●ご加入のケーブルテレビ局のサービス内容によりこの機能が使用できない場合があります。
- テレビの音量を調整する
- お好み選局の画面を出す（☞13ページ）
- ステレオ/2ヵ国語など音声を切り換える（☞12ページ）
- 字幕を「オン」「オフ」する（☞12ページ）
- 当社製のAVHDDの再生操作を行う（☞75ページ）（詳しくはAVHDD取扱説明書をご覧ください。）

ふた（開けた状態）

お願い

- ●本体のリモコン受信部とリモコンの間に障害物を置かないでください。
- ●本体のリモコン受信部に直射日光やインバータ蛍光灯の強い光を当てないでください。

基本操作のしかた

■数字を入力するとき

リモコンボタン	入力文字（表示内容）
1 〜 9	1〜9
10	0
11	＊
12	＃

●文字入力について（☞38〜41ページ）

■本取扱説明書では

（決定）で選択する操作を▼▲で説明しています。

（決定）で選択する操作を◀ ▶で説明しています。

リモコンの電池の入れかた

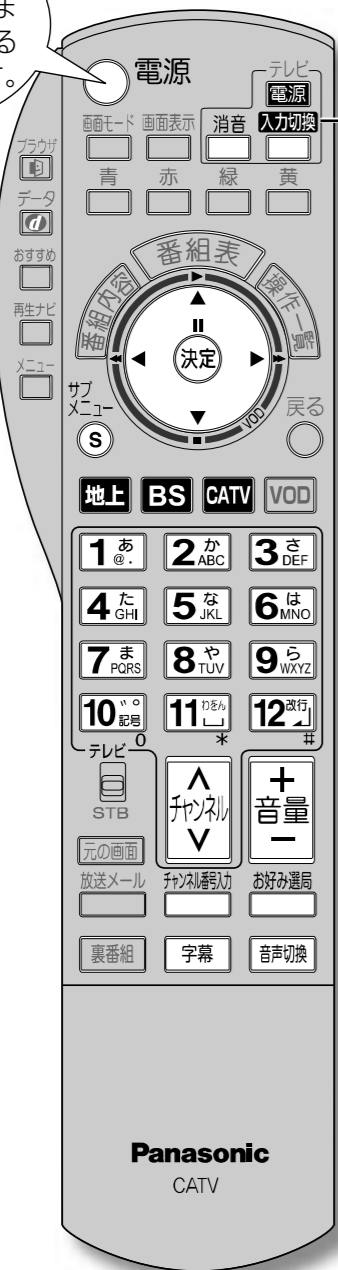
お願い

- ●リモコンに液状のものをかけないようにしてください。
- ●リモコンを落とさないようにしてください。

テレビ放送を見る

1
①テレビの電源を入れる※ ②入力画面を切り換える※

※本機のリモコンでテレビの電源を入れたり、入力切換を行うことができます。(☞87ページ)

2
本機の電源を入れる

3
地上 BS CATV
見たい放送を選ぶ

4
チャンネルを選ぶ

放送を選ぶ

地上 BS CATV
- CATV — CATVデジタル放送(CATVの放送が複数ある場合は、押すたびに切り換わります。)
- BS — BSデジタル放送
- 地上 — 地上デジタル放送

→押すとボタンが数回点滅します。

●ご加入のケーブルテレビ局のサービス内容により視聴できない放送がある場合があります。

音量を調整する

本機のリモコンでテレビの音量を調整するには設定が必要です。(☞87ページ)

字幕付き番組のとき

字幕
押すごとに字幕の表示と消去を繰り返します。

2ヵ国語放送や多重音声放送のとき

2ヵ国語放送や多重音声放送のときには、音声を切り換えることができます。

音声切換 ●押すたびに音声が切り換わります。

音声１ → 音声２ → 音声３ →(音声１へ戻る)

例:音声1が二重音声のとき

音声1(主)(日本語) → 音声1(副)(外国語) → 音声 1(主+副)(日本語+外国語) → 音声２ → 音声３ →(音声1(主)へ戻る)

お知らせ
●放送によっては、「主」で外国語、「副」で日本語の場合があります。
●切り換えた音声が有料の場合もあります。

いろいろなチャンネルの選びかた(選局)

順送りで選ぶ

●押すたびに、受信できるチャンネルを順々に選局します。

●選局対象とチャンネルアップダウンで設定したチャンネルが選局できます。(☞44ページ)

お好み選局表から選ぶ

お好み選局

●押すたびに、ページが切り換わります。

▼▲◀▶で見たいチャンネルを選び、決定 を押す

●受信されている放送のみ表示されます。
●CATVのお好み選局は設定されていません。ご自由に設定し、ご活用ください。

■BSデジタル放送のボタン割り当て(工場出荷時)

番号	チャンネル	番号	チャンネル	番号	チャンネル	番号	チャンネル
1	101	4	141	7	171	10	200
2	102	5	151	8	181	11	211
3	103	6	161	9	191	12	222

●お好み選局の2、3ページ目にも割り当てがあります。
●地上デジタル放送やCS1、CS2の設定内容は、ご加入のケーブルテレビ局により異なります。

数字ボタンでチャンネルを選ぶ

1 〜 12

選局入力方式は2通りあります。
(選局入力方式の選択は☞45ページ)

■選局入力方式が「プリセット」の場合
押すとボタンに登録した放送局を選局します。
(はじめに を押すと「3桁入力」もできます。)

■選局入力方式が「3桁入力」の場合

例:「地上デジタル101」チャンネルを選ぶとき

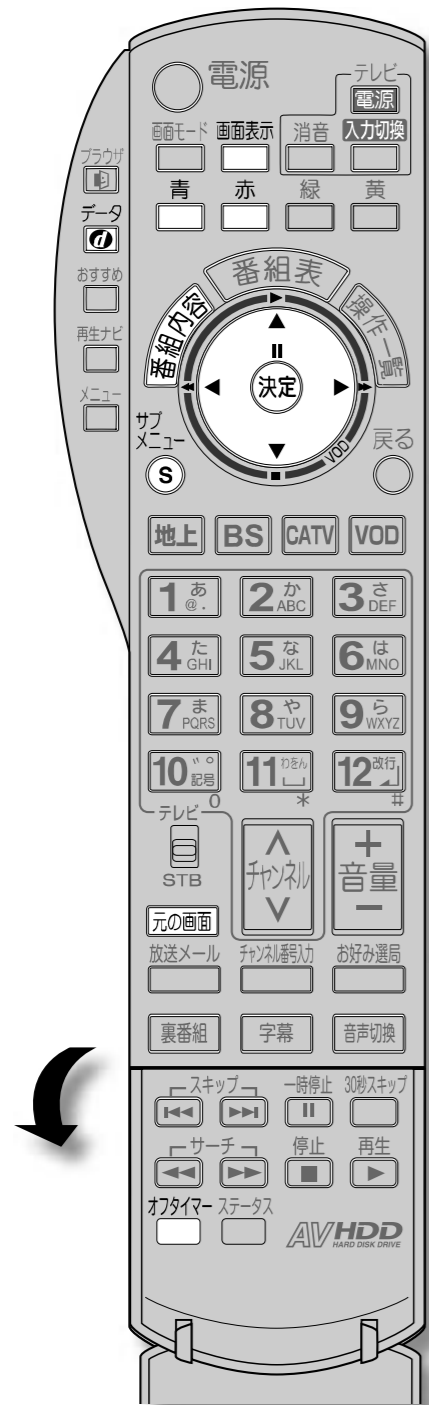
●数字ボタンを押して3秒以上経つと、押したボタンで(プリセット)選局されますのでご注意ください。

●3桁入力時に同じチャンネル番号の放送が複数ある場合は、下図のような選択パネルを表示します。

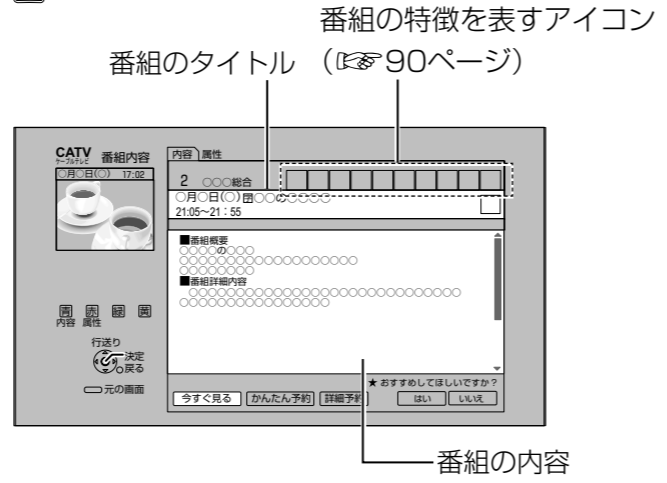
▼▲で見たい放送を選んで、決定を押してください。

●ボタンを押して、3秒経つか、または決定を押すと、(プリセット)選局できます。

お知らせ
●数字ボタン(1〜12)で選局するチャンネルを変更するには(☞56〜58ページ)
●ご加入のケーブルテレビ局のサービス内容により選択できない場合があります。
●TZ-DCH1520、TZ-DCH1820は、JC-HITSのチャンネルが設定されています。

■地上デジタル放送で、枝番号の異なる放送を選局する場合
(枝番号とは同じチャンネル番号の放送が複数受信できた場合に追加される区別番号のことです。)
①枝番号のある地上デジタル放送を受信中に、サブメニューボタンを押す
②▼▲で枝番選局を選び、決定する
③表示された放送局リストから、見たい放送を選び、決定する
●手順③でチャンネル番号入力ボタンを押すと、選択中の枝番の放送局にマークが付きます。(チャンネル番号入力時は、その枝番の放送局を選局します)

番組の内容を見る

番組を見ているとき、または、番組表や一覧から選んでいるときに…

を押す

■アイコンで表示している番組の詳しい内容(属性)などを見たいとき

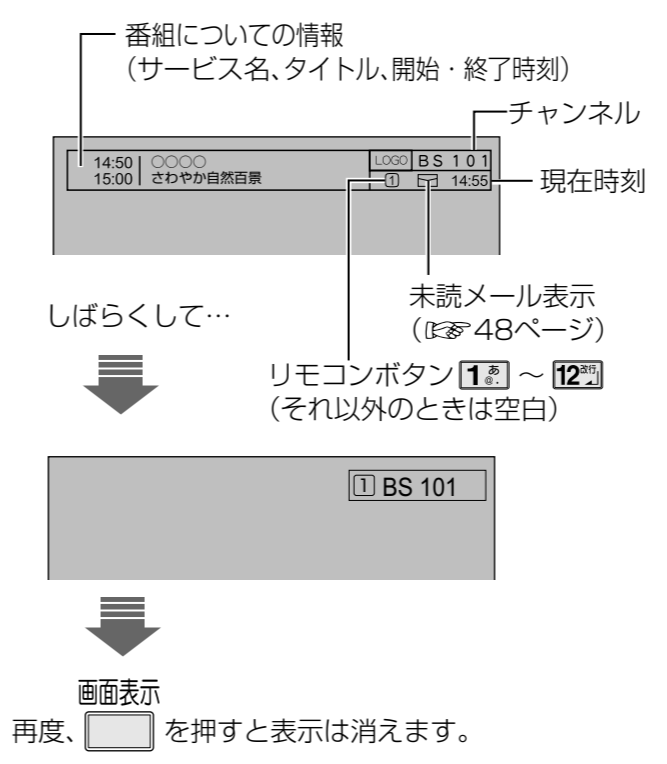
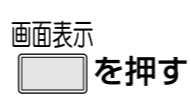
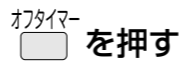
赤 を押す（青 で番組の内容に戻る）

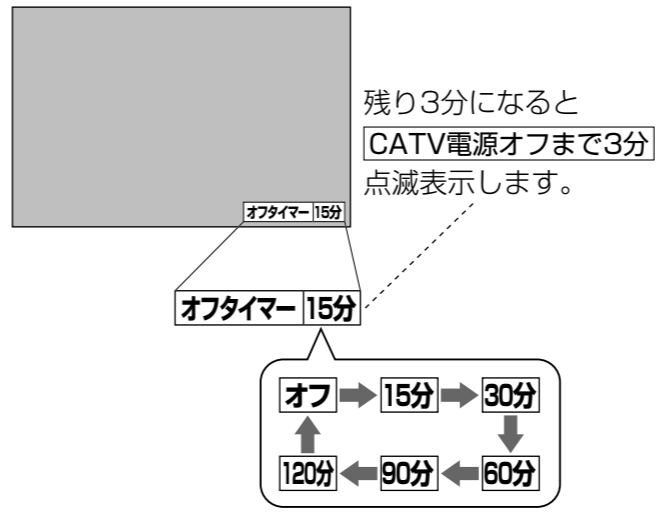
（確認したら 元の画面 を押す）

番組のタイトルなどを表示する

番組を見ているときに…

画面表示 **を押す**

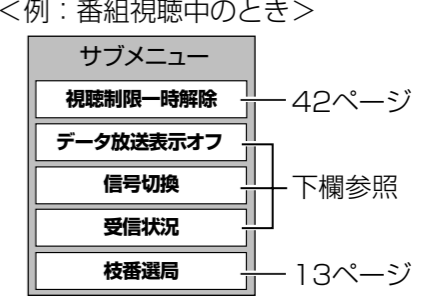
再度、画面表示 を押すと表示は消えます。

タイマーで自動的に電源を切る

オフタイマー **を押す**

- ●押すたびに設定時間が切り換わります。
- ●「オフ」を選ぶと解除されます。
- ●オフタイマーを設定して、しばらくしてからもう一度押すと現在の残り時間が表示されます。
- ●電源を「切」「入」するとオフタイマーは解除されます。

サブメニューを表示する

1 サブメニュー Ⓢ **を押す**

→現在の画面に関連したサブメニューが表示されます。

2 **▲▼で項目を選び、決定 を押す**

<例：番組視聴中のとき>

●押す前の画面によってサブメニューの項目は変わります。

データ放送表示オフ

- ●データ放送の表示を解除します。
- ●データ を押すと再度表示します。

信号切換

- ●マルチビュー対応の放送※や1つの番組に複数の映像や音楽のある放送の場合に「信号切換」を選び、決定すると、切り換えができる信号の選択画面になります。

※マルチビューとは1チャンネルで主番組、副番組の複数映像が送られる放送のことです。例えば、野球放送の場合、主番組は通常の野球放送、副番組ではそれぞれのチームをメインにした野球放送が行われます。

受信状況

- ●受信している信号の強さなどを表示します。

お知らせ

- ●マルチビュー対応の放送は2008年7月現在行われていません。
- ●信号切換で表示される設定項目は、番組によって変わります。
- ●信号切換で切り換えた映像が有料の場合もあります。
- ●受信状況の表示は簡易表示であり、確認の目安です。

テレビ放送を見る

画面の黒帯を消す（画面モード）

額縁表示の場合に、上下左右の黒帯を消して大きく表示します。

番組を見ているときに…

画面モード
を押す

押すごとに「ノーマル」、「サイドカット」、「サイドカット固定」、「ズーム」の順に画面モードが切り換わります。

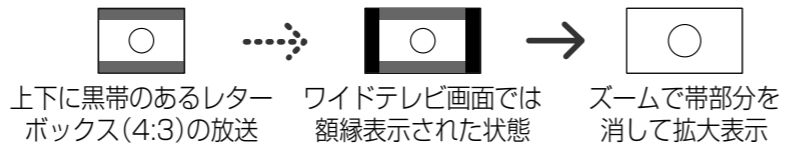
ノーマル　通常の出力

サイドカット
ワイド（16：9）放送の左右の黒帯を消して拡大表示します。（ワイド放送以外では機能しません）
黒帯が無い映像の場合、左右の映像がカットされますので、ご注意ください。

左右に黒帯のある1080i(16:9)の放送　ノーマルテレビ画面では額縁表示された状態　サイドカットで帯部分を消して拡大表示

サイドカット固定
設定を変えるまで、上記の「サイドカット」された画面となります。

ズーム
ノーマル（4：3）放送の上下の黒帯を消して拡大表示します。（ノーマル放送以外では機能しません）
黒帯が無い映像の場合、上下の映像がカットされますので、ご注意ください。

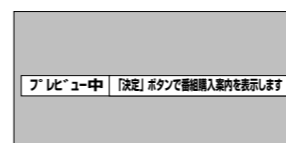
上下に黒帯のあるレターボックス(4:3)の放送　ワイドテレビ画面では額縁表示された状態　ズームで帯部分を消して拡大表示

お知らせ

- 選局操作や電源を「切」「入」したり、「元の画面」ボタンを押したり、接続テレビ設定を変更すると「ノーマル」に戻ります。
- 「サイドカット固定」は、「接続テレビ」を「ノーマル」に設定しているときに選択できます。（☞61ページ）選局操作や電源を「切」「入」したり、「元の画面」ボタンを押しても「ノーマル」には戻りません。
- 「ズーム」が選べるのは、接続テレビ設定の「接続テレビ」を「ワイド」に設定して、「HDMI／D端子出力」を「480p固定」または、「1080i固定」に設定しているときだけです。（☞61ページ）
- データ放送画面のときは画面モード切換は機能しません。
- サイドカットについての録画予約時の設定は（☞31ページ）
- このページで記載している画面イラストは動作の一例です。（接続するテレビやテレビ側の画面設定によっては動作が異なる場合があります）

有料番組を見る（ペイ・パー・ビュー）

- デジタル放送には、無料と有料のものがあります。有料チャンネルを見るには、ご加入のケーブルテレビ局との契約が必要です。
- ペイ・パー・ビュー（番組単位で購入できる）の番組を視聴、録画するには、ご加入のケーブルテレビ局とペイ・パー・ビューの契約と画面上での購入操作が必要です。
- 電話回線の接続または、LANケーブルでケーブルモデムなどとの接続が必要な場合があります。（☞50、54ページ）

1 ペイ・パー・ビューの番組を選局したとき
（番組によっては、プレビュー※が表示される）

決定 **を押す**

※ プレビューとは、有料番組の購入前に、わずかな時間だけ視聴できるサービスです。

2 ◀▶で項目を選び、決定 **を押す**

- 番組により、選べる項目が変わります。

購入する
番組を購入したことになり視聴できます。
ただし、コピーガードのある番組は録画できません。

購入しない
番組を購入しません。

視聴購入（料金を払うと視聴できるときのみ表示）
番組を購入したことになり視聴できます。
ただし、コピーガードのある番組は録画できません。

録画購入（料金を払うと録画できるときのみ表示）
番組を購入したことになり視聴および、録画ができます。

確認画面が出た場合は、表示内容を確認し操作してください。

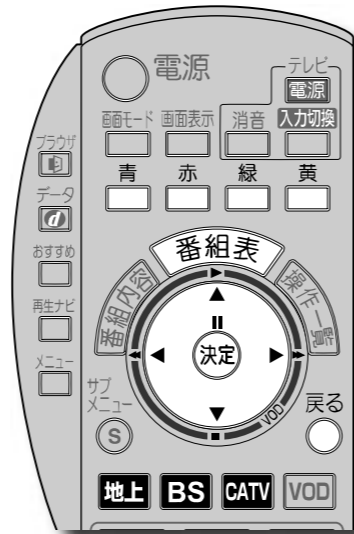
お知らせ

- **コピーガードについて**
デジタル放送には、ビデオデッキなどで録画できないようにしている（コピーガードのある）番組があります。その番組は正常に録画できません。コピーガードを解除できない番組は「録画購入」の項目が表示されません。
- 購入した番組の視聴中にも、他のチャンネルに切り換えることができます。ただし、購入操作が終了していると、実際には番組を視聴しなくても料金が請求されます。また、番組予約が実行された場合、視聴や録画をしなくても料金が請求されます。

番組表を使う

● 設定中、戻る で1つ前の画面に戻ります。
● 設定後は、元の画面 でテレビ放送の画面に戻します。

画面上にテレビ番組表を表示します。
（最大8日分：ご契約のケーブルテレビ局により異なります。）

番組を見ているときに…

 を押す

＜操作ボタンの位置＞

＜番組表＞

●電源を入れた直後は番組表が表示されるまでに、約1分程度かかる場合があります。

番組表を拡大、縮小する

1 番組表を表示中に
赤 を押す

2 ◀▶で表示サイズを選択し、
決定 を押す

表示サイズ(拡大／縮小)	
チャンネル表示数	7

番組を探す

1 番組表を表示中に
緑 を押す
(番組の探しかたは☞20ページ)

別の日や他の時間帯の番組表を見る

1 番組表を表示中に
青 を押す

2 ▼▲で「日付変更」または「時間変更」を選び、◀▶で設定し、決定 を押す

番組表日時変更	
日付変更	19(火)
時間変更	17時

予約一覧を見る

1 番組表を表示中に
を押す
(予約一覧の詳細は☞33ページ手順4)

別の放送の番組表を表示する

1 ◀▶を押す
→押しつづけると、次の放送へ順番に切り換わります。

地上デジタル→BSデジタル→CATVデジタル
（ご契約のテレビ局により異なります。）

● 地上 BS CATV でも放送が切り換わります。
● ◀▶ボタンを長押しすると番組表がページ送りされます。

今すぐ番組を見る

1 ▼▲◀▶で見たい番組を選び、
決定 を押す

2 ◀▶で「今すぐ見る」を選び、決定 を押す

番組を録画予約する

録画機器を接続していると番組表から録画したい番組を選んで、録画予約することができます。
(☞24～31ページ)

見たい番組を予約する（見るだけ予約）

放送予定の番組を予約します。
予約した番組が始まると、そのチャンネルに切り換わります。

1 ▼▲◀▶で予約したい番組を選び、
決定 を押す

2 ▶で「詳細予約」を選び、決定 を押す

3 ▼▲で「予約方式」を選び、
◀で「見るだけ」を選ぶ

4 ▼で「予約する」を選び、決定 を押す

予約せず戻る
予約する

予約時刻になると、
予約した番組が映ります。

お知らせ
● 電源を「切」にしている場合、「見るだけ予約」は無効になります。

番組表をお使いになるために…

本機は電源を切っていても、定期的に放送局からの番組情報などを更新しています。電源を切るときは、電源プラグをコンセントから抜かないで、本体またはリモコンの電源ボタンでお切りください。

お知らせ
● 地上デジタル放送の番組表について
受信可能な放送局で番組表が表示されない場合は、その局を選んで、決定ボタンを押すと表示されます。
(数分かかることがあります。)
● チャンネル番号入力ボタンを押して数字ボタンで3桁のチャンネル番号を入力すれば、指定したチャンネルが表示されます。

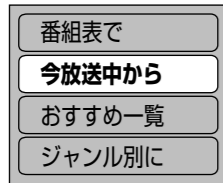
お好みの番組を探す

今放送中の番組から探す

1 を押す

2 ▼▲で「番組を探す」を選び、決定を押す

3 ▼で「今放送中から」を選び、決定を押す

番組表で
今放送中から
おすすめ一覧
ジャンル別に

●「番組表で」を選ぶと、番組表が表示されます。（☞18ページ）

4 ▼▲で裏番組一覧表から番組を選び、決定を押す

■別の放送の裏番組を見たいとき

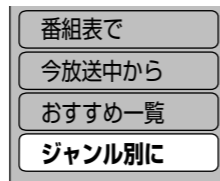
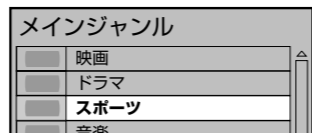
→地上 BS CATV で切り換える

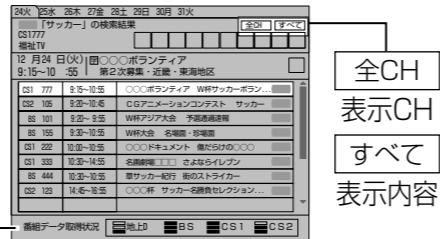
5 戻る を押す

→裏番組一覧表が消え、選んだ番組が映ります。

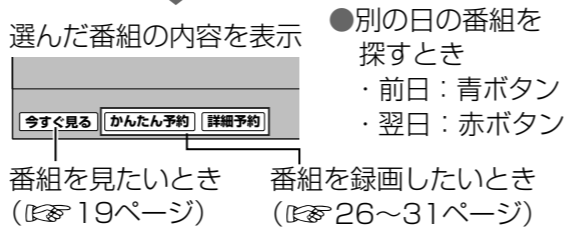
ジャンル別に探す

映画やスポーツなどジャンル別で探します。
（項目は一定ではありません）

1 左記手順１、２のあと
▼▲で「ジャンル別に」を選び、決定を押す

2 ▼でメインジャンルを選び、決定を押す

3 ▼でサブジャンルを選び、決定を押す
→条件に合った当日の全番組を表示します。

4 ▼▲で番組を選び、決定を押す

●検索できる番組数は各放送の番組データの取得状況によって変わります。

選んだ番組の内容を表示

今すぐ見る　かんたん予約　詳細予約

番組を見たいとき（☞19ページ）
番組を録画したいとき（☞26～31ページ）

●別の日の番組を探すとき
・前日：青ボタン
・翌日：赤ボタン

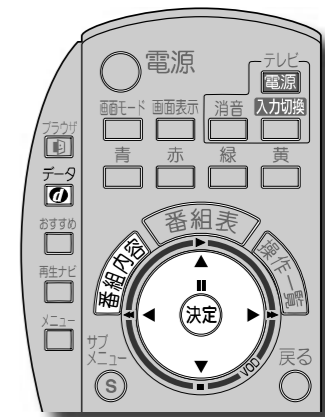
お知らせ

●手順４で サブメニュー Ⓢ を押すと「サブメニュー」画面が表示され「表示CH」と「表示内容」を変更することができます。

データ放送を見る

■データ放送の番組では…

お住まいの地域の天気予報やテレビ放送やラジオ放送に連動した情報※を閲覧したり、電話回線を使用して視聴者参加番組、ショッピング、チケット購入などの双方向（インタラクティブ）サービスを利用することができます。

※テレビやラジオの番組によっては、連動した情報がない場合があります。

データ放送を表示する

テレビ放送を見ているときに…

1 データ ⓓ を押す

●データ放送を行っていない番組もあります。

<画面イメージ>

●情報が多いときは、表示に時間がかかります。

2 ▼▲◀▶で見たい項目を選び、決定を押す

●番組によりカラーボタンなどを使った専用の選択画面や数字入力画面が表示されます。その指示に従ってください。
●お好みページへの登録の案内が表示されることがあります。（使いかた☞49ページ）

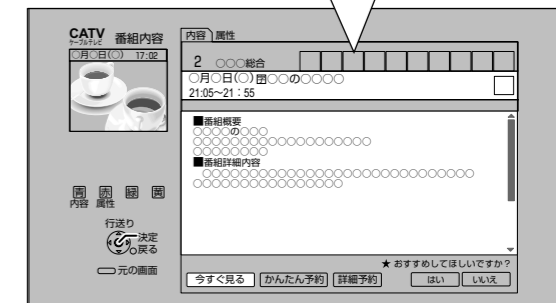
■テレビ放送に戻るとき

データ ⓓ を押す

データ放送のある番組か確認するとき

テレビ放送を見ているときに…

1 番組内容 を押す

●下記のアイコンが表示された番組はデータ放送があります。
（アイコンが表示されない番組もあります）

2 確認したら、再度 を押す

→番組内容画面が消え、テレビ放送に戻ります。

お知らせ

●データ放送では、本機に接続の電話回線で通信を行う場合があります。通信中は電源ボタン以外は操作できなくなる場合があります。
●本機が電話回線を使用中（TELランプが点灯☞8ページ）には、同じ回線に接続した電話機などは使用できません。
●データ放送のみを行う専用チャンネルがあります。（通常の選局操作でご覧になれます。）

おすすめ番組を見る

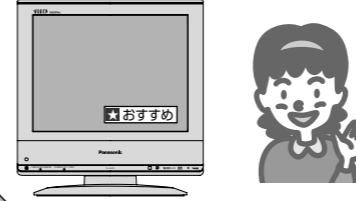
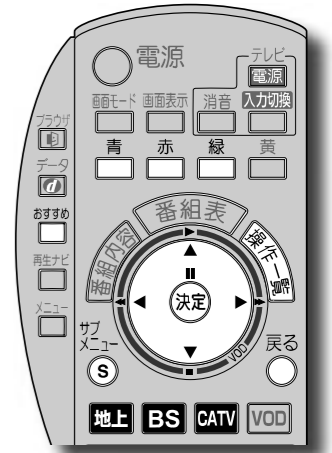
<操作ボタンの位置>

■おすすめ番組機能とは

- 番組の視聴や予約操作から…
- 番組内容画面から番組の好みを登録[※1]すると…
- 番組に関連する語句の登録[※2]をすると…

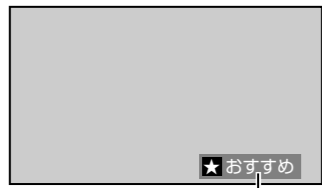
▶ 本機がお客様の好みを学習

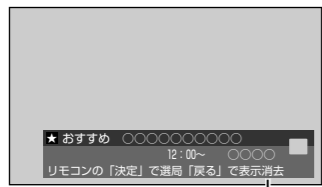
▶ おすすめ番組を画面に通知

▶ おすすめ番組を一覧で表示

※１　☞23ページ「お好みの番組を登録する」
※２　☞47ページ「おすすめ語句を登録する」

通知されたおすすめ番組を見る

おすすめ番組を通知させるには、「おすすめ機能」の設定を「オン」にしてください。（☞46ページ）

1 おすすめ通知の表示中に
(決定) を押す

おすすめ通知

2 おすすめ番組の紹介を表示中に
(決定) を押す

おすすめ番組の紹介

おすすめ番組に切り換わります。

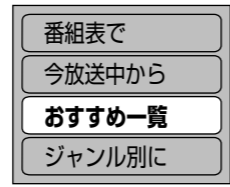
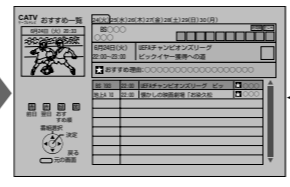
(お知らせ)

- ●「画面表示」ボタンを押しても通知の確認ができます。
- ●「戻る」ボタンを押すとおすすめ通知が消えます。一度、押すと再表示されません。

おすすめ番組を一覧で見る

1 (操作一覧) を押す

2 ▼▲で「番組を探す」を選び、
(決定) を押す

3 ▼▲で「おすすめ一覧」を選び、
(決定) を押す

<おすすめ一覧>

最大20番組表示できます。

- ● おすすめ でおすすめ一覧画面を表示させることができます。

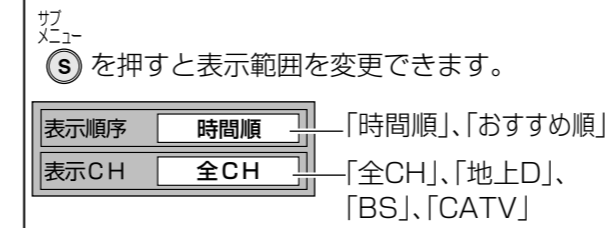
4 ▼▲で番組を選び、(決定) を押す

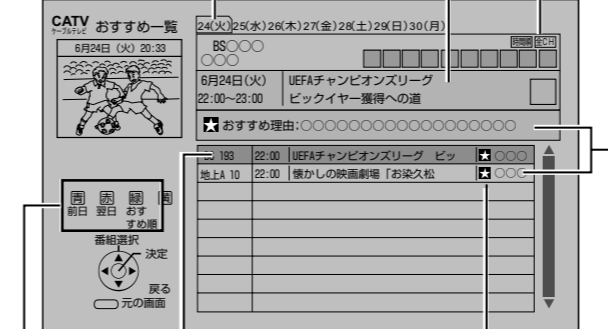
→選んだ番組の内容を表示します。

- ●番組を見たいとき
  （☞19ページ「今すぐ番組を見る」手順2）
- ●番組を録画したいとき
  （☞26～31ページ）
- ●おすすめ学習をするとき
  （☞23ページ「お好みの番組を登録する」）

（終わったら、元の画面 を押す）

- ● 地上 BS CATV で放送ごとのおすすめ番組を表示。

サブメニュー (S) を押すと表示範囲を変更できます。

表示順序	時間順	「時間順」、「おすすめ順」
表示ＣＨ	全ＣＨ	「全CH」、「地上D」、「BS」、「CATV」

日付　選択中の番組紹介

おすすめアイコン

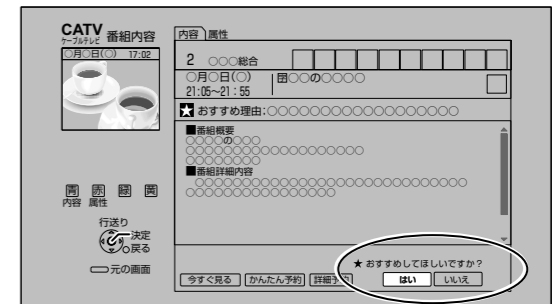
おすすめ理由
定番(よく見る番組)、
「ジャンル」など

おすすめ番組(選択中の番組は黄色)

- ● 青 で前日の番組を表示します。
- ● 赤 で翌日の番組を表示します。
- ● 緑 を押すごとに…
  「時間順」←→「おすすめ順」に切り換わる。

お好みの番組を登録する

番組内容画面（☞14ページ）から番組のお好みを登録することができます。

1 「★おすすめしてほしいですか？」の項目で◀を押して「はい」を選び、
(決定) を押す

「あなたの好みを学習しました」と表示後、番組内容画面に戻ります。

- ●「いいえ」を選ぶと、このような番組はおすすめしません。

(お知らせ)

- ●おすすめ番組の通知数やおすすめして欲しい放送など、各種おすすめ機能の設定を行うことができます。（☞46ページ）

録画予約をする前に

本機に外部の録画機器を接続するとテレビ番組を録画することができます。

録画予約について

- 本機と録画機器を接続するにはi.LINKやIrシステムなどいろいろな接続方法があります。
  ハイビジョン放送の録画は、i.LINKの使用をお勧めします。それ以外の方法では、従来の地上アナログ放送と同等の画質になります。
- 有料番組（☞17ページ）の番組予約が実行された場合、視聴や録画をしなくても料金が請求されますので、十分にご注意ください。
- 地上デジタルやCSデジタル、CATVデジタルに対応していない録画機器では、予約時などに、放送（地上デジタルやCS、CATV）やチャンネル番号が正しく表示されない場合があります。（当社製NV-DH1／DHE10、NV-DH2／DHE20、NV-HVH1など）また、一部の機能で制限が発生する場合があります。
- **ダビング10（コピー9回＋ムーブ1回）について**
  ダビング10は、HDD内蔵録画機器が対象です。本機はHDDを内蔵していないためダビング10には対応していません。本機からDVDレコーダーなどに録画する場合は、従来通りコピーワンス（1回だけ録画可能な番組）として録画されます。

i.LINKで録画機器を接続のとき

i.LINKを使用する場合、接続する録画機器によっては動作しない場合があります。i.LINK接続する録画機器として、当社製ブルーレイディスクレコーダー／DVDレコーダー（ディーガ）をお勧めします。
（一部使用できない機種がありますので、詳細機種については下記サポートサイトでご確認ください。）
http://panasonic.biz/broad/catv-support/index.html （2008年8月現在）

Irシステムで録画機器を接続のとき

本機と録画機器をIrシステムで接続した場合、「連動予約」と「タイマー予約」の2通りの予約のしかたがあります。
（詳細は☞26、27ページ）

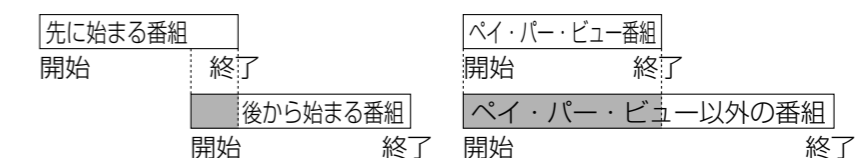
	録画機器への録画情報	番組の放送時間が変更になったとき	録画機器側の設定
連動予約	番組が放送開始するときに本機から録画機器へ録画情報を送る	変更時間に合わせて録画（番組追従設定※のとき）	あらかじめ設定が必要
タイマー予約	予約設定した時点で本機から録画機器へ録画情報を送る	変更前の時間で録画（予約時に録画情報を受けているため、予約時以降の変更はできません。）	設定は不要

※番組追従設定について（☞31ページ）

録画モードについて

- 録画機器の取扱説明書をご覧の上、録画機器で対応している録画モードを設定してください。
- 「機器側設定」を選んだときは、録画機器で設定してください。

お知らせ

- 録画機器の取扱説明書もよくお読みください。
- 確認画面（またはエラー画面）が出た場合には、表示内容を確認し操作してください。

正しく録画するために

- **放送中または、開始直前の番組を録画予約した場合**
  →録画機器は、電源「入」後、録画可能になるまで準備時間が必要です。（当社製品での一例）
  - ビデオデッキ：約15秒
  - DVDレコーダー：約90秒
- 番組にコピーガードがかかっている場合は、正しく録画されません。
  また、録画したい番組の直前にコピーガードがかかっている場合も正しく録画されないことがあります。このような場合は、予約設定のその他の設定（☞31ページ）で開始時刻修正を+1分以上に設定してください。（32ページの時間指定予約の場合は、開始時刻を1分以上遅らせて設定してください。）
- 年齢制限を設定しているときは、暗証番号を入力しないと録画されません。

録画中のご注意

- 録画中は
  →現在録画中の放送のチャンネルしかご覧いただけません。
  →操作できなくなるボタンがあります。
  データ放送の番組の場合、データ放送で使用するボタンは操作できます。録画を中止する場合は、本体の電源ボタンを押してください。
- i.LINK以外での録画時は、データ放送を表示すると、その画面の通りに録画されます。

録画予約後のエラーメッセージ

予約できません。	●契約が必要なチャンネルです。 ご加入のケーブルテレビ局に問い合わせて、契約を行ってください。
予約がいっぱいです。 予約を削除してから やり直してください。	●予約は50件までです。 予約一覧で不要な予約を取り消してください。（☞33ページ）
予約が完了しました。 予約が重複しています。 予約が実行されない場合があります。	●放送時間帯の重なる複数の番組を予約しています。 →そのまま実行すると、次のように録画されます。 ▭ 部分は録画されません。 ●放送開始時刻の早い番組を優先 先に始まる番組 開始 終了 後から始まる番組 開始 終了 ●開始時刻が同じ場合 ペイ・パー・ビュー（有料番組）を優先 ペイ・パー・ビュー番組 開始 終了 ペイ・パー・ビュー以外の番組 開始 終了 ●上記以外の場合は、予約一覧の順に録画します。

録画

●録画予約をする前に

番組表から録画予約する

Irシステム

Irシステムで接続した外部機器に録画する

機器の接続と設定 76 ページ

〈本機側の操作など〉 〈録画機器側の操作など〉

	〈本機側の操作など〉	〈録画機器側の操作など〉
番組の予約操作	下記の手順に従って操作を行う	予約実行開始の3分前までに… ●テープやディスクを入れる ●本機から接続した外部入力に切り換える ●録画モードを設定する ●録画可能状態であることを確認し、リモコンで電源を切る （切らないと、録画開始できません）
予約時刻になると	●Irで電源「入／切」と録画開始信号が送られる （終了時刻に停止信号が送られる） ●予約した番組の映像と音声が出力される	電源が入り、録画が実行される （終了時刻に電源が切れる）

●連動予約はパナソニック、ビクター、東芝、三菱、三洋、シャープ、ソニー、日立、アイワ、NECのビデオデッキおよびパナソニック、パイオニア、三菱のDVDレコーダーのみ使用できます。※一部、使用できない商品もあります。

1 番組表 を押す

2 ▼▲◀▶で録画したい番組を選び、決定 を押す

3 ▶で「詳細予約」を選び、決定 を押す

かんたん予約 詳細予約

4 ▼▲で「予約方式」を選び ▶で「録画」を選ぶ

予約設定		
予約方式	見るだけ	録画
探して毎回	する	しない
録画機器	ーー	
録画モード	ーー	

5 ▼▲で項目を選び、◀▶で設定する

探して毎回予約を「する」「しない」を設定する（☞30ページ）

Ir（連動）を選ぶ

選べません
録画機器側で設定してください。

番組追従など詳細な予約設定をすることができます。（☞30、31ページ）

6 ▼で「予約する」を選び、決定 を押す

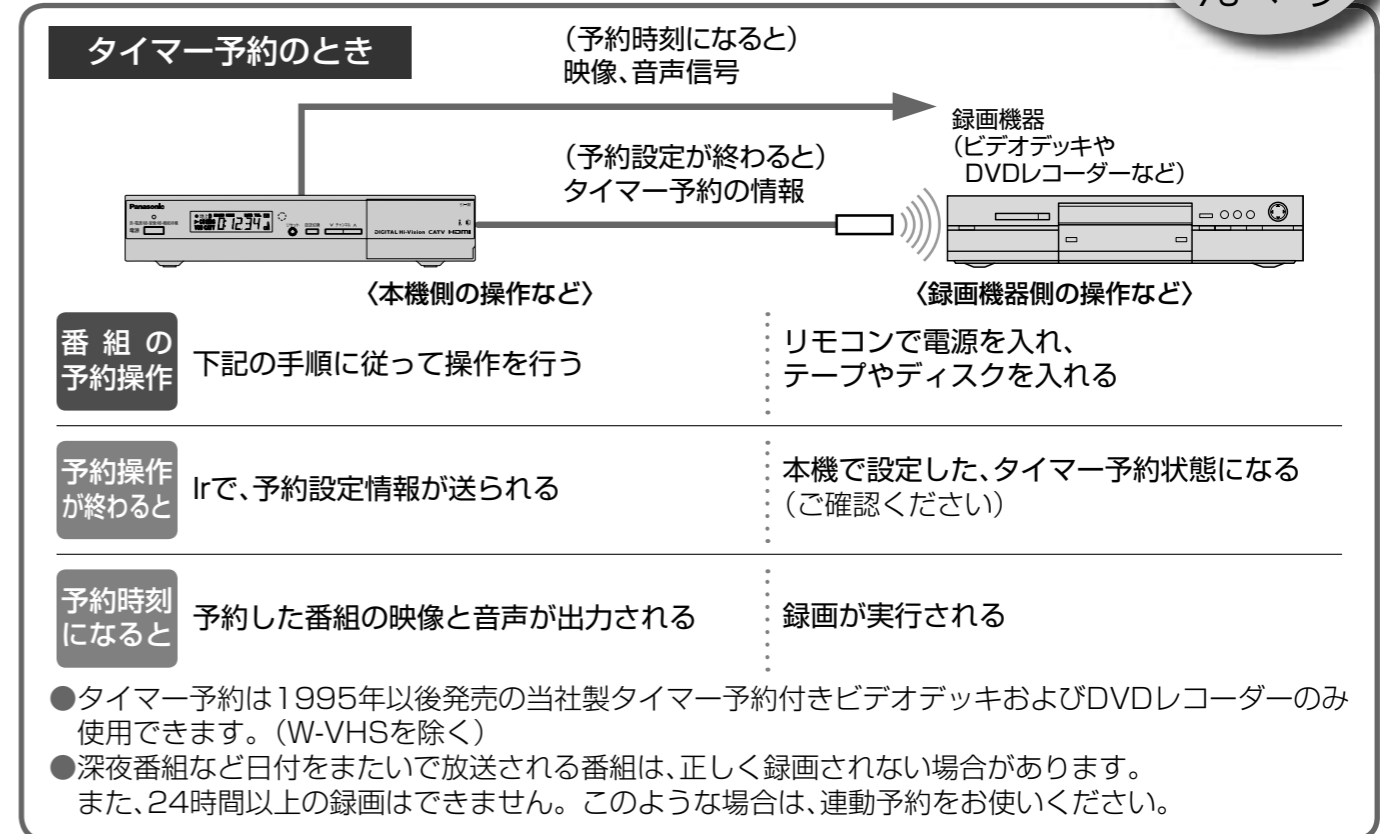
●録画機器側でも準備操作が必要です。

これで、**予約完了**です。

●DVDレコーダーで複数の録画予約を行う場合、番組の間隔が1分未満のときは、1つの番組として録画されることがあります。
●番組の先頭部分が切れないように、録画予約の開始時刻より数十秒早めに録画が開始されます。

お願い
●タイマー予約と連動予約を混在させないでください。予約が実行されない場合があります。

● **設定中、** 戻る で1つ前の画面に戻ります。
● **設定後は、** 元の画面 でテレビ放送の画面に戻します。

Irシステムで接続した外部機器に録画する

機器の接続と設定 76 ページ

	〈本機側の操作など〉	〈録画機器側の操作など〉
番組の予約操作	下記の手順に従って操作を行う	リモコンで電源を入れ、テープやディスクを入れる
予約操作が終わると	Irで、予約設定情報が送られる	本機で設定した、タイマー予約状態になる （ご確認ください）
予約時刻になると	予約した番組の映像と音声が出力される	録画が実行される

●タイマー予約は1995年以後発売の当社製タイマー予約付きビデオデッキおよびDVDレコーダーのみ使用できます。（W-VHSを除く）
●深夜番組など日付をまたいで放送される番組は、正しく録画されない場合があります。
また、24時間以上の録画はできません。このような場合は、連動予約をお使いください。

1 番組表 を押す

2 ▼▲◀▶で録画したい番組を選び、決定 を押す

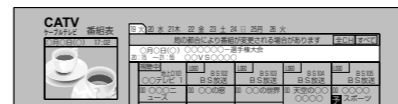
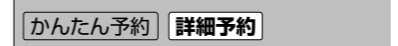
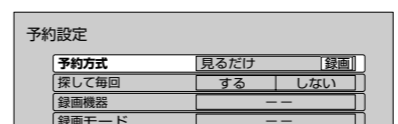
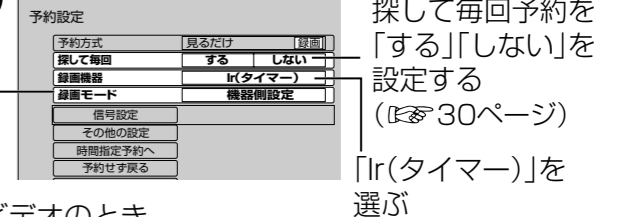
3 ▶で「詳細予約」を選び、決定 を押す

かんたん予約 詳細予約

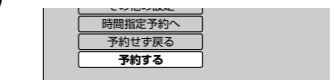
4 ▼▲で「予約方式」を選び、▶で「録画」を選ぶ

5 ▼▲で項目を選び、◀▶で設定する

探して毎回予約を「する」「しない」を設定する（☞30ページ）

「Ir（タイマー）」を選ぶ

●ビデオのとき
→「標準」「3倍」「5倍」「標3」「機器側設定」から選ぶ
●DVDレコーダーのとき
→「XP」「SP」「LP」「EP」「FR」「機器側設定」から選ぶ

予約時間の微調整など詳細な予約設定をすることができます。（☞30、31ページ）

6 ▼で「予約する」を選び、決定 を押す

本機から録画機器に予約情報が送られ録画機器がタイマー予約状態になると、**予約完了**です。

●HDD内蔵のDVDレコーダーでのHDDとDVDの切り換え設定などの本機から設定できない項目は、録画機器側で設定します。
●「再送信」は録画機器がタイマー予約状態にならなかった場合に、行ってください。

番組表から録画予約する

● 設定中、戻る で1つ前の画面に戻ります。
● 設定後は、元の画面 でテレビ放送の画面に戻します。

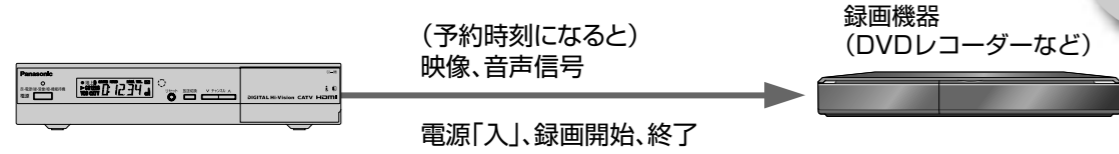
i.LINK

i.LINKで接続した外部機器に録画する

機器の接続と設定 72ページ

（予約時刻になると）映像、音声信号

電源「入」、録画開始、終了

録画機器（DVDレコーダーなど）

〈本機側の操作など〉 〈録画機器側の動作など〉

予約時刻になると
- ●i.LINKで電源「入／切」と録画開始信号が送られる（終了時刻に停止信号が送られる）
- ●予約した番組の映像と音声が出力される

電源が入り、録画が実行される（終了時刻に電源が切れる）

当社製ブルーレイディスクレコーダー／DVDレコーダー（ディーガ）でのi.LINK録画中に以下を実行するとi.LINK録画が失敗または中断する場合があります。
・i.LINK録画中にディーガを操作する
・重複するディーガ側の録画予約が開始する

1 番組表 を押す

2 ▼▲◀▶で録画したい番組を選び、決定 を押す

3 ▶で「詳細予約」を選び、決定 を押す

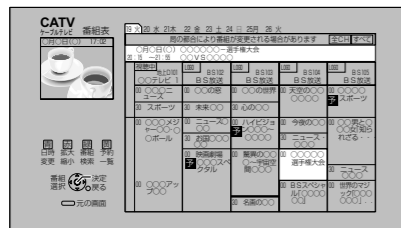
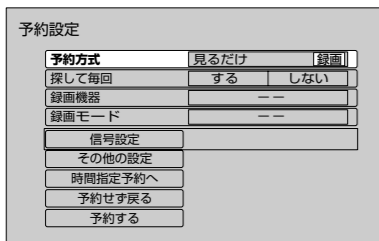
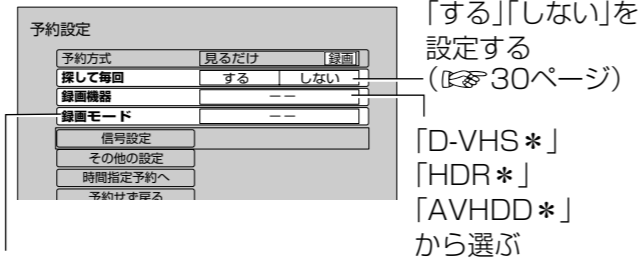
かんたん予約 **詳細予約**

4 ▼▲で「予約方式」を選び、▶で「録画」を選ぶ

5 ▼▲で項目を選び、◀▶で設定する

予約設定
予約方式 見るだけ 録画
探して毎回 する しない
録画機器 ーー
録画モード ーー
信号設定
その他の設定
時間指定予約へ
予約せず戻る

探して毎回予約を「する」「しない」を設定する（☞30ページ）

「D-VHS＊」「HDR＊」「AVHDD＊」から選ぶ

「標準」「3倍」「5倍」「自動※1」から選ぶ
AVHDD＊のときは、「DR(残量19:12)※2」に固定
（「5倍」に対応していない録画機器では「標準」で録画）

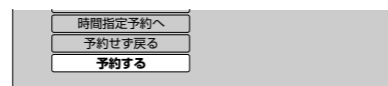
※1「自動」は高画質なモードを優先して録画します。
・デジタルハイビジョン放送→「HS」で録画
・デジタル標準テレビ放送→「STD」で録画
（放送局側の設定により変わることがあります）
・デジタル録画できない場合→録画機器で設定しているモードでアナログ録画

※2 接続機器により残量の表示が異なります。

当社製ブルーレイディスクレコーダー/DVDレコーダーのときは、「録画機器」を「D-VHS」、「録画モード」を「自動」に設定してください。

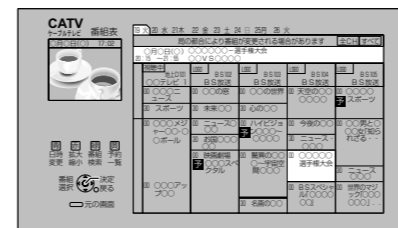
番組追従など詳細な予約設定をすることができます。（☞30、31ページ）

6 ▼▲で「予約する」を選び、決定 を押す

時間指定予約へ
予約せず戻る
予約する

これで、**予約完了**です。

IrシステムやI.LINK以外で接続した外部機器に録画する

1 番組表 を押す

2 ▼▲◀▶で録画したい番組を選び、決定 を押す

3 ▶で「詳細予約」を選び、決定 を押す

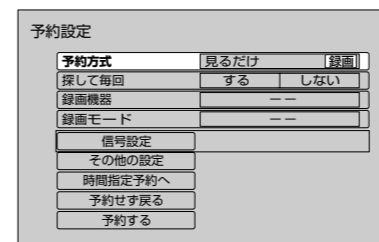
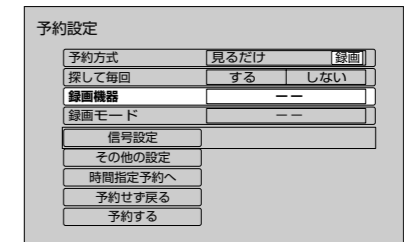
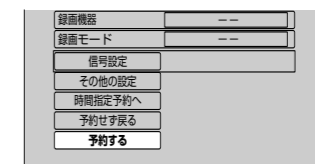
かんたん予約 **詳細予約**

4 ▼▲で「予約方式」を選び、▶で「録画」を選ぶ

5 ▼▲で「録画機器」を選び、◀▶で「ーー」を選ぶ

番組追従など詳細な予約設定をすることができます。（☞30、31ページ）

6 ▼▲で「予約する」を選び、決定 を押す

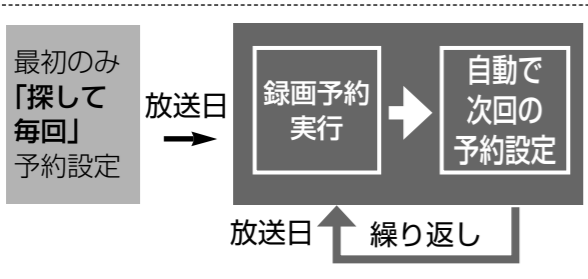
録画機器 ーー
録画モード ーー
信号設定
その他の設定
時間指定予約へ
予約せず戻る
予約する

これで、**予約完了**です。

●録画機器側でも予約設定が必要です。（☞上記）

録画の詳細設定

予約設定		
予約方式	見るだけ	録画
探して毎回	する	しない
録画機器	AVHDD1	
録画モード	DR	
信号設定		
その他の設定		
時間指定予約へ		
予約せず戻る		

「探して毎回」予約について

探して毎回予約は、放送日や放送時間が一定でないシリーズ物の番組を一度、「探して毎回」予約を「する」に設定すると、次回以降の放送は本機が自動的に毎回、予約設定します。
番組表データの放送チャンネル・時間帯・番組名などから次回の放送を自動検索します。

■「探して毎回」予約時の注意

- 「探して毎回」予約は最大20件まで設定できます。
- 番組単位で購入できる有料番組(PPV)の予約はできません。
- 番組タイトルが極端に短い場合は設定できない場合があります。
  (N、因などの場合は設定できません)
- 番組名が前回と大きく異なる場合は、次回の放送を検索できないことがあります。
- 1つの「探して毎回」予約からは同じ番組が1日に連続して複数回放送される場合、1日に7回まで予約設定されます。
- 番組の間隔が10分以上離れている場合は、連続番組として予約設定されません。
- 録画機器の状態により次回の予約が登録されなかったり実行できない場合があります。
  (ダビング中、起動／終了処理中など)
- 次回の予約が設定されるまで、最大1日かかる場合があります。
- 次回の放送開始時間が90分以上前後した場合は予約設定されないことがあります。
- Irシステムのタイマー予約の場合、録画機器によっては次回の予約設定時に予約設定画面が表示されたり、再生が中断する場合があります。

■「探して毎回」予約の取り消しについて

- 「予約一覧」と「探して毎回」予約一覧から取り消したい番組を削除してください。(☞33ページ)

複数の映像や音声がある番組のとき

マルチビュー放送や複数の映像、二重音声、字幕などがある番組ではそれぞれ指定して録画することができます。

①▼▲で「信号設定」を選び、(決定) を押す

②▼▲で項目を選び、◀▶で設定する

信号設定		
マルチビュー	主番組	
映像	映像1	
音声	音声1	
二重音声	主+副	
データ	−−	
字幕	オフ	オン
字幕言語	日本語	英語
追加購入選択	追加金額:500円	

■番組の中に購入が必要な信号があるとき

▲▼で「追加購入選択」を選び、決定ボタンを押すと、追加購入画面が表示され、追加購入する信号を選びます。

● 表示される項目と設定内容は番組によって変わります。

番組追従、録画時刻の調整、サイドカットの設定をするとき

①▼▲で「その他の設定」を選び、(決定) を押す

②▼▲で項目を選び、◀▶で設定する

その他の設定			
番組追従	する	しない	ⓐ
開始時刻修正 20:07	+7分		ⓑ
終了時刻修正 20:55	−5分		ⓑ
マルチビュー録画	オフ	オン	ⓒ
サイドカット	する	しない	ⓓ

ⓐ番組の放送時間の変更に合わせて録画

- ● 番組の放送時刻変更に合わせて予約も自動で変更したいとき→「する」
  (局からの情報があるときのみ3時間まで追従します。)
- ● 番組の放送時刻変更に関係なく最初の予約完了時刻で予約を実行したいとき→「しない」
  (予約設定時間内に番組が始まらない場合、予約は実行されません。)

ⓑ予約時刻を微調整する

開始時刻：−1分まで、終了時刻：+1分まで
※開始時刻〜終了時刻が6分以上必要です。

ⓒマルチビュー番組のとき

i.LINK対応機器での録画時に設定します。

- ● すべての信号を録画する→「オン」
- ● 信号設定した信号だけを録画する→「オフ」

ⓓサイドカット

「する」に設定すると、ハイビジョン放送の場合、左右両端を切り取った映像に変換して出力されます。

「番組追従」と「マルチビュー録画」は、あらかじめ設定しておくと、すべての録画予約に反映されます。

① (操作一覧) →「予約する」→「録画・視聴設定」を選び、決定する

②▼▲で項目を選び、◀▶で「する／しない」「オン／オフ」を設定する

番組追従	する	しない
マルチビュー録画	オフ	オン

- ● 番組追従で予約時間が変更された場合、別の予約番組と重複する場合があります。
- ● 番組追従を「する」に設定されていても、放送局から送られてくる番組情報によっては録画予約が実行されない場合があります。
- ● 番組追従は時間指定予約時またはタイマー予約時には、はたらきません。

前回と同じ設定で録画予約する(かんたん予約)

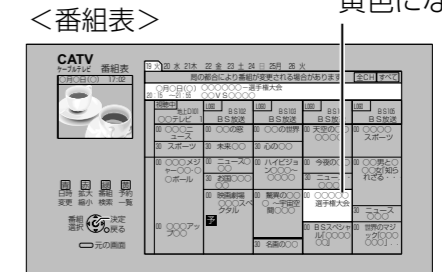
前回、録画したときと同じ設定(録画機器と録画モード)で予約します。

1 (番組表) を押す

2 ▼▲◀▶で番組表から、録画したい番組を選び、(決定) を押す

● 視聴制限の番組で暗証番号入力画面が表示された場合は、暗証番号を入力してください。(☞43ページ)

<番組表>

例：選んでいる番組が黄色になる

●放送中の番組のとき

今すぐ見る　かんたん予約　詳細予約

●放送予定の番組のとき

かんたん予約　詳細予約

3 ◀▶で「かんたん予約」を選び、(決定) を押す

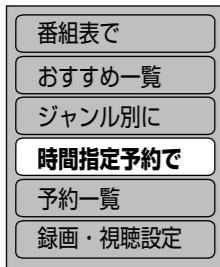
日時を指定して録画予約する

●録画機器との接続と設定について（☞70～72、76ページ）

1 （操作一覧）を押す

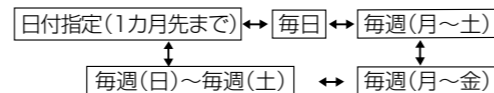
2 ▼▲で「予約する」を選び、（決定）を押す

CATV 操作一覧
- 番組を探す
- 予約する
- 機器を操作する
- 情報を見る
- 設定する

3 ▼▲で「時間指定予約で」を選び、（決定）を押す

●「番組表で」を選ぶと、番組表が表示されます。（☞18ページ）
●「おすすめ一覧」を選ぶと、おすすめ一覧が表示されます。（☞22ページ）
●「ジャンル別に」を選ぶと、メインジャンルが表示されます。（☞20ページ）

4 ▼▲で項目を選び、◀▶で設定する

項目	設定	
予約方式	見るだけ／録画	①
放送種別	BS	②
予約チャンネル	200	③
曜日／日	12月18日（火）	④
開始時刻 12月18日	20：00	⑤
終了時刻 12月18日	21：00	⑤
録画機器	Ir（連動）	⑥
録画モード	－－	⑦
信号設定	音声：主＋副	⑧
その他の設定		⑨
予約せず戻る		

①「見るだけ」か「録画」を選ぶ
②放送種別を選ぶ
③チャンネルを選ぶ
④曜日／日を選ぶ（毎日・毎週などの連続予約）（青ボタンと赤ボタンでも切り換わります）

⑤開始・終了時刻を選ぶ
⑥録画機器を選ぶ（詳しくは☞26～29ページ）
⑦録画モードを選ぶ（詳しくは☞27、28ページ）
⑧「二重音声」の設定内容を表示（二重音声の番組のみ有効）（変更は信号設定☞30ページ）
⑨マルチビュー録画、サイドカットなどの設定を変更できます。（☞31ページ）

5 ▼で「予約する」を選び、（決定）を押す

- 信号設定
- その他の設定
- 予約せず戻る
- 予約する

●確認画面（またはエラー画面）が出た場合には、表示内容を確認し操作してください。
●タイマー予約時の「再送信」は録画機器がタイマー予約状態にならなかった場合に、行ってください。
●暗証番号入力画面が表示された場合は暗証番号を入力してください。（☞43ページ）

録画機器側の操作を行ってください。（☞26、27、29ページ）

お知らせ

●DVDレコーダーで録画時の番組タイトル情報については（☞77ページ）
●設定が有効でない項目は、灰色表示になります。

● **設定中、**（戻る）で1つ前の画面に戻ります。　● **設定後は、**［元の画面］でテレビ放送の画面に戻します。

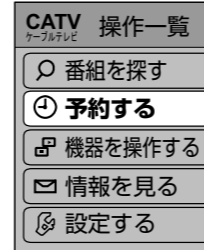
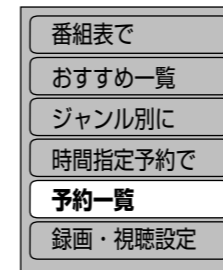
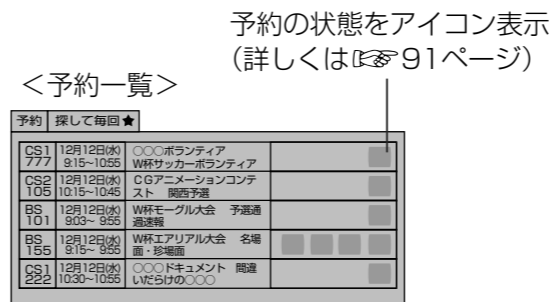
録画予約の確認・変更・取り消し

1 （操作一覧）を押す

2 ▼▲で「予約する」を選び、（決定）を押す

3 ▼▲で「予約一覧」を選び、（決定）を押す

4 ▼▲で確認・変更・取り消したい番組を選び、（決定）を押す

予約の状態をアイコン表示（詳しくは☞91ページ）

<予約一覧>

●実行前の予約と実行済みの予約が、それぞれ50件、最大で100件まで表示されます。

例：実行前の予約を選んだとき

5

■予約内容の確認や変更のとき

①◀▶で「設定変更」を選び、（決定）を押す
②設定内容を確認する
③設定を変更するときは、画面上で設定を変更して、▼▲で「修正する」を選び、（決定）を押す

■予約した番組を取り消すとき

①▶で「取り消し」を選び、（決定）を押す

探して毎回予約を取り消すときは、引きつづき以下の操作を行ってください。

②（赤）を押す
→「探して毎回」予約一覧が表示されます。
③取り消したい番組を▼▲で選び、（決定）を押す
④確認画面が表示されたら、◀で「はい」を選び、（決定）を押す

（「探して毎回」予約について ☞30ページ）

探して毎回予約を設定した場合

「探して毎回」予約一覧からも取り消さないと「予約一覧」で取り消した番組の放送以降の番組が自動的に予約設定され「予約一覧」に追加されていきます。

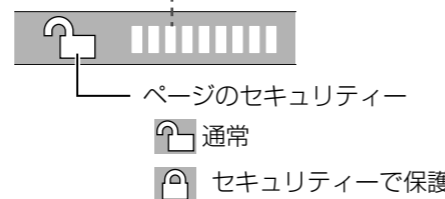
お願い

●「タイマー予約」のときは、録画機器側でも変更や取り消し操作を行ってください。

お知らせ

●録画実行中の番組を中止するときは、本体の電源ボタンを押してください。
●番組追従を「する」に設定したとき（☞31ページ）、番組放送時間が変わり録画予約が変更されても予約一覧の表示には反映されません。
●実行録画終了後の番組のときは、「履歴削除」を選んで決定すると、一覧から削除ができます。
●番組表で予約済みの番組を選んで決定ボタンを押すと「設定変更」「予約削除」を選べます。

インターネットを利用した情報を見る

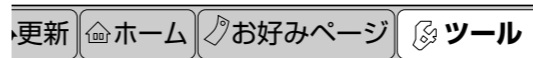
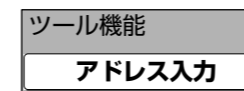
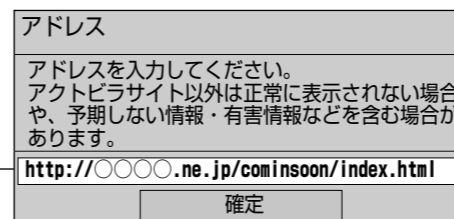
インターネットを利用した生活情報やテレビ向けの双方向情報提供サービスを利用することができます。

※1 ポータルサイトとは、「ブラウザ」ボタンを押したときに最初に表示されるホームページのことです。
（ポータルとは玄関・入り口の意味です）

※2 端末情報とは、郵便番号や端末の識別ID（本機にあらかじめ組み込まれた番号）などのブラウザの通信制御に必要な情報のことです。端末情報を送信しないと、ブラウザ機能の一部が使えません。一度送信を行うと、次回から送信画面は表示されませんが、郵便番号が正しくない場合や長期間ポータルサイトを使用しなかった場合は、再び送信画面が表示されることがあります。

●ご加入のケーブルテレビ局のサービス内容により利用できない場合があります。
ご加入のケーブルテレビ局にご確認ください。

●接続と設定はお済みですか？（☞54、64〜66ページ）

アドレスを入力してホームページを見る

1 「ネット操作」パネルから
▶で「ツール」を選び、決定 を押す

2 ▼▲で「アドレス入力」を選び、
決定 を押す

3 アドレス（URL）を入力する
●文字の入力方法は（☞38〜41ページ）

<アドレス入力画面>

4 ▼で「確定」を選び、決定 を押す

ブラウザ※3の視聴制限（暗証番号の入力）を設定する

テレビ放送画面のときに設定してください。

1 操作一覧 を押す

2 ▼▲で「設定する」を選び、決定 を押す

3 ▼▲で「システム設定」を選び、
決定 を押す

4 ▼▲で「制限項目設定」を選び、
決定 を押す

5 暗証番号を入力する（☞43ページ）

6 ▼▲で「ブラウザ制限」を選び、
◀▶で設定を選ぶ

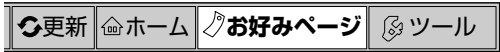
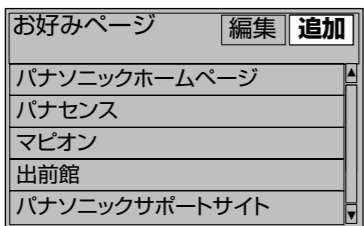
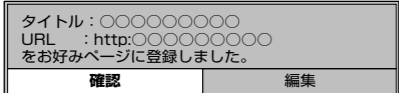
アドレス入力制限	アドレス入力画面を出す前に暗証番号の入力が必要
すべて制限	ブラウザボタンを押したときに暗証番号の入力が必要
無制限	制限なし（暗証番号の入力が不要）

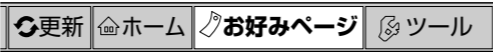
ホームページへの情報登録についてのご注意

ブラウザを使ってホームページに登録した情報は、そのホームページのサーバーに登録されます。ご加入のケーブルテレビ局への返却などで本機のご使用を中止される場合は、登録時の規約などに従って、必ず登録情報の消去を行ってください。

お知らせ

●天災やシステム障害その他の事由により、ポータルサイトのコンテンツを表示できない場合がありますので、あらかじめご了承ください。
●ポータルサイトの利用条件については、別途、ポータルサイトにてご確認ください。
●ご加入のケーブルテレビ局指定のコンテンツ以外の一般のインターネットホームページは、本機では正確に表示されない場合があります。また、予期しない情報や有害な情報が含まれている場合もあります。
●クレジットカードの番号や氏名などの個人情報を入力するときは、そのページの提供者が信用できるかどうか十分注意してください。
●本機能はご加入のケーブルテレビ局のサービス内容により使用できない場合があります。

※3 ブラウザとは、インターネット上のページを表示するためのソフトウェアです。本機にはポータルサイトへアクセスするためのブラウザがあらかじめ入っています。

「お好みページ」に登録する

今見ているホームページを「お好みページ」に登録して、すぐに呼び出すことができます。

「お好みページ」を登録する

1 ホームページを見ているときに
サブメニュー Ⓢ を押す

2 ◀▶で「お好みページ」を選び、
(決定) を押す

更新 | ホーム | お好みページ | ツール

3 ▲で「追加」を選び、(決定) を押す

4 ◀▶で「確認」を選び、(決定) を押す

お知らせ

●「お好みページ」の登録は、20件までです。手順3で「これ以上登録できません」と表示されたら、「編集」を選び決定ボタンを押して、不要な「お好みページ」を削除してください。
（☞37ページ）

登録したホームページを見る

1 ホームページを見ているときに
サブメニュー Ⓢ を押す

2 ◀▶で「お好みページ」を選び、
(決定) を押す

更新 | ホーム | お好みページ | ツール

3 ▼で見たい「タイトル」を選び、
(決定) を押す

→選んだページが表示されます。

お知らせ

●「お好みページ」に登録したホームページが、提供者の都合により無くなったり、アドレスが変更になった場合には、そのページは表示できません。

「お好みページ」に登録したホームページを削除する・タイトルやアドレスを変更する

1 ホームページを見ているときに
サブメニュー Ⓢ を押す

2 ◀▶で「お好みページ」を選び、
(決定) を押す

更新 | ホーム | お好みページ | ツール

3 ▲◀で「編集」を選び、(決定) を押す

4 ▲▼で削除や変更したい「タイトル」を選び、サブメニュー Ⓢ を押す

●「データ」になっているときは、赤 を押して「ブラウザ」に戻します。

5 ■ホームページを削除するとき

▼▶で「削除」を選び、(決定) を押す

■タイトルやアドレスを変更するとき

①▼▶で「タイトル」または「URL」（アドレス）を選び、文字を変更する

●画面キーボードが表示されたときは、赤 を押すと、下の項目へ移動します。

（例）元のタイトルを削除して、新しいタイトルを入力する。
文字の入力方法は
（☞38～41ページ）

②変更が終わったら、
▼◀で「更新」を選び、(決定) を押す

URL	http://www.○○○○○.co.jp	
更新	削除	編集中止

6 確認画面が表示されたら、
◀で「はい」を選び、(決定) を押す

●一覧に戻ります。（ご確認ください。）

●確認したら 戻る ◯ を押す

文字を入力する

文字を入力するには、携帯電話と同じような入力を行う「携帯電話（リモコン方式）」と、画面にキーボードを表示させて入力する「画面キーボード入力方式」の２通りの入力方法があります。
工場出荷時は「携帯電話（リモコン方式）」が設定されています。
（文字入力方式は「文字入力設定」で変更できます。☞44ページ）

■携帯電話（リモコン）方式のとき

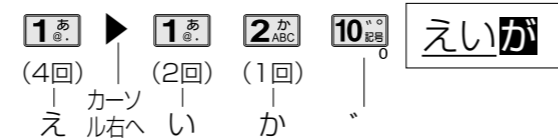
リモコンの数字ボタンを使って、携帯電話と同じような操作で入力します。

■文字入力欄にカーソルを移動させると、文字が入力できます。

1 緑 を押して入力モードを選び、決定 を押す

- 押すたびに切り換わります。
- 漢字を入力するときは「かな」を選びます。
- 入力欄の状況により、選択できる入力モードが制限される場合があります。（例：英数と数字のみ）

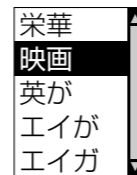
2 文字を入力する

例：「えいが」と入力するとき

- 入力文字一覧表をご覧ください。（☞39ページ）

3 ■漢字に変換しないとき

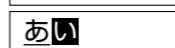
→手順4へ

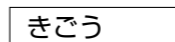
■漢字に変換するとき

→変換したい漢字が出るまで▲▼を押す

4 決定 を押す

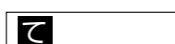
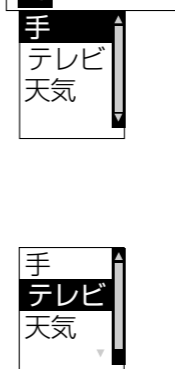
- カーソル
  文字が追加される位置を示しています。

映画|

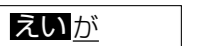
- 続けて文字を入力するときは、手順1から、くり返します。

リモコンボタンでの入力文字一覧表

ボタン＼入力モード	かな	カナ	英数	数字
1	あ い う え お ぁ ぃ ぅ ぇ ぉ 1	ア イ ウ エ オ ァ ィ ゥ ェ ォ 1	@ . / : ~ _ 1	1
2	か き く け こ 2	カ キ ク ケ コ 2	a b c A B C 2	2
3	さ し す せ そ 3	サ シ ス セ ソ 3	d e f D E F 3	3
4	た ち つ て と っ 4	タ チ ツ テ ト ッ 4	g h i G H I 4	4
5	な に ぬ ね の 5	ナ ニ ヌ ネ ノ 5	j k l J K L 5	5
6	は ひ ふ へ ほ 6	ハ ヒ フ ヘ ホ 6	m n o M N O 6	6
7	ま み む め も 7	マ ミ ム メ モ 7	p q r s P Q R S 7	7
8	や ゆ よ ゃ ゅ ょ 8	ヤ ユ ヨ ャ ュ ョ 8	t u v T U V 8	8
9	ら り る れ ろ 9	ラ リ ル レ ロ 9	w x y z W X Y Z 9	9
10	、 。 ? ! ・ （ ） 0	、 。 ? ! ・ （ ） 0	− , ; ’ ” ? ! （ ） & ¥ 0	0
11	わ を ん ゎ ー スペース	ワ ヲ ン ヮ ー スペース	スペース	*
12	改行	改行	改行	#

- ボタンを押すたびに、表の順に文字が変わります。（例：「い」を入力するときは 1 を2回押す）
  未確定の文字があるときに 12 を押すと、表の逆順で文字が変わります。
- 「英数」と「数字」は半角で入力されます。（▼を押すと全角に変換されるものもあります）
- 濁点や半濁点を入力するときは→文字に続けて 10 を押す

同じボタンで続けて入力する

<例：「あい」を入力するとき>

①1を押す　［あ］
②▶でカーソルを右へ移動させる　［あ■］
③1 1 と押す　［あい］

記号を入力する

①「きごう」と入力する
②変換したい記号が出るまで▼を押し、決定 を押す

予測して変換できるとき（予測変換）

<例：「テレビ」を入力するとき>

①4を4回押す
- 本機が予測して変換できると「て」で始まる言葉の候補を表示します。
- うまく変換できないときは、緑を押すと、一時的に通常方式に切り換えられます。

［て］　手／テレビ／天気

②▼で「テレビ」を選び、決定 を押す

文節を分けて変換する

<例：「えいが」の「えい」だけ変換する>

①「えいが」と入力して▼を押す　［映画］
②◀を押して「えい」だけを選ぶ　［えいが］
③▼を押して変換する　［映が］

文字を追加する

①◀▶でカーソルを追加したい位置へ移動させて、文字を入力する（カーソルによって位置が変わります）

［テレ|を］ ➡ ［テレビ|を］ 決定 を押す
└カーソルを追加したい文字位置へ移動

［ABCD］ ➡ ［AEBCD］ 決定 を押す
└カーソルを追加したい文字位置の右側へ移動

文字を削除する

①◀▶でカーソルを削除したい文字位置に移動させて、黄を押す（カーソルによって位置が変わります）

［行|なう］ ➡ ［行う］
└カーソルを消したい文字の左側へ移動

［ABCD］ ➡ ［ACD］
└カーソルを消したい文字位置へ移動

- カーソルの右側に文字がない場合は、左側の文字が削除されます。

文字を入力する

■画面キーボード方式のとき

画面上にキーボードを表示し、選択/決定ボタンを使って入力します。
画面キーボードで入力するときは、44ページ「文字入力設定」で「画面キーボード」に設定してください。

■文字入力にカーソルを移動させると、文字が入力できます。（自動的に画面キーボードを表示）

●文字を入力しないときは、赤を押す。

1 緑 を押して入力モードを選ぶ

→画面上にキーボードが表示されます。

●押すたびに切り換わります。

かな → カナ → 英数

●漢字を入力するときは「かな」を選びます。
●英数のみが入力できる項目のときは、「英数」に固定されます。

2 ◀▶▲▼で文字を選び、決定 を押す

●この操作をくり返し、文字を入力していきます。

3 ■漢字に変換しないとき

→ 赤 を押す

■漢字に変換するとき

① 青 を押す

●画面キーボードが消え、漢字を表示します。
●他の漢字に変換したいときは▼を押し、候補の中から選ぶ。

② 決定 を押す

●続けて文字を入力するときは、手順1からくり返します。

4 赤 を押して、入力を終了する

→画面キーボードの表示が消えます。

画面キーボードの見かた

入力方法：◀▶▲▼で文字を選び、決定 を押す。

改行するとき
スペースを入力するとき
キーボードの表示位置を移動する
入力位置のカーソルを移動
選んでいる文字が黄色になる
例 入力モードが「かな」のとき
青 変換
赤 終了
緑 文字切換
黄 文字クリア
終了：文字入力を終了する
確定：入力変換中の文字を確定させる

●入力モードが「カナ」のとき
●入力モードが「英数」のとき

●画面上のキーボードの表示位置を移動させたいときは「キーボード移動」を選び、決定 を押す
●「英数」は半角で入力されます。
（全角にしたいときは、左ページの手順3で 青 を押して変換します。）

文節を分けて変換する

<例:「えいが」の「えい」だけ変換する>

①「えいが」と入力し、青 を押す　映画
②◀を押して「えい」だけを選ぶ　えいが
③▼を押して変換する　映が

予測して変換できるとき（予測変換）

<例:「テレビ」を入力するとき>

①◀▶▲▼で「て」を選び、決定 を押す

●本機が予測して変換できると、キーボード上に「て」で始まる言葉の候補を表示します。

●うまく変換できないときは、青 で、一時的に通常方式に切り換えられます。

②◀▶▲▼で「テレビ」を選び、決定 を押す

●変換したい字がない場合は、続けて次の文字を入力します。

記号を入力する

①「きごう」と入力し、青 を押す

→画面キーボードが消え、記号が表示されます。

●他の記号に変換したいときは▼を押し、候補の中から選びます。

文字を追加する

①◀▶▲▼で「入力位置移動」を選び、決定 を押す
②◀▶でカーソルを追加したい位置へ移動させ、決定 を押す
③文字を入力する（カーソルによって位置が変わります）

テレ|を ➡ テレビ|を 赤 を押す
└カーソルを追加したい文字位置へ移動

ABCD ➡ AEBCD 赤 を押す
└カーソルを追加したい文字位置の右側へ移動

文字を削除する

①◀▶▲▼で「入力位置移動」を選び、決定 を押す
②◀▶でカーソルを削除したい文字位置に移動させて、黄 を押す（カーソルによって位置が変わります）

行|なう ➡ 行|う
└カーソルを消したい文字の左側へ移動

ABCD ➡ ACD
└カーソルを消したい文字位置へ移動

●カーソルの右側に文字がない場合は、左側の文字が削除されます。

使いかたに合わせて設定を変える

● 設定中、戻る で1つ前の画面に戻ります。
● 設定後は、元の画面 でテレビ放送の画面に戻します。

操作するリモコンのボタン位置(☞11ページ)

1 操作一覧 を押す

2 ▼▲で「設定する」を選び、決定 を押す

CATV ケーブルテレビ 操作一覧
- 番組を探す
- 予約する
- 機器を操作する
- 情報を見る
- **設定する**
- VOD ビデオ・オン・デマンド

3 ▼▲で「システム設定」を選び、決定 を押す

- **システム設定**
- 設置設定
- 接続機器関連設定
- 自動更新設定
- 設定リセット

システム設定 1/2		説明ページ
おすすめ番組設定		46·47
字幕の設定		右記
制限項目設定		右記
文字入力設定		44
選局対象	すべて	44
二重音声設定	主	44
タイトル表示	する しない	44
機能待機	する しない	45
ケーブルモデム電源連動	する しない	68
前面パネル輝度	明 暗	45
選局入力方式	3桁入力	45

システム設定 2/2		
チャンネルアップダウン	ネットワーク	44

●「ケーブルモデム電源連動」は、TZ-DCH520/TZ-DCH820では表示されません。

字幕の設定 字幕や文字スーパーを設定する

文字スーパーを「オン」にすると、視聴者にお知らせしたいことを、番組放送中の画面上に文字で表示します。

4 ▼▲で「字幕の設定」を選び、決定 を押す

5 ▼▲で項目を選び、◀▶で設定する

字幕の設定			
字幕	オフ	オン	字幕のオフ／オン
字幕言語	日本語	英語	字幕の言語
文字スーパー	オフ	オン	文字スーパーのオフ／オン
文字スーパー言語	日本語	英語	文字スーパーの言語

●強制的に表示される字幕や文字スーパーなど、設定しても番組によって無効になる場合があります。
●字幕の「オフ」「オン」の切り換えは 字幕 でもできます。

制限項目設定 有料番組や視聴年齢制限を設定する

●年齢の下限や購入金額の上限を設定できます。
●制限を超える番組は暗証番号の入力が必要です。
●年齢制限を超える番組は番組表などで「･･･」と表示します。

4 ▼▲で「制限項目設定」を選び、決定 を押す

5 画面の指示に従って 1 〜 10 で、4桁の暗証番号を入力する

●初めて設定するときは暗証番号を2回入力して登録します。
●暗証番号の入力がないと約10秒後に「システム設定」の画面に戻ります。

登録した暗証番号は、忘れないようにメモをしておいてください。

制限項目設定	
視聴可能年齢	無制限
一番組限度額	無制限
ブラウザ制限	無制限
制限解除有効期限	選局まで
チャンネルスキップ設定	
暗証番号変更	
暗証番号削除	

●各項目の詳細は、右ページをご覧ください。「ブラウザ制限」は、35ページをご覧ください。

視聴できる年齢を制限する

① ▼▲で「視聴可能年齢」を選び、◀▶で年齢の下限を制限する

制限項目設定	
視聴可能年齢	無制限
一番組限度額	無制限

制限できる年齢
→「4才」〜「19才」(1才単位)、「無制限(工場出荷時)」

有料番組のとき一番組の購入金額を制限する

① ▼▲で「一番組限度額」を選び、◀▶で金額の上限を設定する

制限項目設定	
視聴可能年齢	無制限
一番組限度額	無制限
ブラウザ制限	無制限

制限できる金額
→「100円」「500円」「1,000円」「1,500円」「2,000円」「2,500円」「3,000円」「無制限(工場出荷時)」

制限解除の期限を設定する

① ▼▲で「制限解除有効期限」を選び、◀▶で期限を設定する

ブラウザ制限	無制限
制限解除有効期限	選局まで
チャンネルスキップ設定	
暗証番号変更	

電源OFFまで	電源を切るまで視聴可能
選局まで	チャンネルを変えるまで視聴可能

設定した年齢や購入金額を超える番組を選ぶと

暗証番号の入力画面が表示される。

視聴制限があります。
暗証番号を入力してください。
－－－－

1 〜 10 を押して、暗証番号を入力する。
(12 を押すごとに最後の桁が取り消される)

制限を解除(視聴できる)

視聴できるチャンネルを制限する

① ▼▲で「チャンネルスキップ設定」を選び、決定 を押す

制限解除有効期限	選局まで
チャンネルスキップ設定	
暗証番号変更	

② ▲▼で制限するチャンネルを選び、決定 を押す

C600	○○○○	スキップ
BS100	○○○○	スキップ
BS200	○○○○	

③ 戻る を押す

④ 確認画面で、◀で「はい」を選び、決定 を押す

●スキップ設定したチャンネルは選局できなくなります。(番組表にも表示しません)
●スキップ設定したチャンネルを選び、決定を押すと、スキップ設定を解除します。
● 青 でチャンネルスキップ設定を一時解除します。(電源を「切」「入」すると制限状態に戻ります。)
● 黄 でスキップチャンネルのみの表示に切り換わります。

暗証番号を変更する

① ▼▲で「暗証番号変更」を選び、決定 を押す

チャンネルスキップ設定	
暗証番号変更	
暗証番号削除	

② 1 〜 10 で、新しい4桁の暗証番号を入力する

入力がないと約10秒後、「制限項目設定」の画面に戻ります。

③ 画面の指示に従って再度、4桁の暗証番号を入力する

変更した暗証番号は、忘れないようにメモをしておいてください。

暗証番号を削除する(取り消す)

① ▼▲で「暗証番号削除」を選び、決定 を押す

チャンネルスキップ設定	
暗証番号変更	
暗証番号削除	

② ◀で「はい」を選び、決定 を押す

暗証番号を削除します。よろしいですか?

はい	いいえ

●制限項目は、無効になります。

使いかたに合わせて設定を変える

● **設定中、**（戻る）で1つ前の画面に戻ります。
● **設定後は、**［元の画面］でテレビ放送の画面に戻します。

文字入力設定　文字入力の方式や変換方法を変える

42ページ手順**1**～**3**で「システム設定」画面を出す

4 ▼▲で「文字入力設定」を選び、（決定）を押す

制限項目設定	
文字入力設定	
選局対象	すべて
二重音声設定	主

5 ▼▲で設定項目を選び、◀▶で設定する

文字入力設定	
入力方法	**リモコンボタン**
変換方式	**通常方式**

- リモコンボタン　携帯電話方式で入力
- 画面キーボード　画面上のキーボードで入力
- 1文字の入力で変換候補を表示したいとき →「予測方式」

選局対象 チャンネルアップダウン　（チャンネルボタン）を押して、順送りできるチャンネルを設定する

42ページ手順**1**～**3**で「システム設定」画面を出す

4 ▼▲で「選局対象」を選び、◀▶で設定する

制限項目設定	
文字入力設定	
選局対象	◀ **すべて** ▶

設定	内容
お好み	リモコンの［1］～［12］に設定されているチャンネルと、チャンネル設定（☞56ページ）で設定した13～36までのチャンネル
テレビ	テレビ放送(映像+音声)のチャンネルのみ
ラジオ／データ	ラジオ放送(音声のみ)とデータ放送のチャンネルのみ
すべて	現在受信可能なすべてのチャンネル

5 ▼▲で「チャンネルアップダウン」を選び、◀▶で設定する

システム設定 2／2	
チャンネルアップダウン	**ネットワーク**

▼を押していくとページが変わります。

（システム設定2ページ目）

設定	内容
ネットワーク	地上デジタル放送、BSデジタル放送、CATVデジタル放送などの各放送内で選局する
シームレス	地上デジタル放送、BSデジタル放送、CATVデジタル放送などの各放送をまたいで選局する

二重音声設定　二重音声の設定を変える

42ページ手順**1**～**3**で「システム設定」画面を出す

4 ▼▲で「二重音声設定」を選び、◀▶で設定する

文字入力設定		
選局対象	すべて	
二重音声設定	**主**	
タイトル表示	する	しない
機能待機	する	しない

設定	内容
主	音声が日本語
副	音声が外国語
主＋副	日本語と外国語を同時に出力

お知らせ
- 電源「切」「入」したときに放送が二重音声の場合、上記で設定した音声になります。
- 放送によっては「主」が外国語で「副」が日本語の場合があります。

タイトル表示　番組タイトルなどの表示を消す

42ページ手順**1**～**3**で「システム設定」画面を出す

4 ▼▲で「タイトル表示」を選び、▶で「しない」に設定する

選局対象	すべて	
二重音声設定	主	
タイトル表示	する	**しない**
機能待機	する	しない

- 「しない」に設定すると、チャンネルを切り換えても右上に番組タイトル情報などを表示しません。（チャンネルは表示します。）
再度、表示させる場合は設定を「する」に戻してください。
- 「しない」に設定しても、画面表示ボタンを押したときは、タイトル表示します。

機能待機　映像を映し出すまでの時間を短くする

i.LINK機器からの制御信号を受け付けたり、出画時間を早くすることができます。

42ページ手順**1**～**3**で「システム設定」画面を出す

4 ▼▲で「機能待機」を選び、◀▶で設定する

二重音声設定	主	
タイトル表示	する	しない
機能待機	する	**しない**

設定	内容
する	i.LINK機器からの制御信号を受け付けたり、出画時間を早くしたいとき
しない	電源「切」時の消費電力を少なくしたいとき

お知らせ
- 機能待機を「する」に設定すると、出画時間は早くなりますが、電力を消費します。各機種の消費電力は仕様(☞102、103ページ)をご覧ください。

前面パネル輝度　本体表示窓の明るさを変える

前面表示窓(蛍光表示管)の明るさを「明」「暗」の2段階に切り換えることができます。

42ページ手順**1**～**3**で「システム設定」画面を出す

4 ▼▲で「前面パネル輝度」を選び、◀▶で設定する

二重音声設定	主	
タイトル表示	する	しない
機能待機	する	しない
前面パネル輝度	**明**	**暗**
選局入力方式	プリセット	

- 工場出荷時は「明」に設定されています。

選局入力方式　チャンネルの入力方式を設定する

チャンネルを選ぶとき、3桁のチャンネル番号を入力して選ぶか、数字ボタンに割り当てられたチャンネル番号で選ぶかを設定します。

42ページ手順**1**～**3**で「システム設定」画面を出す

4 ▼▲で「選局入力方式」を選び、◀▶で設定する

二重音声設定	主	
タイトル表示	する	しない
機能待機	する	しない
前面パネル輝度	明	暗
選局入力方式	**3桁入力**	

設定	内容
3桁入力	数字ボタンを3度押して、3桁のチャンネル番号を入力すると、そのチャンネルに切り換わる
プリセット	数字ボタンを1度押すと、56～58ページで設定したチャンネルに切り換わる

■「3桁入力」に設定したとき

入力パネルの表示中は
［11］ 不使用
［12］ 一文字削除
- それ以外のときはボタンに設定したチャンネルを選局（プリセット選局）します。

チャンネル番号の入力のしかたは、13ページをご覧ください。

■「プリセット」に設定したとき

チャンネルの選びかたは、13ページをご覧ください。

おすすめ番組機能を設定する

● 設定中、戻る で1つ前の画面に戻ります。
● 設定後は、元の画面 でテレビ放送の画面に戻します。

操作するリモコンのボタン位置(☞11ページ)

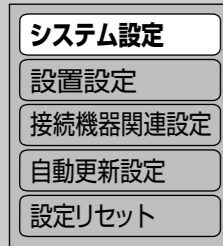
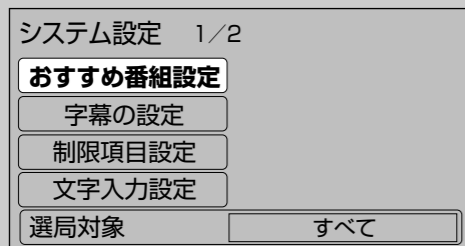
1 操作一覧 を押す

2 ▼▲で「設定する」を選び、決定 を押す

3 ▼▲で「システム設定」を選び、決定 を押す

4 ▼▲で「おすすめ番組設定」を選び、決定 を押す

おすすめ番組設定

おすすめ機能	オフ	オン
番組開始時のおすすめ通知	オフ	オン
選局操作時のおすすめ通知	オフ	オン
通知する番組の数	標準	
おすすめ語句一覧		
おすすめ対象設定		
学習リセット		

● 各項目の詳細は右記をご覧ください。

おすすめ機能 おすすめ番組機能を使う

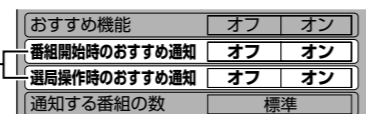
5 ▼▲で「おすすめ機能」を選び、◀▶で「オン」に設定する

● おすすめ機能を使用する →「オン」
● おすすめ機能を使用しない →「オフ」
「オフ」のときは、好みの学習はされません。

お知らせ
● おすすめ番組があれば、おすすめ一覧や番組表に★を表示したり、おすすめ通知を表示してお知らせします。

番組開始時のおすすめ通知 **選局操作時のおすすめ通知** おすすめ番組を視聴中または選局中に通知するかしないかを設定する

5 ▼▲で「番組開始時のおすすめ通知」または「選局操作時のおすすめ通知」を選び、◀▶で設定する

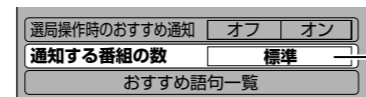
おすすめ機能	オフ	オン
番組開始時のおすすめ通知	オフ	オン
選局操作時のおすすめ通知	オフ	オン
通知する番組の数	標準	

● おすすめ番組の通知をしたいとき →「オン」
● おすすめ番組の通知をしないとき →「オフ」

■番組開始時のおすすめ通知
・おすすめ番組が始まる約30秒前に通知します。
・電源「入」時に、おすすめ番組が放送中のときに通知します。

■選局操作時のおすすめ通知
おすすめ番組がすでに始まっているときにチャンネルを変えると通知します。

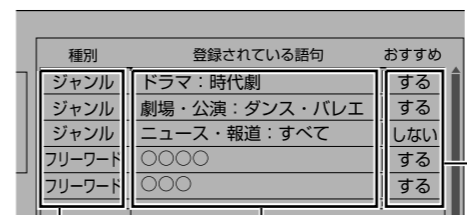
● おすすめ通知される番組のチャンネルが選局されているときは、おすすめ通知がされません。
● おすすめ一覧(☞22ページ)や番組表(☞18ページ)でのおすすめ(★)はこの設定に関係なく常に行います。

通知する番組の数 一日に通知する番組数を設定する

5 ▼▲で「通知する番組の数」を選び、◀▶で設定する

・「少ない」→最大5番組前後まで通知
・「標準」→最大10番組前後まで通知
・「多い」→最大20番組前後まで通知

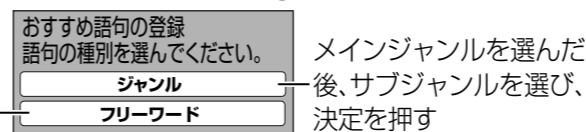
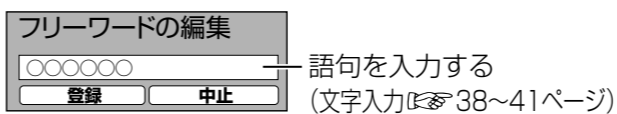
お知らせ
● 通知する番組数は放送の内容や本機の設定により変わります。

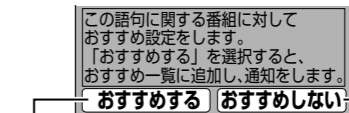
おすすめ語句一覧 登録した語句に関連する番組をおすすめする

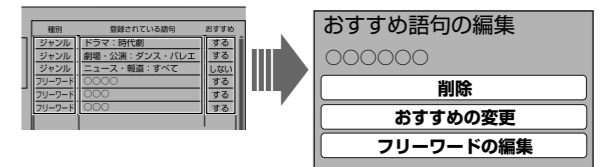
5 ▼▲で「おすすめ語句一覧」を選び、決定 を押す

■新しい語句を登録する
① 緑 を押す
② 登録する種別を選び、決定 を押す

メインジャンルを選んだ後、サブジャンルを選び、決定を押す

「ジャンル」に該当しない語句を登録するとき

語句を入力する
(文字入力☞38～41ページ)

登録を選び、決定を押すと、新しい語句として登録します。
● フリーワードは全角半角の区別はしません。
(最大文字数は全角15文字)
● 語句の登録は最大20件までです。

③ ◀▶で「おすすめする」か、「おすすめしない」かを選び、決定 を押す

語句を含む番組をおすすめする　　語句を含む番組をおすすめしない

■登録した語句を編集する
① ▼▲で登録した語句から編集したい語句を選ぶ
② 決定 を押す

削除 登録した語句を削除します。
❶「削除」を選んで決定を押す
→「おすすめ語句の削除確認」画面を表示します。
❷「はい」を選び、決定を押す

おすすめの変更
おすすめ「する」「しない」を変更する(上記③)

フリーワードの編集
「決定」ボタンを押すと、「フリーワードの編集」画面を表示し、語句の編集ができます。
「ジャンル」の場合は選べません。

おすすめ対象設定 おすすめして欲しい対象を設定する

5 ▼▲で「おすすめ対象設定」を選び、決定 を押す

6 ▼▲で対象を選び、◀▶で設定する

おすすめ対象設定

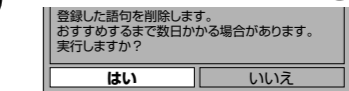
地上デジタル	オフ	オン
BS	オフ	オン
CS	オフ	オン
CATV	オフ	オン
視聴年齢制限番組	オフ	オン

● おすすめして欲しいとき →「オン」

学習リセット 学習結果と登録語句を削除する

これまでの学習結果や登録した語句をすべてリセットし、はじめから学習をやり直します。

5 ▼▲で「学習リセット」を選び、決定 を押す

6 ◀で「はい」を選び、決定 を押す

「学習をリセットしました。」の表示後、「おすすめ番組設定」画面に戻ります。

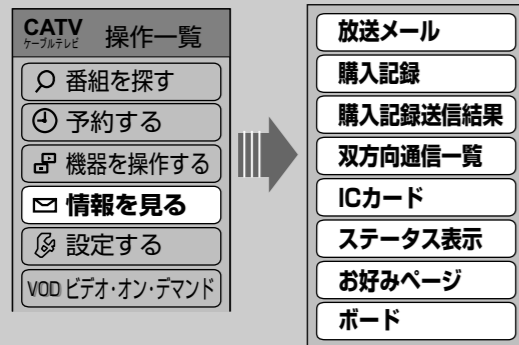
お知らせ
● 学習リセット後は本機はお好みの番組を学習できていないため、おすすめするまで数日かかる場合があります。

いろいろな情報を見る

● 設定中、戻る ◯ で1つ前の画面に戻ります。
● 設定後は、元の画面 でテレビ放送の画面に戻します。

操作するリモコンのボタン位置(☞11ページ)

1 操作一覧 を押す

2 ▼▲で「情報を見る」を選び、決定 を押す

●各項目の詳細は以下をご覧ください。

放送メール　放送メールを見る

ご加入のケーブルテレビ局や本機からのお知らせや情報を見ることができます。

3 ▼▲で「放送メール」を選び、決定 を押す

4 ▼▲で確認したいメールを選び、決定 を押す

→メールの内容が表示されます。

未読	CS1	メール5
未読	CS2	メール6

未読、既読を表示　最新の31通を保存

• 放送メール を押しても上記の画面が表示されます。

●ICカードが挿入されていないと、メールを受信できない場合があります。
●メールの内容に合わせて、ボタンが表示されることがあります。
選んで決定すると、関連画面を表示します。
●インターネットメールではありません。
●ご加入のケーブルテレビ局のサービス内容により表示が異なります。
●放送メールには、ご加入のケーブルテレビ局からのお知らせ(最大31通まで保存)や、本機の機能向上上のためのダウンロード情報(最新の1通のみ保存)などがあります。

購入記録　購入した有料番組を確認する

ご加入のケーブルテレビ局のサービス内容により表示が異なります。

3 ▼▲で「購入記録」を選び、決定 を押す

12月12日(水)からの累計金額　3800円 ― 累計金額

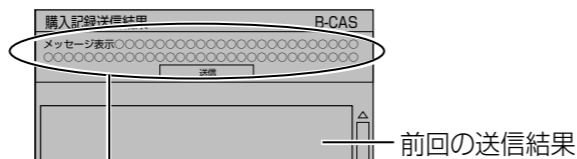
CS1 777	12月12日(水) 9:15〜10:55	○○○ボランティア W杯サッカーボランティア	1000円
CS2 105	12月13日(木) 10:15〜10:45	CGアニメーションコンテスト 競技予選	500円
BS 101	12月14日(金) 9:03〜9:55	W杯モーグル大会 予選通過速報	300円
BS 155	12月15日(土) 9:15〜9:55	W杯エアリアル大会 名場面・珍場面	500円

最新の50番組を表示

●表示される金額は参考金額です。価格改定などにより、請求金額とは異なる場合があります。

■**累計金額をリセットする**(0円に戻す)**には**
① 12 を押して、リセット画面を表示する
② ◀▶で「はい」を選び、決定 を押す
●リセットされた項目は、灰色表示になります。

購入記録送信結果　有料番組の購入記録、データ放送の送信記録などを確認する

3 ▼▲で「購入記録送信結果」を選び、決定 を押す

前回の送信結果

現在の送信状況

●前回の送信結果で再送信が可能であれば、その旨表示します。このときは決定ボタンを押すと再送信されます。
●通常は自動送信されます。

• 青 でB-CASの結果を表示します。
• 赤 でC-CASの結果を表示します。

双方向通信一覧　双方向通信の結果一覧を見る

3 ▼で「双方向通信一覧」を選び、決定 を押す

双方向通信一覧

通信開始時刻	電話番号	
12月12日(水) 10:15	000−000−0000	――
12月12日(水) 10:15	000−000−0000	
12月12日(水) 10:15	000−000−0000	
12月12日(水) 10:15	000−000−0000	

エラーコード(通信失敗時に表示)

ICカード　B-CAS／C-CASカードの番号などを見る

3 ▼▲で「ICカード」を選び、決定 を押す

B-CASカード
カード識別 M001
カードID 0000 0000 0000 0000 0000
グループID 2:9999-9999-9999-9991-1111

• 赤 でC-CASカードの情報を表示します。
• 緑 でCATV-IDの情報を表示します。

ステータス表示　本機に関する情報を見る

3 ▼▲で「ステータス表示」を選び、決定 を押す

ステータス表示
デコーダーID 0000-0000
ステータス 0070-101A
12345-67890
12345-67890

• 青 でソフト情報を表示します。
• 赤 でルート証明書を表示します。
●テレビ放送を見ているときに ステータス を押してもステータスを表示します。(☞97ページ)

ボード　CSデジタル放送の情報を見る

ご加入のケーブルテレビ局のサービス内容によっては、表示されない場合があります。

3 ▼▲で「ボード」を選び、決定 を押す

4 ▼▲で「CS1ボード」または「CS2ボード」を選び、決定 を押す

ボード
CS1ボード
CS2ボード

5 ▼▲で確認したい情報を選び、決定 を押す

情報を表示します。

お好みページ　データ放送からのお好みページを使う

3 ▼▲で「お好みページ」を選び、決定 を押す

データ放送　ブラウザ　青 データ放送　赤 ブラウザ　緑　黄

	タイトル／内容	有効期限
1	○○○○○○○○○○○○	00/00/00
2	○○○○○○○○○○○○	00/00/00

●「ブラウザ」になっているときは、青 を押して「データ放送」に戻します。

4 ▼▲で実行したい「タイトル」を選び、決定 を押す

データ放送　ブラウザ　青 データ放送　赤 ブラウザ　緑　黄

	タイトル／内容	有効期限
1	○○○○○○○○○○○○	00/00/00
2	○○○○○○○○○○○○	00/00/00
3	○○○○○○○○○○○○	00/00/00

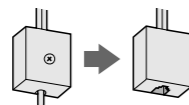
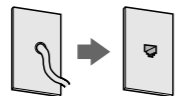
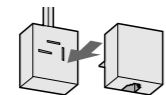
●登録されている内容に従った動作が行われます。
<例>
• 指定されたテレビ放送のチャンネルに切り換えます。
• ポータルサイトに似た画面でインターネットのページを表示します。(ブロードバンド環境のない場合は動作しません。)
• エラーメッセージが表示された場合は96ページを参照ください。

■**お好みページの削除**
①手順4で、サブメニュー S を押す
②「削除」を選び、決定 を押す

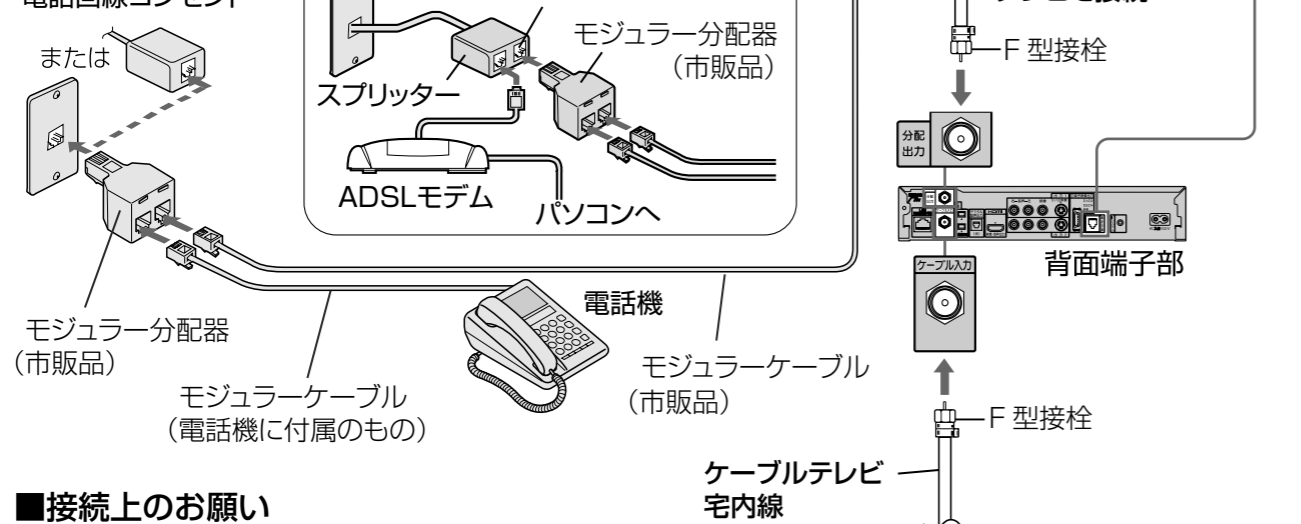
■**お好みページの自動削除**
<例：データ放送からの指示で自動的に削除させる>
①手順4で、サブメニュー S を押す
②「削除許可設定」の項目を選び、設定を「許可」に変える
③「更新」を選び、決定 を押す

ケーブルテレビ宅内線／電話回線の接続

電話回線は、有料番組や視聴者参加番組を楽しむときに必要になる場合があります。ご加入のケーブルテレビ局にご確認ください。

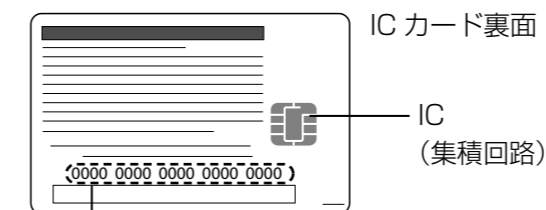
●直付型ローゼットのとき
モジュラーコンセントへの工事が必要です。

●埋め込み型プレートのとき
モジュラーコンセントへの工事が必要です。

●3ピンジャックコンセントのとき
3ピン変換アダプター（市販品）が必要です。

■次の電話回線には接続できません
- ●ISDN回線（ただし、ISDNのターミナルアダプターにアナログポートがあれば接続できます）
- ●デジタル方式の構内交換機に接続されている電話回線。
- ●「内線設定」が、9桁以上必要な構内交換機の電話回線。
- ●ホームテレホンやビジネスホンが接続されている電話回線。（主装置、ターミナルボックス、ドアホンアダプターが接続）

■工事をされる場合は
- ●電話回線に関する工事は資格を受けた人（工事担任者）でなければ行えません。NTT営業所へご相談ください。

■接続するときは

■接続上のお願い
- ●ケーブルテレビ宅内線について
  - ●ケーブル端子・分配出力端子にF型接栓を接続するときは、手で緩まない程度に締めつけてください。締めつけ過ぎると本機内部が破損する場合があります。
  - ●ケーブル端子には、ケーブル宅内線以外のケーブルを接続しないでください。
- ●分配出力端子には、BSアンテナなどへ電源供給を行っているケーブルを接続しないでください。
- ●モジュラー分配器について（市販品）
  - ●本機の電話回線端子に差し込まないでください。取り外せなくなる場合があります。
  - ●1つの電話回線に3つの機器を接続する場合は、3分配用モジュラー分配器をご使用ください。
- ●モジュラーケーブルについて（市販品）
  電話コンセントから本機までの長さに合わせて、市販のモジュラーケーブルをお買い求めください。設置場所によっては壁に沿わせるなどして、邪魔にならないように十分配慮してください。
- ●ISDN回線でターミナルアダプターのアナログポートに接続している場合や、当社製デジタルコードレス電話機でワイヤレスリンク接続している場合は、「回線設定」で「プッシュ」を選んでください。（☞60ページ）
- ●FAXと電話を並列接続した場合、セットトップボックスからの信号でFAXが誤動作することがあります。
- ●IP電話回線に接続すると、つながらない場合があります。NTTの電話回線に切り換えると接続できる場合があります。切り換えの方法についてはIP電話回線業者にお問い合わせください。

B-CAS／C-CASカードの挿入

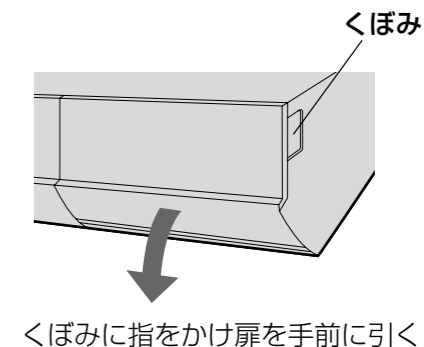
BS／地上デジタルテレビ放送は、放送番組の著作権保護のため、コピー回数を限定したコピー制御信号を加えて放送されています。
その信号を有効に機能させるためにB-CASカードが必要です。

■ICカードについて
- ●ご加入のケーブルテレビ局のサービス内容によりB-CASカードのみの場合があります。

- ●有料番組の契約内容などを管理するための大切な番号です。問い合わせの際にも必要です。裏表紙の「便利メモ」に記入しておいてください。

お願い
- ●本機専用のICカード以外のものを挿入しないでください。
  故障や破損の原因となります。
- ●裏向きや逆方向から挿入しないでください。
  挿入方向を間違うとICカードは機能しません。

ICカードの抜き差しについては、ご加入のケーブルテレビ局にご相談いただき指示に従って操作してください。

1 電源プラグがコンセントに差し込まれていないことを確認する
（電源プラグを抜いた状態）

2 前面の扉を開ける

3 ICカードを挿入し、扉を閉める

- ●ご使用中は抜き差ししないでください。視聴できなくなる場合があります。

■ICカードのテストをするときは
（☞59ページ）

■ICカードを抜くとき
➡ （1）電源プラグを電源コンセントから抜く。
（2）ゆっくりとICカードを抜く。
- ●ICカードには、IC（集積回路）が組み込まれているため、画面にメッセージが表示されたとき以外は抜き差ししないでください。（☞95ページ）
- ●ICカードを抜き差ししたときは、3秒以上経ってから、ICカードテストを行ってください。（☞59ページ）

テレビの接続

（→ は信号の流れる方向を示します。）

接続は本機および各機器の電源プラグを電源コンセントに接続しない状態で行ってください。
接続後、テレビに合わせて「接続テレビ設定」を行ってください。（☞61ページ）

映像・音声コードやS映像コードで接続する場合

お願い

●S1／S2映像入力端子付きテレビと接続の場合は、「S端子出力」の設定をしてください。（☞62ページ）

D端子ケーブルで接続する場合

お願い

●接続するテレビのD端子入力に合わせて「HDMI/D端子出力」の設定をしてください。（☞61ページ）
（テレビがD1またはD2映像端子の場合は、上図の映像・音声コードを一時的に接続しビデオ入力画面で設定してください。）

HDMIケーブルで接続する場合

お願い

●画質の劣化防止や安定した動作のため、HDMIケーブルは5.0 m以下のものをご使用ください。
●HDMI規格に準拠したHDMIケーブルをご使用ください。

コンポーネント映像入力端子付きテレビの場合

お願い

●接続するテレビのコンポーネント入力端子が対応している信号方式に合わせて「HDMI／D端子出力」の設定をしてください。（☞61ページ）

コピーガードがかかっている番組は録画機器を経由してテレビで視聴したり、一部のビデオ内蔵型テレビで視聴すると正常に受像できない場合があります。コピーガードがかかっている番組を視聴する場合は、録画機器を経由しないで直接、本機とテレビを接続してください。

ネットワークへの接続

TZ-DCH520/TZ-DCH820は、ケーブルモデムを内蔵していないため、
LAN(100BASE-TX)端子にケーブルモデムなどの接続が必要です。

必要な機器を接続する

●詳しくは、ご加入のケーブルテレビ局にご相談ください。
なお、ご加入のケーブルテレビ局以外のプロバイダー経由でインターネット接続されている場合は、ご加入のプロバイダーにご相談ください。

本機のネットワーク接続方法は、ご加入のケーブルテレビ局により異なりますので設置、設定、変更などは必ずご加入のケーブルテレビ局にご相談ください。また、ご加入のケーブルテレビ局のサービス内容によりご利用いただけない場合があります。
ご加入のケーブルテレビ局以外のプロバイダー経由でインターネット接続されている場合は、ご加入のケーブルテレビ局ではなくご加入のプロバイダーにご相談ください。

■ご加入のケーブルテレビ局のサービス内容により必要な機器と接続方法が異なります。

●ケーブルモデムと接続するためには、新たにご加入のケーブルテレビ局とご契約が必要になる場合があります。
ご加入のケーブルテレビ局にお問い合わせください。

●本機とケーブルモデムなどブロードバンド機器の設定は、ご加入のケーブルテレビ局にご相談ください。なお、ご加入のケーブルテレビ局以外のプロバイダー経由でインターネット接続されている場合は、ご加入のプロバイダーにご相談ください。
接続の変更および設定の変更は、ご加入のケーブルテレビ局または、ご加入のプロバイダーにご相談ください。ご自分で変更された場合、動作に支障が出る場合があります。

●ご使用の環境によりケーブルモデムなどブロードバンド機器がご使用になれない場合があります。
詳細は、ご加入のケーブルテレビ局にご相談ください。なお、ご加入のケーブルテレビ局以外のプロバイダー経由でインターネット接続されている場合は、ご加入のプロバイダーにご相談ください。

ケーブルモデム

CATVの回線を使ってインターネットに接続するための装置です。
電話回線におけるモデムの役割を果たすため、ケーブルモデムと言います。

ブロードバンドルーター

複数台の機器を同時にインターネットに接続するためのネットワーク機器です。ルーターの接続や設定の詳細は、ルーターの取扱説明書をご覧ください。

お願い

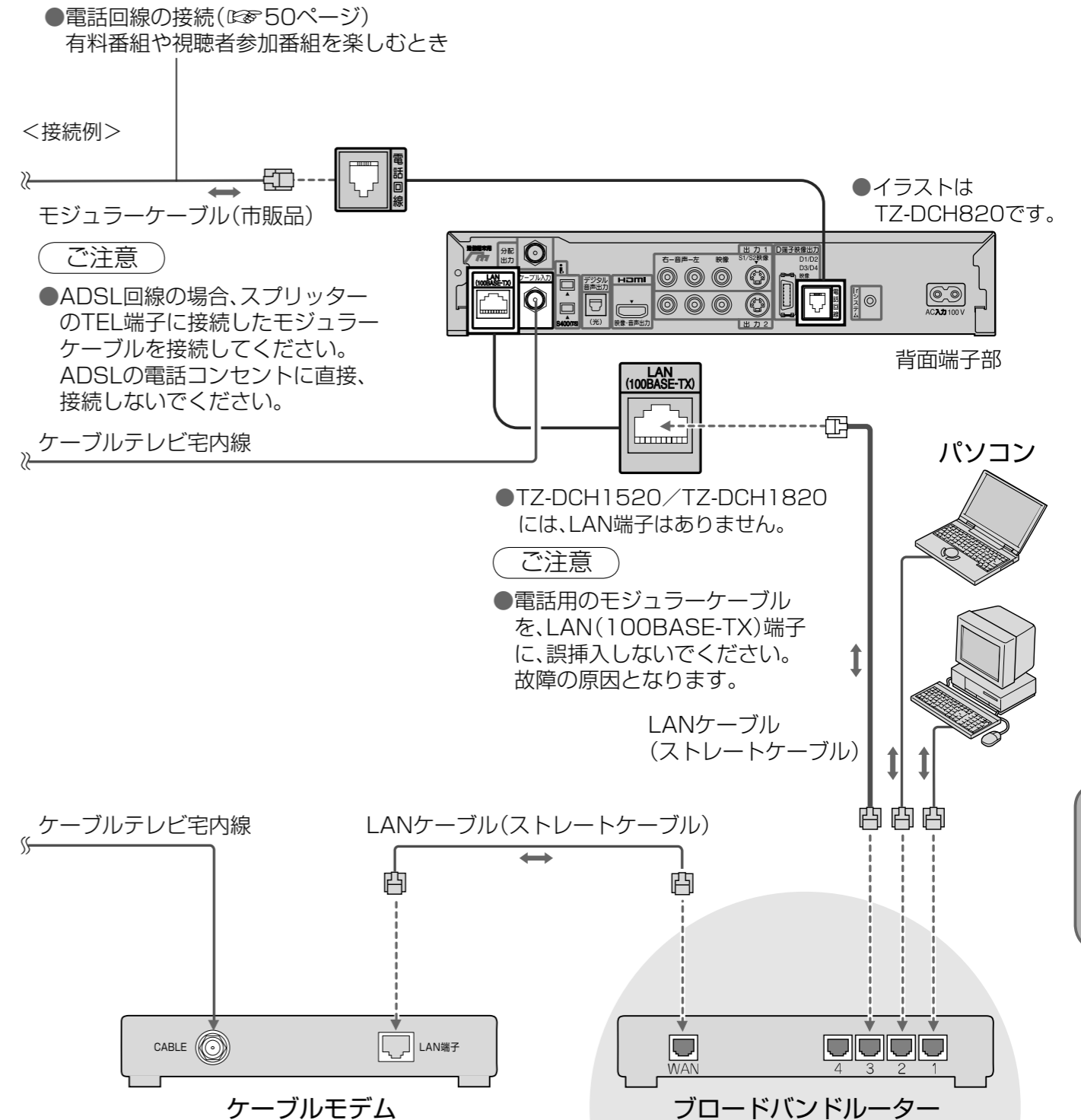
●ご加入のケーブルテレビ局のサービス内容によりこの機能が使用できない場合があります。接続および設定につきましては、ご加入のケーブルテレビ局にご相談ください。なお、ご加入のケーブルテレビ局以外のプロバイダー経由でインターネット接続されている場合は、ご加入のプロバイダーにご相談ください。
●ブロードバンドルーターやケーブルモデムはLAN端子が10BASE-Tでもご使用いただけます。
●100BASE-TX用の機器を接続する場合は「カテゴリ5」のLANケーブルをご使用ください。

ご注意

●ADSL回線の場合、スプリッターのTEL端子に接続したモジュラーケーブルを接続してください。
ADSLの電話コンセントに直接、接続しないでください。

ご注意

●電話用のモジュラーケーブルを、LAN(100BASE-TX)端子に、誤挿入しないでください。
故障の原因となります。

●「WAN」は「UPLINK」と表示されている場合もあります。

■接続後は、必ずネットワーク設定(☞64ページ)を行ってください。

●ネットワークへの接続

接続・設定

設置設定

- 設定中、戻る◯で1つ前の画面に戻ります。
- 設定後は、元の画面でテレビ放送の画面に戻します。

各機器を接続後、以下の設置設定を行ってください。

操作するリモコンのボタン位置(☞11ページ)

1 操作一覧 を押す

2 ▼▲で「設定する」を選び、決定 を押す

3 ▼▲で「設置設定」を選び、決定 を3秒以上押す

設置設定 1/2	説明ページ
チャンネル設定	右記
地域設定	59
電話設定	60
C-CASカードテスト	59
B-CASカードテスト	59
設置設定 2/2	
ネットワーク設定	64
ブラウザ設定	65
接続テレビ設定	61
HDMI設定	63
ケーブルモデム情報	66

- 「ケーブルモデム情報」は、TZ-DCH520/TZ-DCH820では表示されません。
- 設定が有効でない項目は、灰色表示になります。

チャンネル設定 地上デジタル放送のとき

4 ▼▲で「チャンネル設定」を選び、決定 を押す

5 ▼▲で「地上デジタル」を選び、決定 を押す

改めて自動でチャンネルを設定したいとき(右記)

自動で設定したチャンネルを修正したいとき(右記)

地上デジタル放送の受信チャンネルが変わったとき、受信できる局を自動で追加したいとき(下記)

■再スキャン

① ◀▶で「再スキャン」を選び、決定 を押す

初期スキャン | 再スキャン | マニュアル

- 10分程度、時間がかかる場合があります。
- 新たに受信できた放送局は自動的に追加されます。

② 正しく設定されていることを画面で確認し、◀▶で「終了」を選び、決定 を押す

チャンネル設定			
修正	入替	終了	
リモコン	CH	放送局名	種類
1	011	NHK総合	テレビ
2	021	NHK教育	テレビ

■修正したいとき

→右記「マニュアル」の手順②へ

③ 確認画面で◀を押して「はい」を選び、決定 を押す

■初期スキャン

① ◀▶で「初期スキャン」を選び、決定 を押す

② 青 を押し、◀▶でチャンネルスキャン方式を選び、決定 を押す

「パススルー」または「トランスモジュレーション」を選ぶ

- TZ-DCH520/TZ-DCH1520の場合、この画面は表示されません。手順③へお進みください。

設定の変更はご加入のケーブルテレビ局にご確認ください。

③ ◀▶でお住まいの地域を選び、決定 を押す

- チャンネルスキャン画面を表示します。受信できるチャンネルを調べて新しく一覧表示します。(今までの設定は全てリセットされます。)
- スキャン中は映像と音声は出ません。終わるまでに、10分程度、かかる場合があります。

④ 正しく設定されていることを画面で確認し、◀▶で「終了」を選び、決定 を押す

チャンネル設定			
修正	入替	終了	
リモコン	CH	放送局名	種類
1	011	NHK総合	テレビ
2	021	NHK教育	テレビ

■修正したいとき

→右記「マニュアル」の手順②へ

⑤ 確認画面で◀を押して「はい」を選び、決定 を押す

■マニュアル

① ◀▶で「マニュアル」を選び、決定 を押す

② ◀▶で「修正」を選び、決定 を押す

チャンネル設定			
修正	入替	終了	
リモコン	CH	放送局名	種類
1	011	NHK総合	テレビ
2	021	NHK教育	テレビ

③ ▲▼で修正したい行(リモコン番号)を選ぶ

④ ◀▶で「CH」の項目を選び、▲▼で修正(変更)する

⑤ 戻る◯ を押し、◀▶で「終了」を選び、決定 を押す

チャンネル設定			
修正	入替	終了	
リモコン	CH	放送局名	種類
1	011	NHK総合	テレビ
2	021	NHK教育	テレビ

⑥ 確認画面で◀を押し、「はい」を選び、決定 を押す

■設定した項目(「放送局名」や「CH」など)を他のリモコン番号と入れ替えたいとき

① ◀▶で「入替」を選び、決定 を押す

② ▲▼で、入れ替えたい番号を選び、決定 を押す

③ ▲▼で、入れ替え先の番号を選び、決定 を押す

④ 戻る◯ を押し、▶「終了」を選び、決定 を押す

⑤ 確認画面で◀を押し、「はい」を選び、決定 を押す

次ページにつづく▶▶▶

- 設定中、戻る〇 で1つ前の画面に戻ります。
- 設定後は、元の画面 でテレビ放送の画面に戻します。

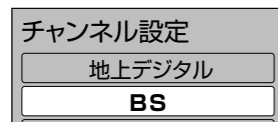
前ページよりつづく ▶▶▶

チャンネル設定　BS、CS1、CS2、CATVのとき

BS、CS1、CS2は工場出荷時、いくつかのチャンネルが設定されていますが、お好みに合わせて変更することもできます。

- 普段よくご覧になるチャンネルは、リモコンの数字ボタンや、お好み選局に登録すると便利です。

4 ▼▲で「チャンネル設定」を選び、決定 を押す

5 ▼▲で設定する放送を選び、決定 を押す

チャンネル設定
地上デジタル
BS

①◀▶で「修正」を選び、決定 を押す

チャンネル設定

修正	入替	終了

リモコン	CH	放送局名	種類
1	101	NHK BS1	テレビ
2	102	NHK BS2	テレビ

- 受信されている放送のみ表示されます。ご加入のケーブルテレビ局のサービス内容により表示が異なります。

②▼▲で修正したい行(リモコン番号)を選ぶ

③◀▶で「CH」の項目を選び、▼▲で変更する

チャンネル設定

修正	入替	終了

リモコン	CH	放送局名	種類
1	101	NHK BS1	テレビ
2	102	NHK BS2	テレビ
3	103	NHK h	テレビ
4	**141**	BS日テレ	テレビ

④戻る〇 を押し、▶で「終了」を選び、決定 を押す

チャンネル設定

修正	入替	**終了**

リモコン	CH	放送局名	種類
1	101	NHK BS1	テレビ
2	102	NHK BS2	テレビ

⑤確認画面で◀を押して「はい」を選び、決定 を押す

- リモコンの13～36に設定したチャンネルは、お好み選局表に登録されて、その表から選局できます。
- 選局対象(☞44ページ)を「お好み」にすると、上記の手順で設定したチャンネルでの順送り選局ができます。

お好み設定　お好み選局ボタンで設定する

1 設定したいチャンネルを受信中に お好み選局 を約3秒間押して「お好み設定」画面にする

<お好み設定画面>

お好み設定　BS　101 LOGO

1／3ページ			2／3ページ			3／3ページ		
①101 LOGO	②102 LOGO	③103 LOGO	①	②	③	①	②910 LOGO	③
④141 LOGO	⑤151 LOGO	⑥161 LOGO	④744 LOGO	⑤755 LOGO	⑥766 LOGO	④	⑤	⑥
⑦171 LOGO	⑧181 LOGO	⑨191 LOGO	⑦777 LOGO	⑧780 LOGO	⑨	⑦	⑧	⑨
⑩200 LOGO	⑪211 LOGO	⑫222 LOGO	⑩800 LOGO	⑪	⑫	⑩	⑪	⑫

▲▼◀▶ 選択　決定 登録　お好み選局1秒押し削除

2 ▲▼◀▶で登録したい場所を選び、決定 を押す

- 受信中のチャンネルが選んだ場所に登録されます。

■設定したチャンネルを削除するとき

→▲▼◀▶で選び、お好み選局を1秒以上押す

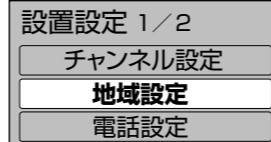
チャンネル設定について

チャンネル設定のリモコン1～12に登録したチャンネルはリモコンの数字ボタン1～12で選局できます。
またお好み選局の1ページ目に表示します。
(同様にリモコン13～24はお好み選局の2ページ目、リモコン25～36は3ページ目に表示します。)

地域設定

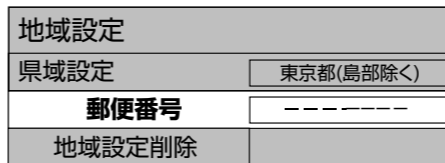
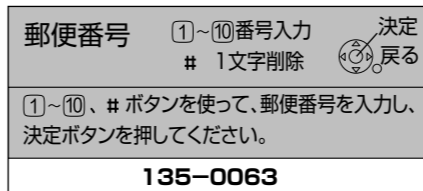
56ページ手順**1**～**3**で「設置設定」画面を出す

4 ▼▲で「地域設定」を選び、決定 を押す

設置設定 1／2
チャンネル設定
地域設定
電話設定

5 ▼▲で「県域設定」を選び、◀▶でお住まいの地域を選ぶ

- 伊豆、小笠原諸島地域は→「東京都島部」
- 南西諸島鹿児島県地域は→「鹿児島県島部」

6 ▼▲で「郵便番号」を選び、決定 を押す

地域設定
県域設定　東京都(島部除く)
郵便番号　－－－－－－－
地域設定削除

7 1～10(ゼロ)で郵便番号を入力し、決定 を押す

■入力を間違えたときは

→12 を押す

8 確認画面で◀を押して「はい」を選び、決定 を押す

■地域設定を工場出荷時に戻すには

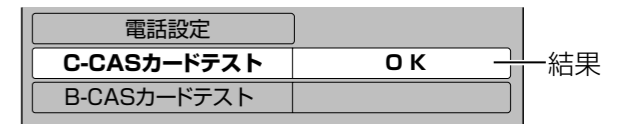
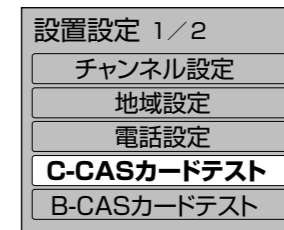
①▼で「地域設定削除」を選び、決定を押す

②◀で「はい」を選び、決定を押す

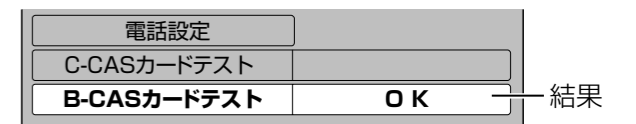
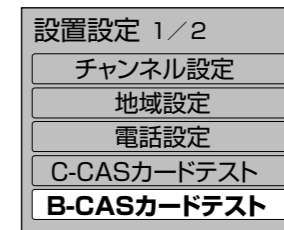
C-CAS/B-CASカードテスト

- カードを挿入して3秒以上経ってから行ってください。
- ご加入のケーブルテレビ局のサービス内容により、B-CASカードのみの場合があります。

56ページ手順**1**～**3**で「設置設定」画面を出す

4 ▼▲で「C-CASカードテスト」を選び、決定 を押す

「NG」が出たら、C-CASカードの挿入を確認してください。(☞51ページ)

5 ▼▲で「B-CASカードテスト」を選び、決定 を押す

電話設定
C-CASカードテスト
B-CASカードテスト　OK　―結果

「NG」が出たら、B-CASカードの挿入を確認してください。(☞51ページ)

設置設定

● 設定中、○(戻る) で1つ前の画面に戻ります。
● 設定後は、[元の画面] でテレビ放送の画面に戻します。

電話設定　電話に関する設定をする

電話回線の接続を確認してから設定をしてください。
(☞50ページ)

56ページ手順**1**～**3**で「設置設定」画面を出す

4 ▼▲で「電話設定」を選び、(決定) を押す

設置設定 1／2
チャンネル設定
地域設定
電話設定

電話設定 1／2		
回線設定	自動	
トーン検出	する	しない
内線設定	9	
電話テスト	――	

電話設定 2／2		
発信者番号通知	指定なし	
電話会社設定		
マイラインプラス	解除する	解除しない

回線設定／トーン検出

① ▼▲で「回線設定」または「トーン検出」を選び、◀▶で設定する

回線設定	自動	
トーン検出	する	しない

[回線設定]

●電話テストで自動的に選ぶとき→「自動」
●自動でうまく設定できないとき→
- ●ダイヤルボタンを押すと『ピッポッパ』と音が出る場合は「プッシュ」
- ●出ない場合は「ダイヤル20(20pps)」か「ダイヤル10(10pps)」を選ぶ。

(回線設定が「自動」以外のときに設定します。)
●「自動」に設定すると、下記「トーン検出」の設定はできません。

[トーン検出]

●通常ご使用のとき→「する」
●受話器を上げても『ツー』音が聞こえないとき→「しない」

内線設定(外線使用時に0発信などが必要な電話のとき)

① ▼▲で「内線設定」を選び、(決定) を押す
② 0発信の電話のときは「0」を入力し、(決定) を押す

[0－－－－－－－]　[10] (例)　(ゼロ) 0

③ 確認画面で◀を押して「はい」を選び、(決定) を押す

■間違えたとき→[赤]を押す
■0発信の後、外線につながるまで時間のかかる電話のとき [青]を押す
(画面に「,」を表示。1つで3秒の待ち時間)
●外線選択のための番号は、ご使用の環境により「0」でない場合があります。

発信者番号通知(相手に電話番号を通知するか決める)

① ▼▲で「発信者番号通知」を選び、◀▶で設定する

発信者番号通知	指定なし
電話会社設定	

●相手に常に通知する→「通知する」
●相手に常に通知しない→「通知しない」
●電話会社との契約に従う→「指定なし」

電話会社設定(本機から電話をかけるときのみ電話会社を変えたいとき)

① ▼▲で「電話会社設定」を選び、(決定) を押す
② 電話会社の番号を入力し、(決定) を押す

[0077－－－－]　[1]～[10] (ゼロ) 0

■入力を間違えたとき→[赤]を押す

③ 確認画面で◀を押して「はい」を選び、(決定) を押す
④ マイラインプラスを契約のとき、▼◀で「解除する」を選ぶ

電話会社設定		
マイラインプラス	解除する	解除しない

●この設定が有効になる放送は2008年7月現在ありません。

電話テスト(電話設定が正しく設定されているか確認する)

① ▼▲で「電話テスト」を選び、(決定) を押す

内線設定	9	
電話テスト	テスト中	― 結果

[テスト中] テスト中です。(最大約3分間)
[OK] 正常終了です。
[NG] 画面の指示に従ってください。

接続テレビ設定　接続するテレビに合わせて設定

接続するテレビに合わせて映像信号の出力方式を切り換えます。

56ページ手順**1**～**3**で「設置設定」画面を出す

4 ▼▲で「接続テレビ設定」を選び、(決定) を押す

設置設定 2／2
ネットワーク設定
ブラウザ設定
接続テレビ設定

▼を押していくとページが変わります。

(設置設定2ページ目)

接続テレビ設定			
接続テレビ	ノーマル	ワイド	下記
HDMI/D端子出力	1080i固定		右記
S端子出力	S1	S2	62ページ
設定する	設定しない		

(各項目を設定したら☞62ページ手順**5**へ)

接続テレビ(テレビの画面形状に合わせる)

① ▼▲で「接続テレビ」を選び、◀▶で設定する

接続テレビ	ノーマル	ワイド
HDMI/D端子出力	1080i固定	
S端子出力	S1	S2

[ノーマル] 普通のテレビ(4：3)のとき
[ワイド] ワイドテレビ(16：9)のとき
●ワイドテレビにD端子がなく、別の入力端子で接続している場合は、テレビ側も画面モード切り換えで送られてくる信号に合わせて正常な映像の横縦比になるモードを選んでください。

HDMI/D端子出力(テレビの入力端子に合わせる)

① ▼▲で「HDMI／D端子出力」を選び、◀▶で設定する

接続テレビ	ノーマル	ワイド
HDMI/D端子出力	◁ 1080i固定 ▷	
S端子出力	S1	S2

[480i／D1] …接続したテレビの入力端子(信号)が下表「**1**」の場合
[480p固定] [480p／D2] …下表「**2**」の場合
[1080i固定] [1080i／D3] …下表「**3**」の場合
[1080i固定] [720p／D4] …下表「**4**」の場合
[1080i固定] …下表「**5**」の場合

●工場出荷時は「1080i固定」に設定しています。
●「接続テレビ設定」が「ノーマル」の場合は「480i／D1」・「480p／D2」・「1080i／D3」・「480p固定」が選択できます。

■接続するテレビ端子の形状

形状／信号	D映像入力端子	コンポーネント映像入力端子 または HDMI端子
「1」	D1映像	480i(525i)の信号に対応
「2」	D2映像	480i(525i)、480p(525p)の信号に対応
「3」	D3映像	1080i(1125i)、480i(525i)、480p(525p)の信号に対応
「4」	D4映像	1080i(1125i)、720p(750p)、480i(525i)、480p(525p)の信号に対応
「5」	―	1080i(1125i)の信号に対応

お知らせ

●HDMI出力端子または、D端子映像出力端子から出力する映像信号は、放送局から送られてくる信号と HDMI／D端子出力の設定により異なります。正しく設定できていない場合は、映像が映らなかったり映像が映っても、接続されるテレビの持っている本来の画質にならないことがあります。(詳しくは71ページをご覧ください。)
●出力される信号方式の変化により、映像・音声が乱れることがあります。その場合は、本機から出力される信号方式が変化しない「1080i固定」または、「480p固定」をおすすめします。
●「1080i固定」に設定すると画面モードが固定されるため、接続されるテレビによっては、ハイビジョン放送以外の放送を画面いっぱいに広げることができない場合があります。この場合、テレビの入力端子がD3またはD4端子であれば、D端子の設定を「1080i／D3」や「720p／D4」に変更してみてください。
●「1080i固定」に設定すると、接続されるテレビによっては、映像が若干縦伸びする場合があります。この場合はテレビ側で画面サイズを調整してください。ただし、一部機種にはこの機能がない場合があります。(テレビの取扱説明書をご確認ください。)

前ページよりつづく ▶▶▶

接続テレビ設定　接続するテレビに合わせて設定

S端子出力（テレビのS入力端子に合わせる）

① ▼▲で「S端子出力」を選び、
◀▶で設定する

接続テレビ	ノーマル	ワイド
HDMI/D端子出力	◁ 1080i固定 ▷	
S端子出力	**S1**	**S2**

S1	S1入力端子付きテレビのとき
S2	S2入力端子付きテレビのとき

※詳しくは71ページをご覧ください。

各項目の設定が終わったら、
下記の手順**5**へ

5 ▼◀で「設定する」を選び、決定 を押す

接続テレビ設定

接続テレビ	ノーマル	ワイド
HDMI/D端子出力	1080i固定	
S端子出力	S1	S2
設定する	設定しない	

● 設定しない場合は、「設定しない」を選びます。
● 設定を変更していない場合は、「設定する」を選び、決定することはできません。

6 ◀で「はい」を選び、決定 を押す

● 「はい」を選ぶと、設定した映像信号が15秒間出力されます。
D端子出力の設定を変更した場合は15秒の間にテレビを色差ビデオ入力（D端子）に切り換えて、正しく映るか確認してください。
正しく映らなかった場合は、元のビデオ入力画面に戻して再度D端子出力の設定を行ってください。
● 設定しない場合は、「いいえ」を選べば、「接続テレビ設定」画面に戻ります。

7 映像が正しく映れば
◀で「はい」を選び、決定 を押す

走査線について

1080i(1125i)
デジタルハイビジョン放送（HD）の1つで、1/60秒ごとに1125本の走査線を半分に分けて交互に流すインターレース（飛び越し走査）方式です。（有効走査線は、1080本です。）走査線数は現行テレビ放送の525本の倍以上の1125本もあるため、細部まできれいに表現され臨場感豊かな映像になります。

480i(525i)
デジタル標準テレビ放送（SD）の1つで、1/60秒ごとに525本の走査線を半分に分けて交互に流すインターレース（飛び越し走査）方式です。（有効走査線は、480本です。）現行のテレビ放送やBS放送と同等の解像度です。

480p(525p)
デジタル標準テレビ放送（SD）の1つで、1/60秒ごとに525本の走査線を同時に流すプログレッシブ（順次走査）方式です。（有効走査線は、480本です。）インターレース方式のように交互に流さないので、チラツキが少なくなります。

720p(750p)
デジタルハイビジョン放送（HD）の1つで、1/60秒ごとに750本の走査線を同時に流すプログレッシブ（順次走査）方式です。（有効走査線は、720本です。）インターレース方式のように交互に流さないので、チラツキが少なくなります。

● **設定中、** 戻る で1つ前の画面に戻ります。
● **設定後は、** 元の画面 でテレビ放送の画面に戻します。

HDMI設定　接続するテレビに合わせて設定

HDMI端子で接続したときのみ設定を行ってください。

56ページ手順**1**～**3**で「設置設定」画面を出す

4 ▼▲で「HDMI設定」を選び、決定 を押す

（設置設定2ページ目）

▼を押していくとページが変わります。

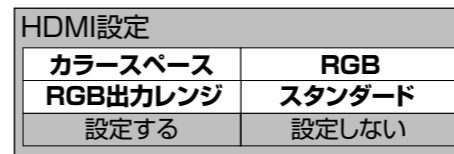
HDMI設定

カラースペース	RGB
RGB出力レンジ	**スタンダード**
設定する	設定しない

カラースペース

① ▼▲で「カラースペース」を選び、
◀▶で設定する

HDMI設定

カラースペース	**RGB**
RGB出力レンジ	スタンダード
設定する	設定しない

「RGB」、「YCbCr 4：4：4」、「YCbCr 4：2：2」、から選ぶ

● 接続する機器によって画質が異なります。お好みの画質を選んでください。
● 接続した機器が対応していない項目は表示されません。
● RGBに設定すると、下記RGB出力レンジ設定が有効になります。

RGB出力レンジ

① ▼▲で「RGB出力レンジ」を選び、
◀▶で設定する

HDMI設定

カラースペース	RGB
RGB出力レンジ	**スタンダード**
設定する	設定しない

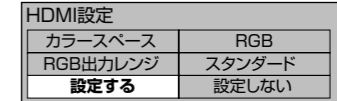
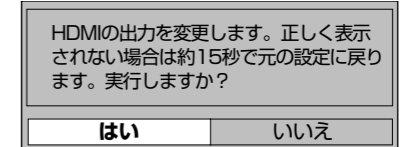
「スタンダード」または、「エンハンス」を選ぶ

● 映像の黒白が鮮明でないときは、「エンハンス」に設定してください。

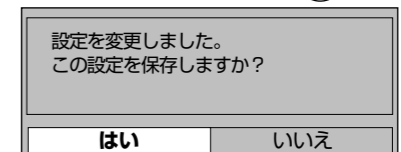
各項目の設定が終わったら、
右記の手順**5**へ

5 ▼◀で「設定する」を選び、決定 を押す

HDMI設定

カラースペース	RGB
RGB出力レンジ	スタンダード
設定する	設定しない

● 設定しない場合は、「設定しない」を選ぶ。
● 設定を変更していない場合は、「設定する」を選び決定することはできません。

6 ◀で「はい」を選び、決定 を押す

● 「はい」を選ぶと、設定した映像信号が15秒間出力されます。
● 設定しない場合は、「いいえ」を選べば、「HDMI設定」画面に戻ります。

7 映像が正しく映れば
◀で「はい」を選び、決定 を押す

ネットワークの設定

本機で、お使いのブロードバンド環境へ接続するための設定です。
● 接続設定につきましては、ご加入のケーブルテレビ局にご相談ください。
● ご加入のケーブルテレビ局以外のプロバイダー経由でインターネット接続されている場合は、ご加入のプロバイダーにご相談ください。

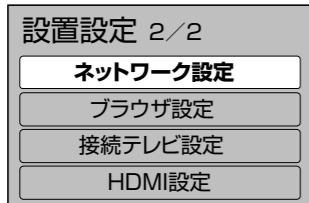
● **設定中、**（戻る）で1つ前の画面に戻ります。
● **設定後は、**元の画面 でテレビ放送の画面に戻します。

アドレス設定

TZ-DCH520/TZ-DCH820のときは、以下のアドレス設定を行ってください。
TZ-DCH1520、TZ-DCH1820のとき、「アドレス設定」は必要ありません。65ページの「接続テスト」から設定を行ってください。

56ページ手順**1**～**3**で「設置設定」画面を出す

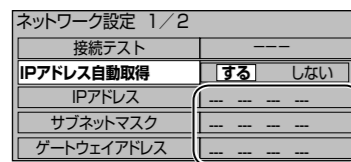
4 ▼▲で「ネットワーク設定」を選び、（決定）を押す

設置設定 2／2
ネットワーク設定
ブラウザ設定
接続テレビ設定
HDMI設定

▼を押していくとページが変わります。

（設置設定2ページ目）

5 DHCPでのIPアドレス自動取得が使えるとき

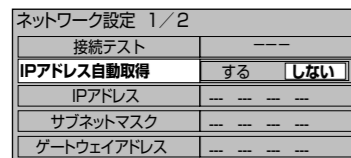
① ▼▲で「IPアドレス自動取得」を選び、◀▶で「する」を選ぶ

ネットワーク設定 1／2		
接続テスト	―――	
IPアドレス自動取得	**する**	しない
IPアドレス	― ― ― ―	
サブネットマスク	― ― ― ―	
ゲートウェイアドレス	― ― ― ―	

取得したアドレスを表示

ブロードバンドルーターやルーター機能付き ADSL モデムをお使いの場合は、通常 DHCP での IP 自動取得が使えます。それぞれの機器の説明書をご覧ください。

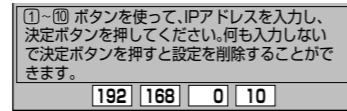
IPアドレスを手動で入力するとき

① ▼▲で「IPアドレス自動取得」を選び、▶で「しない」を選ぶ

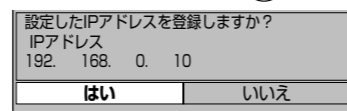
ネットワーク設定 1／2		
接続テスト	―――	
IPアドレス自動取得	する	**しない**
IPアドレス	― ― ― ―	
サブネットマスク	― ― ― ―	
ゲートウェイアドレス	― ― ― ―	

② ▼▲で「IPアドレス」、「サブネットマスク」、「ゲートウェイアドレス」をそれぞれ選び、（決定）を押す

③ブロードバンドルーターの仕様を確認し、IPアドレスを画面の指示に従ってそれぞれ入力する

<入力画面例（IPアドレス）>

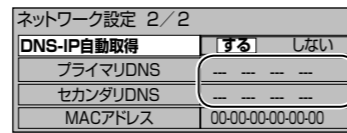
①～⑩ ボタンを使って、IPアドレスを入力し、決定ボタンを押してください。何も入力しないで決定ボタンを押すと設定を削除することができます。
192 168 0 10

IPアドレスを修正するときは 12 （1文字削除）で消去後に入力してください。

④◀で「はい」を選び、（決定）を押す

設定したIPアドレスを登録しますか？
IPアドレス
192. 168. 0. 10
はい　いいえ

IPアドレスが0～255の範囲外の場合は、エラーメッセージが表示されます。
● 設定は、65ページの「接続テスト」を行うと有効になります。

6 DHCPでのDNSアドレス自動取得が使えるとき

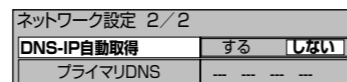
① ▼▲で「DNS-IP自動取得」を選び、◀で「する」を選ぶ

ネットワーク設定 2／2		
DNS-IP自動取得	**する**	しない
プライマリDNS	― ― ― ―	
セカンダリDNS	― ― ― ―	
MACアドレス	00-00-00-00-00-00	

取得したアドレスを表示

（ネットワーク設定2ページ目）

DNSアドレスを手動で入力するとき

① ▼▲で「DNS-IP自動取得」を選び、▶で「しない」を選ぶ　または「しない」が選ばれていることを確認する

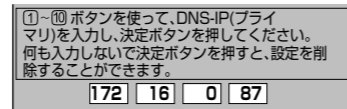
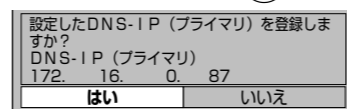
ネットワーク設定 2／2		
DNS-IP自動取得	する	**しない**
プライマリDNS	― ― ― ―	

②▼▲でプライマリDNS、セカンダリDNSをそれぞれ選び、（決定）を押す

③ご加入のケーブルテレビ局または、ご加入のプロバイダーから指示された、IPアドレスを画面の指示に従ってそれぞれ入力する

<入力画面例（プライマリDNS）>

①～⑩ ボタンを使って、DNS-IP(プライマリ)を入力し、決定ボタンを押してください。何も入力しないで決定ボタンを押すと、設定を削除することができます。
172 16 0 87

④◀で「はい」を選び、（決定）を押す

設定したDNS-IP（プライマリ）を登録しますか？
DNS-IP（プライマリ）
172. 16. 0. 87
はい　いいえ

IPアドレスが0～255の範囲外の場合は、エラーメッセージが表示されます。
● 設定は、65ページの「接続テスト」を行うと有効になります。

接続テスト

7 64ページ手順5のネットワーク設定画面で▼▲で「接続テスト」を選び、（決定）を押す

ネットワーク設定 1／2		
接続テスト	**テスト中**	
IPアドレス自動取得	する	しない
IPアドレス	― ― ― ―	
サブネットマスク	― ― ― ―	
ゲートウェイアドレス	― ― ― ―	

結果

表示	説明
OK	接続が完了
NG	ブロードバンド環境の接続と設定の確認を行い、64ページ手順5、6の設定を確認して再度テストしてください。（☞96ページ）
テスト中	テスト中

ゲートウェイアドレスとは
インターネットへのアクセスで経由すべき機器のIPアドレスです。通常はブロードバンドルーターのIPアドレスを言います。（例：192.168.0.1）

ケーブルモデムとは
CATVの回線を使ってインターネットに接続するための装置です。電話回線におけるモデムの役割を果たすため、ケーブルモデムと言います。

サブネットマスクとは
ネットワークを効率的に使うために、ブロードバンドルーターにつなぐ機器のIPアドレスを絞り込むための数字です。（例：255.255.255.0）

ブラウザ設定

本機のブラウザ機能でホームページを正しく表示させるための設定です。

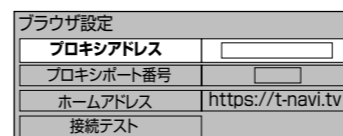
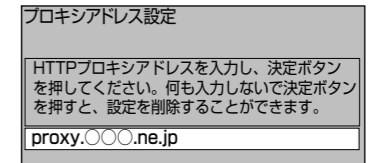
56ページ手順**1**～**3**で「設置設定」画面を出す

4 ▼▲で「ブラウザ設定」を選び、（決定）を押す

5 ▼▲で「プロキシアドレス」を選び、（決定）を押す

ブラウザ設定	
プロキシアドレス	
プロキシポート番号	
ホームアドレス	https://t-navi.tv
接続テスト	

6 アドレスを入力し、（決定）を押す

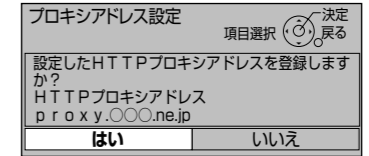
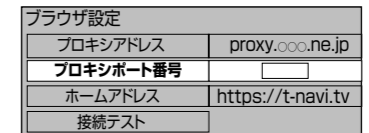
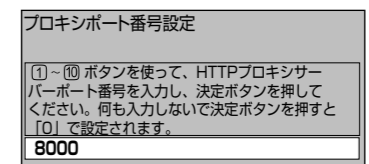
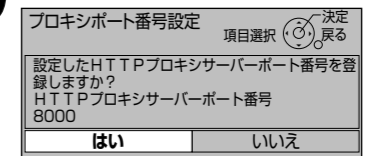
プロキシアドレス設定
HTTPプロキシアドレスを入力し、決定ボタンを押してください。何も入力しないで決定ボタンを押すと、設定を削除することができます。
proxy.○○○.ne.jp

● 文字の入力方法（☞38～41ページ）

7 ◀で「はい」を選び、（決定）を押す

8 ▼▲で「プロキシポート番号」を選び、（決定）を押す

ブラウザ設定	
プロキシアドレス	proxy.○○○.ne.jp
プロキシポート番号	
ホームアドレス	https://t-navi.tv
接続テスト	

9 1～10(0) でポート番号を入力し、（決定）を押す

プロキシポート番号設定
①～⑩ ボタンを使って、HTTPプロキシサーバーポート番号を入力し、決定ボタンを押してください。何も入力しないで決定ボタンを押すと「0」で設定されます。
8000

10 ◀で「はい」を選び、（決定）を押す

設定が終わったら、66ページの接続テストへ

プロキシアドレスとは
ブラウザの代わりに目的のサーバーに接続し、ブラウザにデータを送る中継サーバーのアドレスです。
ご加入のケーブルテレビ局からの指定があるときのみ、設定が必要です。
（例：proxy.○○○.ne.jp）

プロキシポート番号とは
プロキシアドレスと共に、ご加入のケーブルテレビ局から指定される番号です。（例：8000）

次ページにつづく ▶▶▶

ネットワークの設定

前ページよりつづく▶▶▶

接続テスト

ポータルサイトに接続できるか確認します。

11 65ページの手順5のブラウザ設定画面で▼で「接続テスト」を選び、(決定)を押す

ブラウザ設定	
プロキシアドレス	proxy.○○○.ne.jp
プロキシポート番号	8000
ホームアドレス	https://t-navi.tv
接続テスト	

■接続テスト用サイトにつながり正常に接続したことを示すメッセージが表示されたとき

→正しく設定ができています。

■正しく接続されなかったとき

→画面上にメッセージが表示されます。接続と設定をご確認ください。（☞50、54、64〜65ページ）

ホームのアドレスを確認する

ネット操作パネル（☞34ページ）で「ホーム」を選んだときに表示されるページのアドレス（URL）を確認できます。

ブラウザ設定	
プロキシアドレス	proxy.○○○.ne.jp
プロキシポート番号	8000
ホームアドレス	**https://t-navi.tv**
接続テスト	

ケーブルモデムの情報を確認する

内蔵ケーブルモデムの情報を確認することができます。

TZ-DCH520/TZ-DCH820はケーブルモデムを内蔵していないためケーブルモデムの情報は表示されません。

56ページ手順**1**〜**3**で「設置設定」画面を出す

4 ▼▲で「ケーブルモデム情報」を選び、(決定)を押す

設置設定 2／2
ネットワーク設定
ブラウザ設定
接続テレビ設定
HDMI設定
ケーブルモデム情報

▼を押していくとページが変わります。

（設置設定2ページ目）

5 ケーブルモデム情報を確認する

ケーブルモデム情報	
MACアドレス	**-**-**-**-**-**
ソフトウェアバージョン	*.**
ダウンストリーム周波数	***.** MHz
ダウンストリーム受信レベル	** dBμV
ダウンストリームSNR	**.* dB
アップストリーム周波数	**.** MHz
アップストリーム送信レベル	*** dBμV

●ケーブルモデムを使用しない設定の場合、「ケーブルモデム情報」は表示しません。

● **設定中、**(戻る)で1つ前の画面に戻ります。
● **設定後は、**[元の画面]でテレビ放送の画面に戻します。

新しい情報のダウンロード方法を選ぶ

ダウンロードについて
ご加入のケーブルテレビ局からの情報を本機に取り込むことにより、本機の制御プログラムを最新のものに書き換えます。

ダウンロード予約の設定

ご加入のケーブルテレビ局から送られる新しい情報のダウンロード方法を選ぶことができます。

1 を押す

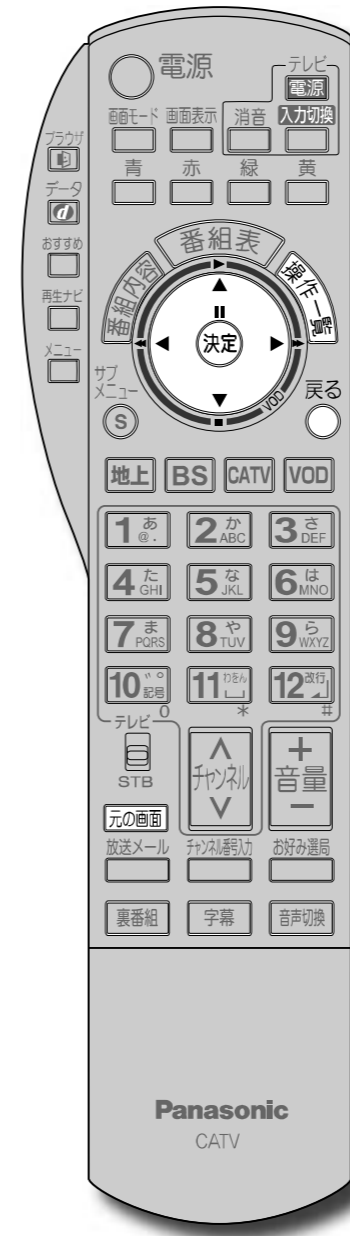
2 ▼▲で「設定する」を選び、(決定)を押す

3 ▼▲で「自動更新設定」を選び、(決定)を押す

4 ◀▶で「自動」か「手動」を選ぶ

自動 通常は「自動」をおすすめします。リモコンで電源「切」時に情報が届いた場合は、自動的にダウンロードを実行します。

手動 情報が届いた場合は、メールでお知らせします。メールを確認し、「ダウンロード予約」の「する」か「しない」を選びます。（☞48ページ、「放送メール」）

● **設定中、**(戻る)で1つ前の画面に戻ります。
● **設定後は、**[元の画面]でテレビ放送の画面に戻します。

本機とテレビなどの電源を連動させる

テレビの電源と連動する

HDMI電源連動機能のある当社製テレビをHDMI経由で接続すると、本機とテレビの電源操作を連動させることができます。
テレビ側でもHDMIの設定を行ってください。

1 を押す

2 ▼▲で「設定する」を選び、(決定) を押す

- 機器を操作する
- 情報を見る
- **設定する**

3 ▼▲で「接続機器関連設定」を選び、(決定) を押す

4 ▼▲で「HDMI機器制御」または「HDMI機器電源オフ連動」を選び、◀で「する」を選ぶ

する	●本機の電源を「入」にするとテレビの電源も「入」になり、本機の入力に切り換わる ●テレビの電源を「切」にすると本機の電源も「切」になる
しない	HDMI機器制御を無効にする

Irシステム設定		
Ir拡張機器接続テスト	――	
デジタル音声出力	PCM	
HDMI機器制御	**する**	**しない**
HDMI機器電源オフ連動	**する**	**しない**

「HDMI機器制御」の項目を「する」に設定している場合に設定できます。

する	本機の電源を「切」にするとテレビの電源も「切」になる
しない	HDMI機器電源オフ連動を無効にする

お知らせ

● HDMI規格に準拠していないケーブルでは動作しません。

ケーブルモデムの電源を連動する

本機と内蔵ケーブルモデムの電源オン・オフを連動させるかどうかの設定を行います。
TZ-DCH520/TZ-DCH820は、ケーブルモデムを内蔵していないためケーブルモデム関連の各項目は表示されません。

1 を押す

2 ▼▲で「設定する」を選び、(決定) を押す

- 機器を操作する
- 情報を見る
- **設定する**

3 ▼▲で「システム設定」を選び、(決定) を押す

- **システム設定**
- 設置設定
- 接続機器関連設定
- 自動更新設定

4 ▼▲で「ケーブルモデム電源連動」を選び、◀で「する」を選んで、(決定) を押す

制限項目設定		
文字入力設定		
選局対象	すべて	
二重音声設定	主	
タイトル表示	する	しない
機能待機	する	しない
ケーブルモデム電源連動	**する**	しない

する	本機の電源「切」時、内蔵のケーブルモデムも電源「切」
しない	本機の電源「切」時、内蔵のケーブルモデムは電源「入」

お知らせ

● ケーブルモデム電源連動設定は、変更できない場合があります。
変更される場合はご加入のケーブルテレビ局にご相談ください。
● 機能待機（☞45ページ）を「する」に設定すると、ケーブルモデムの電源連動設定にかかわらず、ケーブルモデムの電源は、常時「入」になります。
● ケーブルモデム電源連動を「しない」に設定すると消費電力は増えますが、電源「入」時にブラウザの起動が早くなります。

● **設定中、**(戻る) で1つ前の画面に戻ります。　● **設定後は、**(元の画面) でテレビ放送の画面に戻します。

設定をリセットする

本機をケーブルテレビ局へ返却するとき、登録した個人情報を消去します。
ケーブルテレビ局への返却などで本機のご使用を中止される場合以外には、実行しないでください。

1 (操作一覧) を押す

2 ▼▲で「設定する」を選び、(決定) を押す

3 ▼▲で「設定リセット」を選び、(決定) を3秒以上押す

4 (決定) を3秒以上押す

設定リセット
個人情報リセット

5 ◀で「はい」を選び、(決定) を押す

「受信機内部の初期化が終了しました。電源プラグを抜いてください。」
のメッセージが表示されます。

本機の電源プラグを抜いてください。

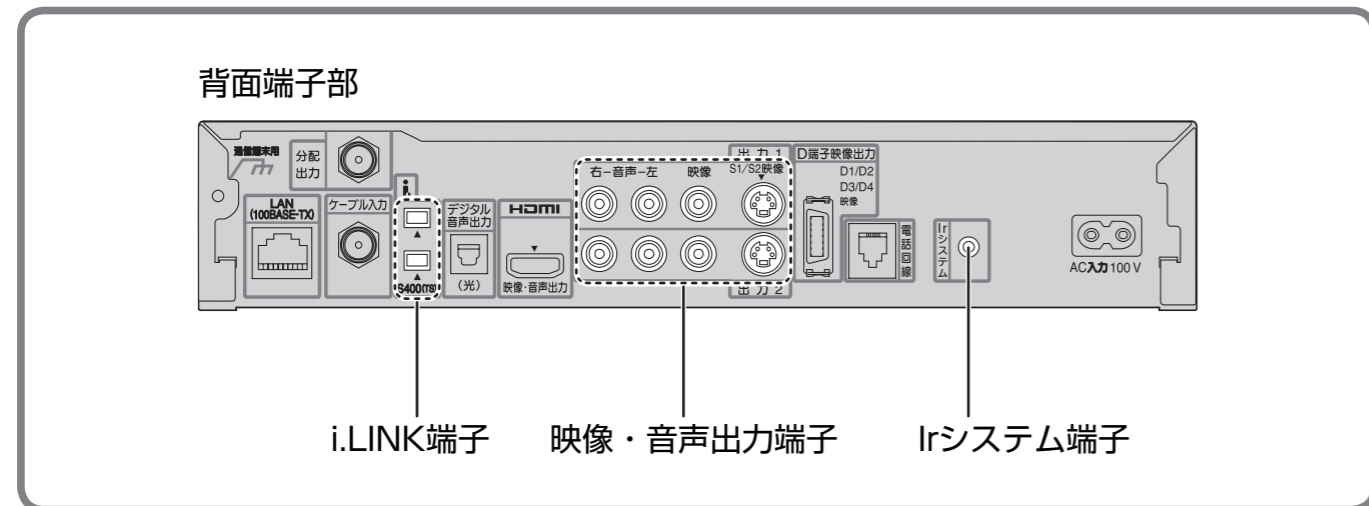
お知らせ

● 本機に記録されているお客様に関する個人情報（メールや購入記録、データ放送のポイントなど）が、すべて削除されます。
● 双方向データ放送やブラウザでのサービスをご利用の場合、本機からの操作により、ケーブルテレビ局や放送局、インターネットのホームページに登録された情報は、この操作では削除されませんので、ご注意ください。それぞれのサービスで情報の削除操作（退会手続きなど）を行ってください。

●**設定中、**(戻る) で1つ前の画面に戻ります。　●**設定後は、**(元の画面) でテレビ放送の画面に戻します。

録画機器と接続する

接続は本機および各機器の電源プラグを電源コンセントに接続しない状態で行ってください。

背面端子部(映像・音声出力端子)

i.LINK端子(2組)

- ●i.LINKは、1本のケーブルでハイビジョン放送など高画質のデジタル画像や音声信号の出力を可能にし、本機から接続機器(D-VHSビデオデッキなど)の録画や再生など基本操作もできる大変便利な機能です。
- ●ハイビジョン映像やマルチビュー放送などのデジタル映像に対応しています。
- ●本機では、2台までの当社製i.LINK機器を制御できます。
- ●録画中は、使用していない機器でも端子の抜き差しや電源の「入」「切」はしないでください。画像の乱れや異常動作の原因になります。
- ●i.LINK接続可能機種の情報は下記サポートサイトでご確認ください。
  http://panasonic.biz/broad/catv-support/index.html (2008年7月現在)

映像・音声出力端子(2組)

- ●ビデオデッキなどの「映像」と「音声」の入力端子に接続します。
- ●本機で受信したテレビ放送の信号を出力します。
- ●予約録画中は、そのチャンネルの映像、音声を出力します。

S1/S2映像出力端子

- ●「映像」出力端子よりも、色のにじみが少なく、高画質に再生できます。
- ●録画機器の「S」「S1」「S2」入力端子と接続してください。
  - ●S端子　：色のにじみが少ない
  - ●S1端子：Sにワイドテレビ対応を追加
  - ●S2端子：S1にワイドクリアビジョン対応を追加
- ●S1/S2映像出力端子に接続するときは、音声出力端子にも同時に接続してください。

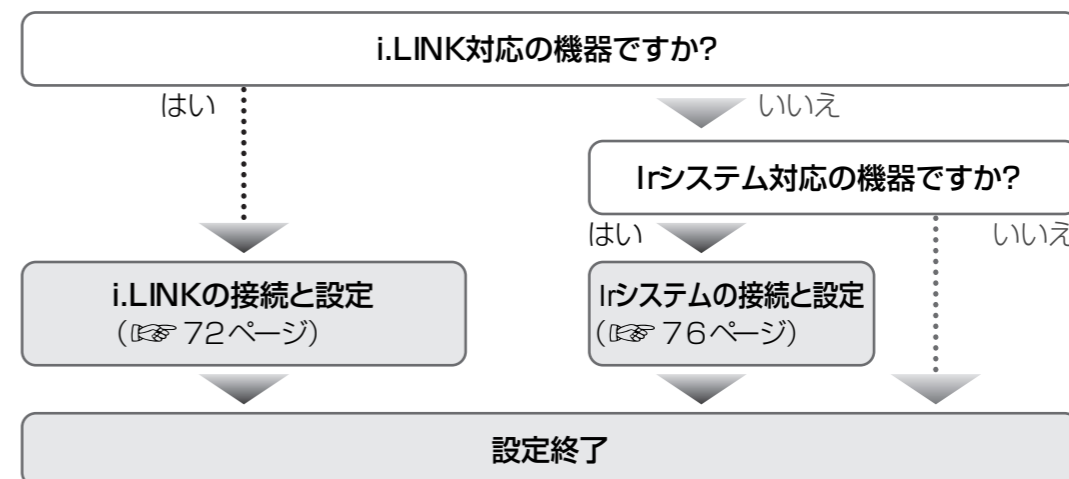
Irシステム端子

- ●Irシステムは、ビデオデッキやDVDレコーダーなどのリモコンの赤外線信号(Infrared)を利用して、本機からビデオデッキなどの電源「入」「切」や録画の開始など、一部の操作ができる機能です。
- ●付属のIrシステムケーブルを接続します。

お知らせ

- ●録画時の信号出力については　(☞26～29ページ)

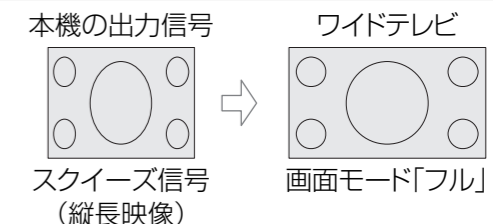
録画機器の接続と設定

●VHSやD-VHSのビデオデッキ、DVDレコーダーなどの接続と設定は、下記の通り行ってください。

S1／S2映像出力について

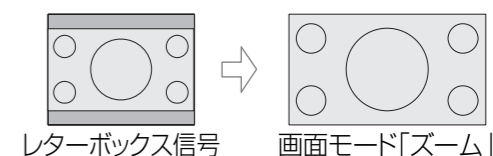
S1映像信号とは

●映像信号をY(輝度信号)とC(色信号)に分離したS映像機能に加え、ワイド映像(スクイーズ信号)を自動判別するための識別信号が付加された信号です。ワイドテレビでは、この識別信号により自動的に画面モードを「フル」に切り換えます。

本機の出力信号　ワイドテレビ

スクイーズ信号(縦長映像)　画面モード「フル」

S2映像信号とは

●S1映像機能に加え、ワイド映像(レターボックス信号)を自動判別するための識別信号が付加された信号です。
ワイドテレビでは、この識別信号により、自動的に画面モードを「ズーム」に切り換えます。

レターボックス信号　画面モード「ズーム」

本機のHDMI出力端子または、D端子映像出力端子から出力される映像信号について

61ページのHDMI／D端子出力の設定により、放送局から送信された信号方式[1080i、720p、480i、480p]を本機は下表のような信号方式で出力します。

<table>
<tr><th colspan="2" rowspan="2">放送局から送信される信号方式</th><th colspan="6">「HDMI／D端子出力の設定」により本機から出力される信号方式</th></tr>
<tr><th>480i／D1の場合</th><th>480p／D2の場合</th><th>1080i／D3の場合</th><th>720p／D4の場合</th><th>480p固定の場合</th><th>1080i固定の場合</th></tr>
<tr><td rowspan="2">HD</td><td>1080iの放送→</td><td rowspan="2">480iに変換して出力</td><td rowspan="2">480pに変換して出力</td><td>1080iをそのまま出力</td><td>1080iをそのまま出力</td><td rowspan="3">480pに変換して出力</td><td>1080iをそのまま出力</td></tr>
<tr><td>720pの放送→</td><td>1080iに変換して出力</td><td>720pをそのまま出力</td><td rowspan="3">1080iに変換して出力</td></tr>
<tr><td rowspan="2">SD</td><td>480iの放送→</td><td>480iをそのまま出力</td><td>480iをそのまま出力</td><td>480iをそのまま出力</td><td>480iをそのまま出力</td></tr>
<tr><td>480pの放送→</td><td>480iに変換して出力</td><td>480pをそのまま出力</td><td>480pをそのまま出力</td><td>480pをそのまま出力</td><td>480pをそのまま出力</td></tr>
</table>

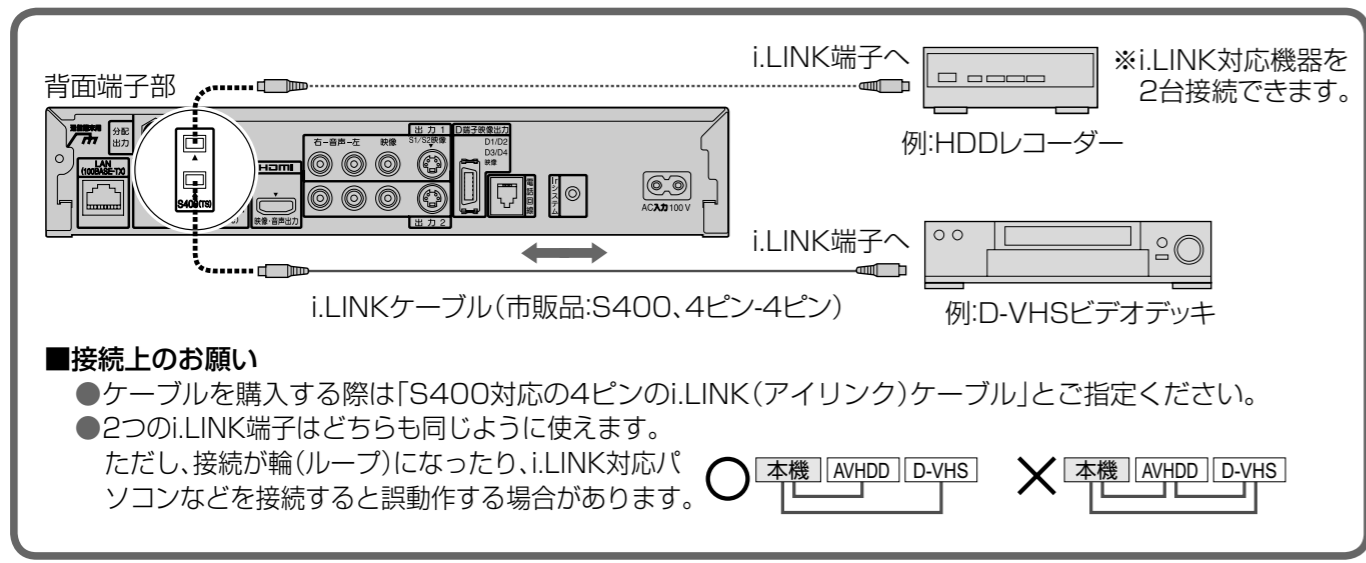
※「1080i 固定」にすると480i、480p は1080i に変換されますが、画質は480i、480p と同等になります。

●録画機器と接続する

接続・設定

i.LINK対応機器の接続と設定

● 設定中、戻る ◯ で1つ前の画面に戻ります。
● 設定後は、元の画面 でテレビ放送の画面に戻します。

■接続上のお願い
●ケーブルを購入する際は「S400対応の4ピンのi.LINK(アイリンク)ケーブル」とご指定ください。
●2つのi.LINK端子はどちらも同じように使えます。
ただし、接続が輪(ループ)になったり、i.LINK対応パソコンなどを接続すると誤動作する場合があります。
○ 本機 AVHDD D-VHS　× 本機 AVHDD D-VHS

i.LINK接続した機器が使用できることと本機に登録された機器名を確認します。

1 を押す

2 ▼▲で「設定する」を選び、決定 を押す

3 ▼▲で「接続機器関連設定」を選び、決定 を押す

システム設定
設置設定
接続機器関連設定

4 ▼▲で「i.LINK接続設定」を選び、決定 を押す

5 使いたい機器の「使用」が「する」になっているか確認する(2台まで同時に使用可能)

機器	メーカー	機種	接続状態	使用
AVHDD1	・・・・・	＊＊＊＊＊	未接続	する
D-VHS1	・・・・・	＊＊＊＊＊	オン	する

登録機器名　メーカー名と機種名

オン	電源オン
オフ	電源オフ(本機で操作可能)
未接続	一度接続したが現在は未接続
不明	「使用」の状態が「しない」のときや本機で操作できないとき

する	使用する機器
しない	使用しない機器
不可	使用できない機器

●「する」「しない」を変えるには
①▲▼で機器を選び、決定ボタンを押す
②「使用する」または「使用しない」を確認し、決定ボタンを押す

■登録を削除(解除)するときは
①削除する機器のi.LINKケーブルを抜く(はずす)
②▲▼で削除する機器を選び、決定ボタンを押す
③「削除する」を選び、決定ボタンを押す

●HDDレコーダーには、DISCモードとD-VHSモードの切り換え機能がある場合があります。
・**DISCモードの場合**　：本機は機器名を**AVHDD**と認識します。
・**D-VHSモードの場合**：本機は機器名を**D-VHS**と認識します。
本機とのi.LINK接続はDISCモードでご使用になることをおすすめします。
詳しくは、HDDレコーダーの取扱説明書をご覧ください。
●当社製ブルーレイディスクレコーダー/DVDレコーダーの場合、本機は機器名を**D-VHS**と認識します。
接続後、機器側の設定が必要です。(DMR-BW700、DMR-XW120の場合、初期設定の「i.LINK機器モード設定」を「TSモード2」、「クイックスタート」を「入」に設定してください。)

D-VHSビデオデッキなどで録画した番組を見る

i.LINKの接続と設定を行ってから操作してください。(☞72ページ)

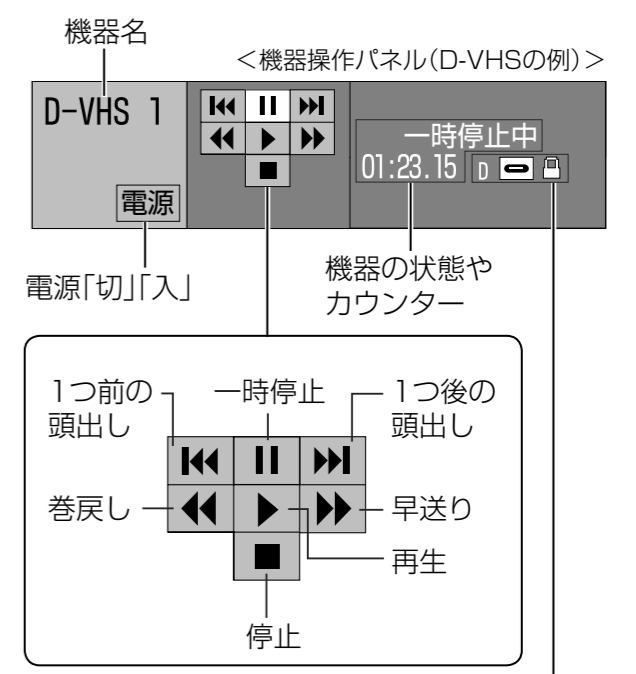
1 操作一覧 を押す

2 ▼▲で「機器を操作する」を選び、決定 を押す

3 ▼▲で操作する機器を選び、決定 を押す

i.LINK接続設定で「使用」を「する」にした機器名が表示されます。(☞72ページ)

●「D-VHS1」の操作は右記をご覧ください。
ただし、当社製ブルーレイディスクレコーダー/DVDレコーダーの場合は、機器操作パネルでの操作はできません。
●「AVHDD1」を選ぶと、AVHDD再生ナビが表示されます。(☞74ページ)

4 画面に表示された機器操作パネルで ▲▼◀▶で操作したい機能を選び、決定 を押す

D ビデオテープの種類
●D：D-VHSテープ
●S：S-VHSテープ
● 表示なし：VHSテープ

ビデオテープが入っているとき

録画できないビデオテープのとき(誤消去防止用「つめ」が折れた状態)

● 戻る で機器操作パネルが消えます。
● 操作一覧 で機器操作パネルが表示されます。

お知らせ
●録画は、番組表から録画設定(☞28ページ)を行ってください。
●予約中の機器や、1台のi.LINK機器で録画中に別のi.LINK機器の操作パネルは表示できません。
●i.LINK機器の取扱説明書もお読みください。
●i.LINK機器の操作中は、本機の機能が一部使用できなくなります。
●i.LINK操作ができない場合は、i.LINKケーブルを抜いた状態で本機のi.LINK接続設定(☞72ページ)を削除してから、i.LINK機器側の設定を変更してください。

AVHDDに録画した番組を見る 再生ナビ

当社製AVHDD(TZ-HDD250)に録画(保存)した番組は、本機の再生ナビ(録画番組一覧)を使って再生や消去、番組名編集などを行うことができます。本機の再生ナビを使うには、i.LINKの接続と設定が必要です。(☞72ページ)

再生ナビ を押す

<再生ナビ画面>

 プロテクト設定
コピーワンス
● 録画中

● 操作一覧→「機器を操作する」→「AVHDD1」で再生ナビ画面を表示させることもできます。

録画した番組を再生する

▼▲で見たい番組を選び、決定 または 再生 を押す

選んだ番組を再生します。

● 視聴制限が設定されている番組の場合は、暗証番号入力画面が表示されます。

前回、見ていた番組の途中から再生する

 青 を押す

前回、番組を見ていた地点(停止させた場面)から再生します。

再生中に再生開始位置を設定する

1 サブメニュー S を押す

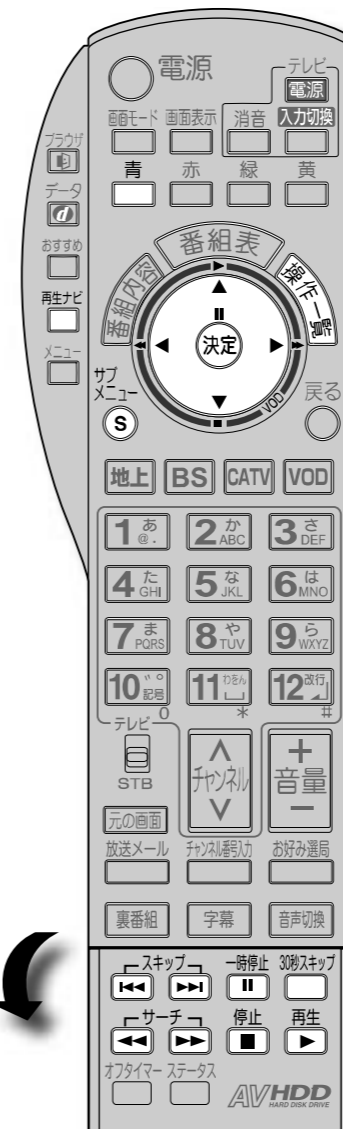
2 ▼▲で「タイムワープ」を選び、決定 を押す

サブメニュー / タイムワープ / データ放送表示オフ

3 ◀▶でタイムワープ(再生開始位置)を設定し、決定 を押す

「−180分〜−1分、1分〜180分」

設定した位置より再生します。

●録画番組の再生中のみ番組の時間内で設定ができます。
●◀▶の長押しで15分単位で切り換わります。

AVHDD操作ボタンについて

詳しくは、AVHDDの取扱説明書をご覧ください。

録画した番組を消去・設定を変更する

1 再生ナビ画面表示中に▼▲で操作したい番組を選び、サブメニュー S を押す

録画した番組を消去する

① ▼▲で「番組消去」を選び、決定 を押す

② ◀で「はい」を選び、決定 を押す

録画した番組の上書き禁止を設定する

① ▼▲で「プロテクト設定変更」を選び、決定 を押す

→プロテクト設定が変更されます。
例：上書き禁止の設定がされると、上書きが禁止になり、録画番組情報に(プロテクト設定)のアイコンが表示されます。

録画した番組名を編集する

① ▼▲で「番組名編集」を選び、決定 を押す

番組名編集 / プロテクト設定変更

② 番組名を入力する

○○○○……… / 変更する / 変更しない

● 文字の入力方法は(☞38〜41ページ)

③ ▼◀で「変更する」を選び、決定 を押す

Irシステム対応機器の接続と設定

● 設定中、戻る ◯ で1つ前の画面に戻ります。
● 設定後は、元の画面 でテレビ放送の画面に戻します。

■Irシステムケーブルの取り付け例

●録画機器のリモコン受信部の位置を確認してください。
●両面テープは、貼り付ける個所のゴミやほこりを取り除いてから貼り付けてください。
●Irシステムケーブルに付属の両面テープは強力なため、棚などに貼り付けたあと、無理にはがすと板の表面を傷める場合があります。ご注意ください。

1 を押す

2 ▼▲で「設定する」を選び、決定 を押す

3 ▼▲で「接続機器関連設定」を選び、決定 を押す

4 ▼▲で「Irシステム設定」を選び、決定 を押す

接続機器関連設定	
i．LINK接続設定	
Irシステム設定	
Ir拡張機器接続テスト	
デジタル音声出力	PCM

5 ▼▲で各項目を選び、◀▶で設定する

Irシステム設定	
Irシステム	オフ　オン
メーカー	パナソニック
リモコン種別	ビデオ1
外部入力	外部入力1
テスト	―――

当社製のビデオデッキまたはDVDレコーダーで「タイマー予約」をするときのみ設定してください。
→ 本機に接続した、ビデオデッキやDVDレコーダー側の外部入力端子の番号(1、2、3)に合わせる。(他メーカーの機器では設定できません)

●本機で設定できる録画機器は以下の通りです。
パナソニック、ビクター、東芝、三菱、三洋、シャープ、ソニー、日立、アイワ、NECのビデオデッキおよびパナソニック、パイオニア、三菱のDVDレコーダー
※一部、使用できない商品もあります。

●「リモコン種別」について
- メーカーによってはリモコン種別が複数あります。右記のテストを実行しても機器が動作しない場合は、他のリモコン種別に切り換えてください。
- 「DVDレコーダー1～3」に設定した場合、パナソニック製DVDレコーダーでは録画予約を行うと録画予約情報の他に番組タイトルの情報が送られます。
(番組表で番組タイトルが取得できていない場合は送られません。また、一部対応していない機種があります。)送られる番組タイトルは1分を超える予約番組の最初の番組タイトル1つだけです。
番組タイトルに 天、二、N などの外字が含まれているとDVDレコーダーでは表示されません。
また、時間指定予約で「毎日」などのくり返しのタイマー予約をされた場合には、予約設定時に初回の番組タイトルを送ります。(くり返しの2回目以後の番組タイトルは送りません。)

■終わったら、右記のテストを行ってください。

テスト

Irシステムで接続した機器が正しく動作するか確認します。

1 左記手順5の画面で ▼で「テスト」を選び、決定 を押す

Ir システム設定	
Ir システム	オフ　オン
メーカー	パナソニック
リモコン種別	ビデオ1
外部入力	外部入力1
テスト	―――

2 録画機器の電源が「入」「切」するか、確認する

●「送信中」が表示され、電源「入」「切」のリモコン信号がくり返し送信されます。

3 決定 を押す

→くり返し送信が終了します。

■録画機器の電源が「入」「切」しないときは
●Irシステムケーブルの接続、取り付けを確認してください。(☞76ページ)
●リモコン種別を変更してください。(☞左記手順5)

オーディオ機器の接続と設定

● 設定中、(戻る) で1つ前の画面に戻ります。
● 設定後は、元の画面 でテレビ放送の画面に戻します。

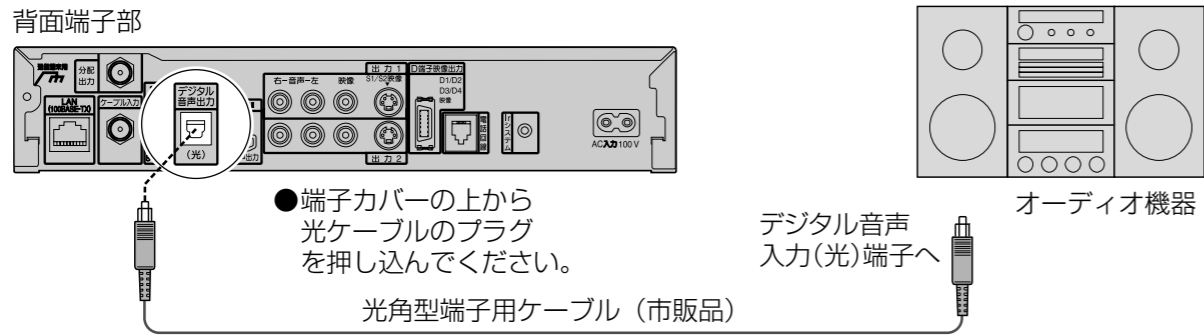
AAC対応のオーディオ機器を接続したときは、以下の設定を行ってください。

背面端子部

●端子カバーの上から光ケーブルのプラグを押し込んでください。

デジタル音声入力(光)端子へ

オーディオ機器

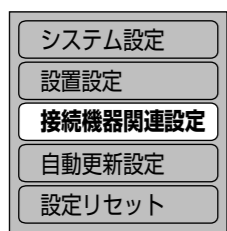
光角型端子用ケーブル（市販品）

■接続できるオーディオ機器

- ●デジタル音声入力(光)端子を持ち、PCMまたはAAC※対応でサンプリングレートコンバーター内蔵のMDやアンプなどのオーディオ機器。
- ●本機のデジタル音声出力(光)端子は、デジタル放送の信号をそのまま出力していますので、サンプリングレートコンバーターのないオーディオ機器は使用できません。
- ●オーディオ機器の取扱説明書も、よくお読みください。

※AACとは、音声符号化の規格の一つです。AACは、CD(コンパクトディスク)並みの音質データを約1/12にまで圧縮できます。また、5.1チャンネルのサラウンド音声や多言語再生を行うこともできます。

1 (操作一覧) を押す

2 ▼▲で「設定する」を選び、(決定) を押す

3 ▼▲で「接続機器関連設定」を選び、(決定) を押す

4 ▼▲で「デジタル音声出力」を選び、◀▶で設定する

接続機器関連設定		
i．ＬＩＮＫ接続設定		
Ｉｒシステム設定		
Ir拡張機器接続テスト		
デジタル音声出力	ＰＣＭ	
ＨＤＭＩ機器制御	する	しない

PCM	オーディオ機器がAACフォーマットに対応していないとき(工場出荷時)
AAC	AACの番組のときは、「AAC」出力 それ以外は、「PCM」出力
自動	サラウンド・ステレオ(5.1ch)番組のときのみ自動的に「AAC」出力に切り換える

お知らせ

- ●「AAC」にすると、字幕放送やデータ放送の効果音が、デジタル音声出力(光)端子から出力されません。「PCM」にするか、出力1または出力2の音声端子をご使用ください。
- ●AAC対応のオーディオ機器を接続する場合、「PCM」と「AAC」の入力に対し自動切換機能のあるものをおすすめします。
- ●HDMI接続機器が「AAC」対応の場合は、HDMI音声出力はデジタル音声出力で設定した音声方式で出力されます。HDMI接続機器が「AAC」非対応の場合は、HDMI音声出力は「PCM」で出力されます。

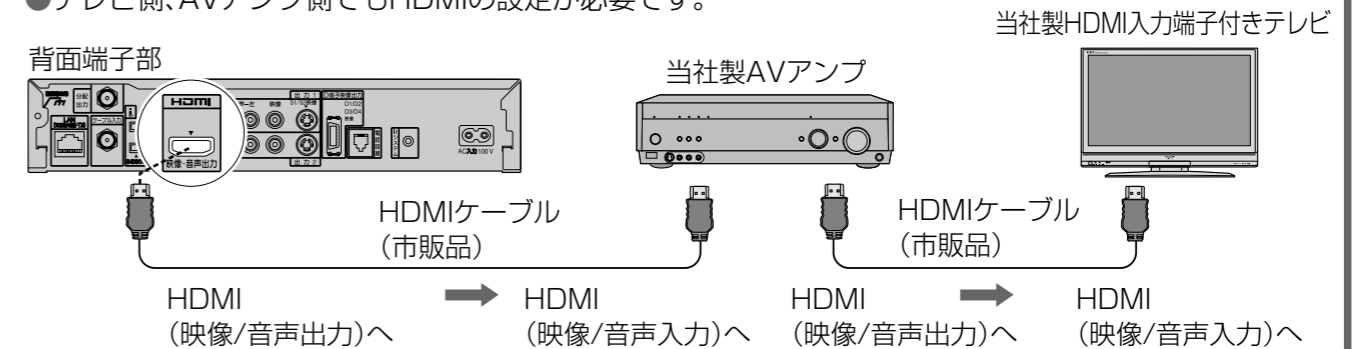
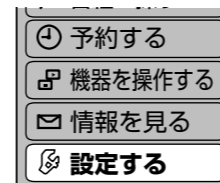
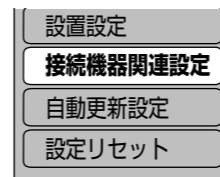
音声の出力先を切り換える(HDMI機器制御)

HDMI機器制御機能がある当社製テレビ、またはAVアンプをHDMI経由で接続するとテレビの音声出力先を切り換えることができます。

HDMI機器制御機能がある当社製AVアンプをHDMI経由で接続してください。

●テレビ側、AVアンプ側でもHDMIの設定が必要です。

1 (操作一覧) を押す

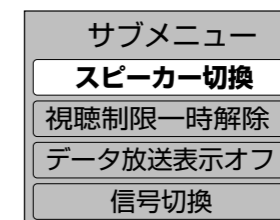
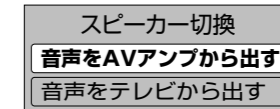
2 ▼▲で「設定する」を選び、(決定) を押す

3 ▼▲で「接続機器関連設定」を選び、(決定) を押す

4 ▼▲で「HDMI機器制御」を選び、◀で「する」を選ぶ

Irシステム設定		
Ir拡張機器接続テスト	－－	
デジタル音声出力	PCM	
HDMI機器制御	する	しない

する	音声出力先の切り換えを有効にする
しない	音声出力先の切り換えを無効にする

5 (サブメニュー) を押す

6 ▼▲で「スピーカー切換」を選び、(決定) を押す

7 ▼▲で音声出力先を選び、(決定) を押す

スピーカー切換
音声をAVアンプから出す
音声をテレビから出す

お知らせ

- ●AVアンプは必ず本機とテレビの間に接続してください。
- ●HDMI機器制御を行うには、接続したテレビ側、AVアンプ側の設定も必要です。詳しくは、各機器の取扱説明書をご覧ください。
- ●HDMI規格に準拠していないケーブルでは動作しません。
- ●本機からAVアンプへ番組に応じた最適な音声モードに切り換えることができます。(☞80ページ)

ビエラリンク(HDMI)を使う

ビエラリンク

ビエラリンク(HDMI)Ver.3以降に対応した当社製ビエラ「テレビ」、AVアンプをHDMI経由で接続すると以下の操作ができます。

本機能は、接続した各機器のビエラリンク(HDMI)がVer.3から使用できます。
テレビのビエラリンクのバージョンは、テレビの取扱説明書でご確認ください。
本機はビエラリンク(HDMI)Ver.3に対応しています。(2008年7月現在)

ビエラ(テレビ)のリモコンで本機やAVHDDを操作することができます。

番組に適したAVアンプの音声モードを自動で切り換えることができます。(オートサウンド連携)

本機との接続は79ページをご覧ください。

オート
サウンド連携
を使うには

本機側の設定を行う(☞81ページ)

AVアンプ側の設定を行う

AVアンプ側の設定操作については、AVアンプの取扱説明書を参照ください。

- 当社製HDMIケーブルを推奨します。
- HDMI規格に準拠していないケーブルでは動作しません。
- ビエラリンク(HDMI)は、HDMI CEC(Consumer Electronics Control)と呼ばれる業界標準のHDMIによるコントロール機能をベースに、当社が独自機能を追加したものです。

■HDMIケーブル(当社製)について
- 品番:RP-CDHG10(1 m)
- 品番:RP-CDHG15(1.5 m)
- 品番:RP-CDHG20(2 m)
- 品番:RP-CDHG30(3 m) など

- **設定中、**戻る ◯ で1つ前の画面に戻ります。
- **設定後は、**元の画面 でテレビ放送の画面に戻します。

ビエラ(テレビ)のリモコンで本機を操作するための設定

テレビのリモコンで操作するための設定を行います。
本機のリモコンで以下の設定を行ってください。

1 操作一覧 を押す

2 ▼▲で「設定する」を選び、決定 を押す

- 機器を操作する
- 情報を見る
- **設定する**

3 ▼▲で「接続機器関連設定」を選び、決定 を押す

- システム設定
- 設置設定
- **接続機器関連設定**
- 自動更新設定
- 設定リセット

4 ▼▲で「HDMI機器制御」を選び、◀で「する」を選ぶ

デジタル音声出力	PCM	
HDMI機器制御	**する**	しない
HDMI機器電源オフ連動	する	しない
ビエラリンク設定		

5 ▼▲で「ビエラリンク設定」を選び、決定 を押す

デジタル音声出力	PCM	
HDMI機器制御	する	しない
HDMI機器電源オフ連動	する	しない
ビエラリンク設定		

6 ▼▲で「ビエラリモコンで操作」を選び、◀で「する」を選ぶ

ビエラリンク設定		
ビエラリモコンで操作	**する**	しない
オートサウンド連携	する	しない
バージョン	[ビエラリンク Ver.3]	

ケーブルテレビを見るための各操作
(☞82～85ページ)

オートサウンド連携を使うための設定

AVアンプの音声モードを自動で切り換えるための設定を行います。

1 操作一覧 を押す

2 ▼▲で「設定する」を選び、決定 を押す

- 機器を操作する
- 情報を見る
- **設定する**

3 ▼▲で「接続機器関連設定」を選び、決定 を押す

- システム設定
- 設置設定
- **接続機器関連設定**
- 自動更新設定
- 設定リセット

4 ▼▲で「HDMI機器制御」を選び、◀で「する」を選ぶ

デジタル音声出力	PCM	
HDMI機器制御	**する**	しない
HDMI機器電源オフ連動	する	しない
ビエラリンク設定		

5 ▼▲で「ビエラリンク設定」を選び、決定 を押す

デジタル音声出力	PCM	
HDMI機器制御	する	しない
HDMI機器電源オフ連動	する	しない
ビエラリンク設定		

6 ▼▲で「オートサウンド連携」を選び、◀で「する」を選ぶ

ビエラリンク設定		
ビエラリモコンで操作	する	しない
オートサウンド連携	**する**	しない
バージョン	[ビエラリンク Ver.3]	

ビエラのリモコンで本機を操作する

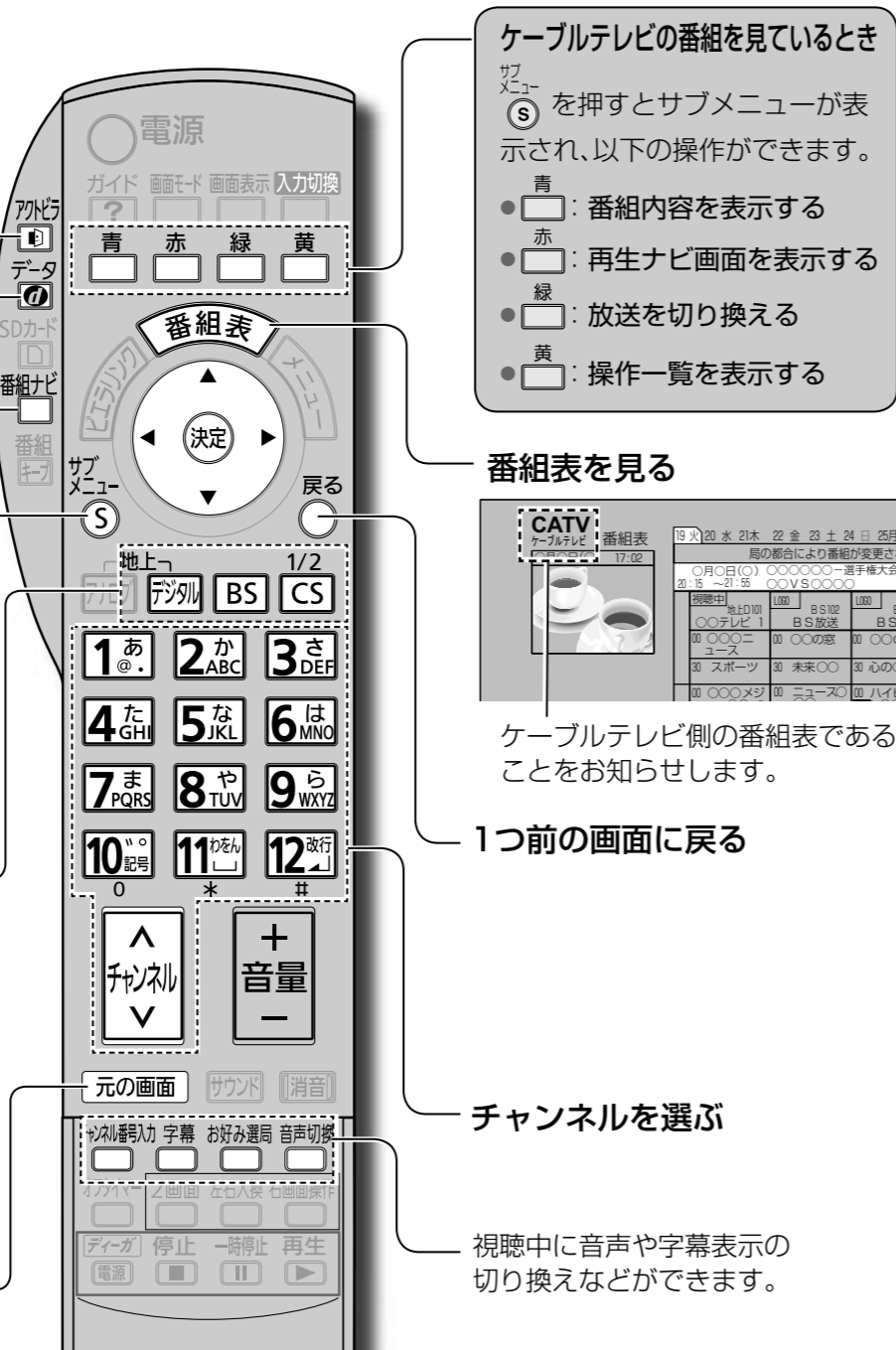
ビエラリンク

本機の操作をするための準備

ビエラ(テレビ)のリモコンで本機を操作するには、あらかじめテレビの操作から本機の操作に切り換えるための切り換え操作が必要です。
切り換え操作の詳細はテレビの取扱説明書をご覧ください。

本機を操作できるビエラのリモコンボタン

ボタンの名称は本機リモコンと異なります。
- 「デジタル」→地上デジタル放送
- 「BS」→BSデジタル放送
- 「CS」→CATVデジタル放送

● 選局入力方式が「3桁入力」のときは、放送を選ぶ必要はありません。

＜ビエラのリモコン(例：TH-32LX80)＞

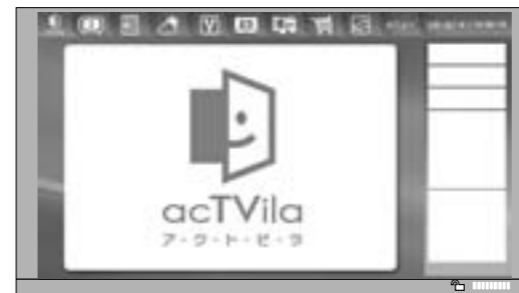
ビエラの機種によっては、ボタンの配置と使用できるボタンが異なる場合があります。詳しくは、ビエラの電子説明書(VIERA操作ガイド)をご覧ください。

ビエラ(テレビ)リモコンの詳細はテレビの取扱説明書をご覧ください。

ブラウザを利用する

インターネットを利用した生活情報やテレビ向けの双方向情報提供サービスを見ることができます。

1 アクトビラ を押す

＜画面例＞

● ブラウザの詳細操作は、34ページを参照ください。

データ放送を見る

お住まいの地域の天気予報やテレビ放送やラジオ放送に連動した情報を閲覧したり、電話回線を使用して視聴者参加番組、ショッピング、チケット購入などの双方向(インタラクティブ)サービスを利用することができます。

1 データ を押す

＜画面イメージ＞

2 ▼▲で見たい項目を選び、(決定) を押す

● 以降の操作は、21ページを参照ください。

各種の設定を行う

1 番組ナビ を押す

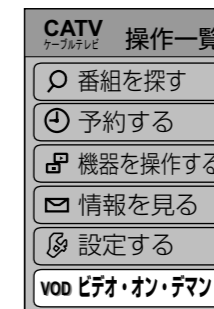
→本機の「操作一覧」が表示されます。

以降の操作は、本取扱説明書の各設定に対応したページをご覧ください。

ビエラの機種によっては番組ナビがない場合があります。

その場合は、サブメニュー Ⓢ を押し、サブメニュー画面を表示させてから黄を押すと上記の「操作一覧」が表示されます。

VODをご利用のとき

1 上記の操作一覧画面のとき
▼で「ビデオ・オン・デマンド」を選び、(決定) を押す

ご加入のケーブルテレビ局のサービス内容により表示されない場合があります。

ビエラのリモコンでAVHDDを操作する

ビエラリンク

本機と当社製AVHDD（TZ-HDD250）をi.LINKで接続している場合、ビエラのリモコンで録画や再生などを行うことができます。あらかじめビエラリンクの設定が必要です。（☞80ページ）

テレビ（ビエラ）リモコンの詳細はテレビの取扱説明書をご覧ください。

<ビエラのリモコン（例：TH-32LX80）>

録画予約する

1 番組表 を押す

2 番組表から▼▲◀▶で録画したい番組を選び、決定 を押す

例：選んでいる番組が黄色になる

●録画予約についての詳細（☞26～31ページ）

再生する

1 サブメニュー Ⓢ を押す

→サブメニューが表示されます。

2 赤 を押す

→再生ナビ画面が表示されます。（☞74ページ）

3 ▼▲で番組を選び、決定 を押す

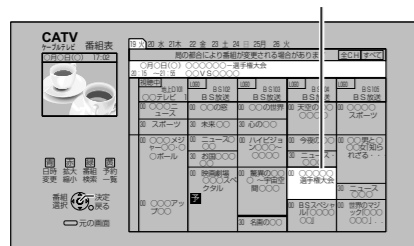
→選んだ番組の再生が始まります。

●再生中の操作は（☞下記）
●録画番組の消去や番組名変更について（☞75ページ）

再生中の操作（一時停止やサーチなど）

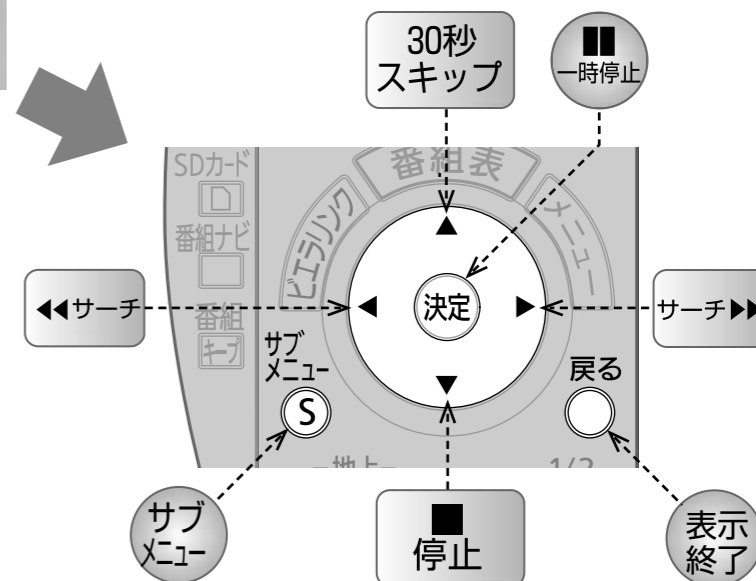
再生中に、サブメニュー Ⓢ を押す

→操作パネルが表示されます。

操作パネル（しばらくすると表示は消えます。）

操作パネルを表示中に、操作パネルに応じたリモコンのボタンを押してください。（操作内容の詳細は下記の表を参照ください。）

一時停止やサーチなどのボタンを押すと操作パネルの表示が変わります。

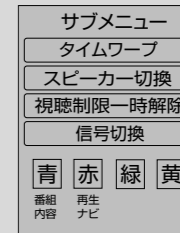
操作パネルのボタンは、リモコンのボタン位置に対応しています。

操作パネルが消えたときは、再度、サブメニュー Ⓢ を押してください。

操作内容	操作ボタン	
通常の再生に戻す	決定 または ▲	一時停止中、早送り中、早戻し中から通常の再生画面に戻します。
一時停止	決定	番組の再生を一時停止します。
停止	▼	番組の再生を停止します。
早送り（サーチ▶▶）	▶	押すごとに、速度が速くなります。（4段階）
早戻し（◀◀サーチ）	◀	押すごとに、速度が速くなります。（4段階）
30秒先へスキップ再生	▲	1回押すごとに、約30秒飛び越して再生します。
30秒逆へスキップ再生	▲ 長押し	約30秒戻って再生します。

■操作パネルを消す

戻る ◯ を押す

■サブメニューを表示する

サブメニュー Ⓢ を押す

サブメニュー表示中にできるカラーボタンの操作

カラーボタン（再生中にサブメニュー表示のとき）	
青	番組内容を表示する
赤	再生ナビ画面を表示する

操作一覧（メニュー）

操作一覧	設定項目	ページ
番組を探す	番組表で	20
	今放送中から	20
	おすすめ一覧	22
	ジャンル別に	20
予約する	番組表で	19
	おすすめ一覧	22
	ジャンル別に	20
	時間指定予約で	32
	予約一覧	33
	録画・視聴設定	31
機器を操作する	AVHDD1	73
	D-VHS1	73
情報を見る	放送メール	48
	購入記録	48
	購入記録送信結果	48
	双方向通信一覧	48
	ICカード	49
	ステータス表示	49
	お好みページ	49
	ボード	49

操作一覧	設定項目	詳細設定項目	ページ
設定する	システム設定	おすすめ番組設定	46
		字幕の設定	42
		制限項目設定	42
		文字入力設定	44
		選局対象	44
		二重音声設定	44
		タイトル表示	44
		機能待機	45
		ケーブルモデム電源連動※1	68
		前面パネル輝度	45
		選局入力方式	45
		チャンネルアップダウン	44
	設置設定	チャンネル設定	56
		地域設定	59
		電話設定	60
		C-CASカードテスト	59
		B-CASカードテスト	59
		ネットワーク設定	64
		ブラウザ設定	65
		接続テレビ設定	61
		HDMI設定	63
		ケーブルモデム情報※1	66
	接続機器関連設定	i.LINK接続設定	72
		Irシステム設定	76
		Ir拡張機器接続テスト※2	—
		デジタル音声出力	78
		HDMI機器制御	68
		HDMI機器電源オフ連動	68
		ビエラリンク設定	81
	自動更新設定	ダウンロード予約	67
	設定リセット	個人情報リセット	69
ビデオ・オン・デマンド※3	—	—	—

※1 TZ-DCH520／TZ-DCH820は表示されません。

※2 Ir拡張機器を接続したときに接続テストを行います。設置および操作につきましては、Ir拡張機器に付属の取扱説明書をご確認ください。ご加入のケーブルテレビ局のサービス内容により使用できない場合があります。

※3 VODを使用しているときに表示されます。

お知らせ

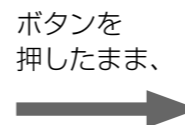
●詳細については該当のページをご覧ください。
●メニュー操作で設定画面を表示させたとき、設定が有効でない項目は、灰色表示になります。

テレビに合わせたリモコンのメーカー設定

本機のリモコンでお手持ちのテレビの基本的な操作をすることができます。
（電源の入切、テレビ／ビデオの切り換え、チャンネル選局、音量調整）

設定手順

①テレビ／STB切換スイッチを「テレビ」側に切り換える

②リモコンの信号を変更する

テレビ 電源 ボタンを押したまま、 → 下表よりお手持ちのテレビのメーカーに対応するボタンを選び、順番に押す。（工場出荷時はパナソニック（新1）に設定）

テレビメーカー	ボタンを順番に押す	テレビメーカー	ボタンを順番に押す	テレビメーカー	ボタンを順番に押す
パナソニック（新1）	1と1	SONY（1）	3と5	富士通ゼネラル（2）	5と6
パナソニック（新2）	1と2	SONY（2）	3と6	三洋（1）	6と1
パナソニック（旧）	1と3	パイオニア	4と1	三洋（2）	6と2
パナソニック（地上D1）	1と4	シャープ（1）	4と5	NEC（1）	6と5
パナソニック（地上D2）	1と5	シャープ（2）	4と6	NEC（2）	6と6
ビクター	2と1	シャープ（3）	4と7	AIWA	7と1
東芝	2と5	三菱（1）	5と1	FUNAI	7と2
日立（1）	3と1	三菱（2）	5と2	――	――
日立（2）	3と2	富士通ゼネラル（1）	5と5	――	――

お知らせ

●同一メーカーで設定が2種類以上ある場合は、動作するほうに設定してください。
●接続したテレビにリモコン機能がない場合は、本機のリモコンでも動作しません。
●電池の交換などで設定が「パナソニック（新1）」に戻った場合は、再設定してください。
●一部動作しない機種もあります。動作しない場合は、テレビに付属のリモコンをご使用ください。

地上デジタル放送チャンネル一覧表

●お住まいの地域別地上デジタル放送のチャンネル一覧です。
ご加入のケーブルテレビ局によりチャンネル数と放送局名が異なる場合があります。
ご加入のケーブルテレビ局にお問いあわせください。

お住まいの地域	北海道(札幌)	北海道(函館)	北海道(旭川)	北海道(帯広)	北海道(釧路)	北海道(北見)	北海道(室蘭)
放送局名	3 NHK総合・札幌	3 NHK総合・函館	3 NHK総合・旭川	3 NHK総合・帯広	3 NHK総合・釧路	3 NHK総合・北見	3 NHK総合・室蘭
	2 NHK教育・札幌	2 NHK教育・函館	2 NHK教育・旭川	2 NHK教育・帯広	2 NHK教育・釧路	2 NHK教育・北見	2 NHK教育・室蘭
	1 HBC札幌	1 HBC函館	1 HBC旭川	1 HBC帯広	1 HBC釧路	1 HBC北見	1 HBC室蘭
	5 STV札幌	5 STV函館	5 STV旭川	5 STV帯広	5 STV釧路	5 STV北見	5 STV室蘭
	6 HTB札幌	6 HTB函館	6 HTB旭川	6 HTB帯広	6 HTB釧路	6 HTB北見	6 HTB室蘭
	8 UHB札幌	8 UHB函館	8 UHB旭川	8 UHB帯広	8 UHB釧路	8 UHB北見	8 UHB室蘭
	7 TVH札幌	7 TVH函館	7 TVH旭川	7 TVH帯広	7 TVH釧路	7 TVH北見	7 TVH室蘭

お住まいの地域	宮城	秋田	山形	岩手	福島	青森	東京
放送局名	3 NHK総合・仙台	1 NHK総合・秋田	1 NHK総合・山形	1 NHK総合・盛岡	1 NHK総合・福島	3 NHK総合・青森	1 NHK総合・東京
	2 NHK教育・仙台	2 NHK教育・秋田	2 NHK教育・山形	2 NHK教育・盛岡	2 NHK教育・福島	2 NHK教育・青森	2 NHK教育・東京
	1 TBCテレビ	4 ABS秋田放送	4 YBC山形放送	6 IBCテレビ	8 福島テレビ	1 RAB青森放送	4 日本テレビ
	8 仙台放送	8 AKT秋田テレビ	5 YTS山形テレビ	4 テレビ岩手	4 福島中央ﾃﾚﾋﾞ	6 ATV青森テレビ	6 TBS
	4 ミヤギテレビ	5 AAB秋田朝日放送	6 ﾃﾚﾋﾞﾕｰ山形	8 めんこいﾃﾚﾋﾞ	5 KFB福島放送	5 青森朝日放送	8 ﾌｼﾞﾃﾚﾋﾞｼﾞｮﾝ
	5 KHB東日本放送		8 さくらんぼﾃﾚﾋﾞ	5 岩手朝日ﾃﾚﾋﾞ	6 ﾃﾚﾋﾞﾕｰ福島		5 テレビ朝日
							7 テレビ東京
							9 TOKYO MX
							12 放送大学

お住まいの地域	神奈川	群馬	茨城	千葉	栃木	埼玉	長野
放送局名	1 NHK総合・東京	1 NHK総合・東京	1 NHK総合・水戸	1 NHK総合・東京	1 NHK総合・東京	1 NHK総合・東京	1 NHK総合・長野
	2 NHK教育・東京	2 NHK教育・東京	2 NHK教育・東京	2 NHK教育・東京	2 NHK教育・東京	2 NHK教育・東京	2 NHK教育・長野
	4 日本テレビ	4 日本テレビ	4 日本テレビ	4 日本テレビ	4 日本テレビ	4 日本テレビ	4 テレビ信州
	6 TBS	6 TBS	6 TBS	6 TBS	6 TBS	6 TBS	5 abn
	8 ﾌｼﾞﾃﾚﾋﾞｼﾞｮﾝ	8 ﾌｼﾞﾃﾚﾋﾞｼﾞｮﾝ	8 ﾌｼﾞﾃﾚﾋﾞｼﾞｮﾝ	8 ﾌｼﾞﾃﾚﾋﾞｼﾞｮﾝ	8 ﾌｼﾞﾃﾚﾋﾞｼﾞｮﾝ	8 ﾌｼﾞﾃﾚﾋﾞｼﾞｮﾝ	6 SBC信越放送
	5 テレビ朝日	5 テレビ朝日	5 テレビ朝日	5 テレビ朝日	5 テレビ朝日	5 テレビ朝日	8 NBS長野放送
	7 テレビ東京	7 テレビ東京	7 テレビ東京	7 テレビ東京	7 テレビ東京	7 テレビ東京	
	3 tvk	3 群馬テレビ	12 放送大学	3 チバテレビ	3 とちぎテレビ	3 テレ玉	
	12 放送大学	12 放送大学		12 放送大学	12 放送大学	12 放送大学	

お住まいの地域	新潟	山梨	大阪	京都	兵庫	和歌山	奈良
放送局名	1 NHK総合・新潟	1 NHK総合・甲府	1 NHK総合・大阪	1 NHK総合・京都	1 NHK総合・神戸	1 NHK総合・和歌山	1 NHK総合・奈良
	2 NHK教育・新潟	2 NHK教育・甲府	2 NHK教育・大阪	2 NHK教育・大阪	2 NHK教育・大阪	2 NHK教育・大阪	2 NHK教育・大阪
	6 BSN	4 YBS山梨放送	4 MBS毎日放送	4 MBS毎日放送	4 MBS毎日放送	4 MBS毎日放送	4 MBS毎日放送
	8 NST	6 UTY	6 ABCテレビ	6 ABCテレビ	6 ABCテレビ	6 ABCテレビ	6 ABCテレビ
	4 TeNYﾃﾚﾋﾞ新潟		8 関西テレビ	8 関西テレビ	8 関西テレビ	8 関西テレビ	8 関西テレビ
	5 新潟テレビ21		10 読売テレビ	10 読売テレビ	10 読売テレビ	10 読売テレビ	10 読売テレビ
			7 テレビ大阪	5 KBS京都	3 サンテレビ	5 テレビ和歌山	9 奈良テレビ

お住まいの地域	滋賀	広島	岡山	香川	島根	鳥取	山口
放送局名	1 NHK総合・大津	1 NHK総合・広島	1 NHK総合・岡山	1 NHK総合・高松	3 NHK総合・松江	3 NHK総合・鳥取	1 NHK総合・山口
	2 NHK教育・大阪	2 NHK教育・広島	2 NHK教育・岡山	2 NHK教育・高松	2 NHK教育・松江	2 NHK教育・鳥取	2 NHK教育・山口
	4 MBS毎日放送	3 RCCテレビ	4 RNC西日本テレビ	4 RNC西日本テレビ	8 山陰中央ﾃﾚﾋﾞ	8 山陰中央ﾃﾚﾋﾞ	4 KRY山口放送
	6 ABCテレビ	4 広島テレビ	5 KSB瀬戸内海放送	5 KSB瀬戸内海放送	6 BSSテレビ	6 BSSテレビ	3 TYSﾃﾚﾋﾞ山口
	8 関西テレビ	5 広島ﾎｰﾑﾃﾚﾋﾞ	6 RSKテレビ	6 RSKテレビ	1 日本海テレビ	1 日本海テレビ	5 YAB山口朝日
	10 読売テレビ	8 TSS	7 ﾃﾚﾋﾞせとうち	7 ﾃﾚﾋﾞせとうち			
	3 BBCびわ湖放送		8 OHKテレビ	8 OHKテレビ			

■表の見方

徳島
③ NHK総合・徳島
2 NHK教育・徳島
1 四国放送

徳島 — お住まいの地域
③ — チャンネル番号
NHK教育・徳島 — 放送局名

(2008年7月現在)

お住まいの地域	愛知	三重	岐阜	石川	静岡	福井	富山
放送局名	3 NHK総合・名古屋	3 NHK総合・津	3 NHK総合・岐阜	1 NHK総合・金沢	1 NHK総合・静岡	1 NHK総合・福井	3 NHK総合・富山
	2 NHK教育・名古屋	2 NHK教育・名古屋	2 NHK教育・名古屋	2 NHK教育・金沢	2 NHK教育・静岡	2 NHK教育・福井	2 NHK教育・富山
	1 東海テレビ	1 東海テレビ	1 東海テレビ	4 テレビ金沢	6 SBS	7 FBCテレビ	1 KNB北日本放送
	5 CBC	5 CBC	5 CBC	5 北陸朝日放送	8 テレビ静岡	8 福井テレビ	8 BBT富山テレビ
	6 メ～テレ	6 メ～テレ	6 メ～テレ	6 MRO	4 静岡第一ﾃﾚﾋﾞ		6 ﾁｭｰﾘｯﾌﾟﾃﾚﾋﾞ
	4 中京テレビ	4 中京テレビ	4 中京テレビ	8 石川テレビ	5 静岡朝日ﾃﾚﾋﾞ		
	10 テレビ愛知	7 三重テレビ	8 岐阜テレビ				

お住まいの地域	愛媛	徳島	高知	福岡	熊本	長崎	鹿児島
放送局名	1 NHK総合・松山	3 NHK総合・徳島	1 NHK総合・高知	3 NHK総合・福岡	1 NHK総合・熊本	1 NHK総合・長崎	3 NHK総合・鹿児島
	2 NHK教育・松山	2 NHK教育・徳島	2 NHK教育・高知	3 NHK総合・北九州	2 NHK教育・熊本	2 NHK教育・長崎	2 NHK教育・鹿児島
	4 南海放送	1 四国放送	4 高知放送	2 NHK教育・福岡	3 RKK熊本放送	3 NBC長崎放送	1 MBC南日本放送
	5 愛媛朝日		6 テレビ高知	2 NHK教育・北九州	8 TKUﾃﾚﾋﾞ熊本	8 KTNﾃﾚﾋﾞ長崎	8 KTS鹿児島ﾃﾚﾋﾞ
	6 あいテレビ		8 さんさんﾃﾚﾋﾞ	1 KBC九州朝日放送	4 KKTくまもと県民	5 NCC長崎文化放送	5 KKB鹿児島放送
	8 テレビ愛媛			4 RKB毎日放送	5 KAB熊本朝日放送	4 NIB長崎国際ﾃﾚﾋﾞ	4 KYT鹿児島讀賣TV
				5 FBS福岡放送			
				7 TVQ九州放送			
				8 TNCﾃﾚﾋﾞ西日本			

お住まいの地域	宮崎	大分	佐賀	沖縄			
放送局名	1 NHK総合・宮崎	1 NHK総合・大分	1 NHK総合・佐賀	1 NHK総合・那覇			
	2 NHK教育・宮崎	2 NHK教育・大分	2 NHK教育・佐賀	2 NHK教育・那覇			
	6 MRT宮崎放送	3 OBS大分放送	3 STSｻｶﾞﾃﾚﾋﾞ	3 RBCテレビ			
	3 UMKﾃﾚﾋﾞ宮崎	4 TOSﾃﾚﾋﾞ大分		5 QAB琉球朝日放送			
		5 OAB大分朝日放送		8 沖縄ﾃﾚﾋﾞ(OTV)			

アイコン一覧

●本機はアイコン（機能表示のシンボルマーク）によって、表示画面の情報をお知らせします。
●放送局から情報が送られてこない場合は、正しいアイコンを表示しない場合があります。

番組内容画面

アイコン	説明
テレビ	テレビ放送（映像＋音声）の番組。
ラジオ	ラジオ放送の番組。
データ	データ放送の番組。
d テレビ	番組とは別のデータ放送を行っている番組。
+d テレビ	番組内容に関連したデータ放送を行っている番組。
d ラジオ	ラジオ放送で、番組とは別のデータ放送を行っている番組。
+d ラジオ	ラジオ放送番組で、番組内容に関連したデータ放送を行っている番組。
16:9 1080i	番組の映像信号情報。 上：画面の横縦比（16：9、4：3） 下：信号方式（1080i、720p、480p、480i）
信号	映像や音声、データのいずれかを信号切り換えができる番組。
主+副	二重音声信号で、「主＋副」音声の番組。
モノラル	モノラル音声の番組。
サラウンド	5.1chなどのサラウンド放送の番組。
ステレオ	ステレオ放送の番組。
有料	有料のデータを含む番組。 （ペイ・パー・ビュー番組） CATVデジタル放送では表示されません。
デジタル XCOPY	デジタルコピーガードが、かかっている番組。（デジタルで録画できません）
マルチビュー	マルチビュー放送の番組。
アナログ XCOPY	アナログコピーガードが、かかっている番組。（アナログで録画できません）
字幕	番組の中に字幕（日本語／英語）の情報が含まれている番組。
デジタル 1COPY	1回のみデジタルコピーが可能な番組。（録画後、ダビングできません）
20才～	視聴年齢制限がある番組。（表示される年齢は4～20才まであります）
アナログ X出力	アナログ（出力1／2、D端子映像出力）出力していない番組。

お知らせ

●「デジタル1COPY」のアイコンが出ない番組でも、録画機器によってはダビングができない場合があります。

予約一覧画面

アイコン	説明
見るだけ	見るだけ予約した番組。
変更	放送開始時間が変更される番組。
録画 AVHDD / 録画 D-VHS / 録画 HDR / 録画 Ir / 録画 --	録画予約した番組。 （下：録画機器、方式）
探して毎回★	探して毎回予約で予約した番組。
検索中	時間変更追従を実行中。（時間確認中）
次回未定	探して毎回予約で次回の放送がまだ見つかっていないとき。
済取消	お客様の操作や録画機器の状態により録画が取り消されたときに表示。
月~土 / 月~金 / 毎日 / 毎週	毎週、毎日、曜日指定での予約。
済おしらせ	予約実行の途中中断、時間の変更、指定の信号で録画できない、録画機器が正しく動作していない場合。
重複	予約時間が重なっている予約。
PPV	有料のデータを含む番組。 （ペイ・パー・ビュー番組）
済	予約時間が終了した予約。
リレー	番組追従でリレーが実行されたリレー先の予約。
実行中	現在、実行中の予約。

番組ジャンル

●番組をジャンル別に検索するときに選ぶ。（☞20ページ）

 映画
音楽
ニュース・報道
劇場・公演
ドラマ
バラエティ
アニメ・漫画
趣味・教育
 スポーツ
情報・ワイドショー
ドキュメンタリー・教養
 福祉

●別に、ジャンル名をイラスト化して表示しているアイコンがあります。

その他の画面

 メール一覧画面で、お客様がまだ読まれていないメール。（未読メール）

 メール一覧画面で、お客様が既に読まれたメール。（既読メール）

予 番組表で予約された番組
（青色：見るだけ予約
赤色：録画予約
紫色：探して毎回予約

 おすすめアイコン

故障かな!?

症状	原因と処置	ページ
リモコンで操作できない	●電池が消耗していたり、電池の極性が違っていませんか？ ●リモコン受信部に向けて操作していますか？ ●電池の交換により、リモコン設定が変わる場合があります。 ●受信異常により、本機の操作ができなくなる場合があります。 →本体前面にあるリセットボタンを押していただくか電源プラグを一度抜き、しばらくした後、再度電源プラグを差し込み動作を確認してください。	11 8 87 6
ダウンロードを行ったら、受信できなくなった	●ダウンロードの内容によっては、各種設定が工場出荷時の設定値に戻る場合があります。再度設定をやり直してください。	–
チャンネル番号が画面から消えない	●画面表示ボタンで、画面表示が出る状態にしていませんか？ →再度、画面表示ボタンを押してください。	15
天面に触れると熱い	●本機は放熱のため天面の一部で温度が高くなります。品質・性能には異常ありません。（風通しの良い所に設置してください。）	6
横長映像や縦長映像になる	●「接続テレビ設定」が、接続されているテレビに合っていますか？ ●ワイドテレビの場合、映像に合った画面モードに設定されていますか？	61 –
電源「切」時にDATAランプが点灯する	●自動的に放送情報を受信するため、DATAランプが一時的に点灯する場合があります。 （通常、深夜から早朝）	8
電源「切」時にTELランプが点灯する	●自動的に視聴記録の送信を行うため、TELランプが一時的に点灯する場合があります。 （通常、深夜から早朝）	8
電源を入れても映像がすぐに出ない	●本機は電源を入れても、ソフトウェアが起動して映像を表示するまでに時間がかかる場合があります。 ●機能待機「する」に設定すると、出画時間を早くすることができます。	– 45
乱れた映像になる または 特定のチャンネルで映像が乱れる	●本機のD端子映像出力端子をご使用の場合、HDMI／D端子出力設定が間違っていないか確認してください。	61
映像も音も出ない	●テレビ側の入力切り換え（テレビ／ビデオ）は間違っていませんか？	–
画質や音質が少し悪くなった	●降雨対応放送になっていませんか？ →雨の影響により、衛星からの電波が弱くなっている場合は、ケーブルテレビ局で電波が弱くても受信可能な降雨対応放送に切り換える場合があります。降雨対応放送は画質、音質が少し悪くなります。天候が回復すれば、元の画質や音質に戻ります。	95
電話機にノイズ（雑音）が入る 電話回線につないでいるとき電話機やファクシミリに呼び出し音が鳴る	●モジュラー分配器を使用すると、一部の電話機やファクシミリで、この症状が出る場合があります。 → 市販の自動転換器または、電話回線用ノイズフィルター（雑音防止器）で改善される場合があります。詳しくはご使用の電話機やファクシミリなどのメーカーへご相談ください。 → 市販の自動転換器（パソコン対応用）を使用すると改善される場合があります。詳しくは、ご使用の電話機やファクシミリなどのメーカーへご相談ください。	–
字幕や文字スーパーが出ない	●メニュー画面などが表示されていませんか？ →元の画面ボタンを押して、メニューや操作説明画面などを消してください。 ●「字幕の設定」の「字幕」や「文字スーパー」が「オフ」に設定されていませんか？ →「オン」にしてください。 ●「字幕の設定」の「字幕言語」や「文字スーパー言語」の設定が放送の言語と一致していますか？ →放送の言語に設定を合わせてください。 ●字幕や文字スーパーのある番組を選局していますか？ →字幕は、「字幕」のアイコンが表示されている番組で表示されます。	– 42 42 90
有料放送の視聴ができない	● IC カードが正しく挿入されていますか？ ●有料放送を視聴するための手続きはされていますか？ →視聴契約手続きをしてください。 ●電話回線が正しく接続されていますか？ ●「電話設定」が正しく設定されていますか？ ●ネットワークの接続は正しくされていますか？ →「ネットワーク接続テスト」が「OK」か確認してください。	51 – 50 60 54 65
画面に「購入できませんでした。」などが表示され、購入または予約ができない状態が続く	●電話回線の接続や設定は正しいですか？ →電話回線を接続し、「電話設定」を正しく行ってください。 ● IC カードは正しく挿入されていますか？ ●ネットワークの接続は正しくされていますか？ →「ネットワーク接続テスト」が「OK」か確認してください。	50 60 51 54 65
Ir システムで録画機器の録画予約ができない	● Ir システムケーブルは正しく接続されていますか？ ●「Ir システム設定」は正しいですか？ ●録画機器は正しく準備できていますか？ →録画機器の電源や、ビデオテープなどは必ず確認してください。	76 76 26

故障かな!?

症状	原因と処置	ページ
Irシステム設定が変更できない	●予約されている番組を全て削除して再設定してみてください。 →Irを使用する録画予約が設定されていると、Irのメーカー、種類などは変更できません。	33
i.LINK操作やi.LINKでの録画予約ができない	●本機に対応していないi.LINK対応機器を接続していませんか？ →本機で制御できるi.LINK対応機器は当社製D-VHSビデオデッキなどのi.LINK対応機器2台までです。 ●「i.LINK接続設定」で「使用」を「する」に設定されていますか？ （「しない」に設定していると操作できません） ●録画機器側の設定は正しいですか？ →i.LINKケーブルを抜いた状態で本機のi.LINK接続設定を削除してから、録画機器側の設定を変更してください。	70 72 72
i.LINK接続したHDDレコーダーの機器名をAVHDDと認識しない	●HDDレコーダーでD-VHSモードからDISCモードへ切り換えても本機が機器名をAVHDDと認識しない場合は、i.LINKケーブルを抜いた状態で本機のi.LINK接続設定（D-VHSで認識）を削除してから、HDDレコーダーの設定を変更してください。 詳しくは、HDDレコーダーの取扱説明書をご覧ください。	72
i.LINKでの録画予約を失敗したまたは中断した	●当社製ブルーレイディスクレコーダー／DVDレコーダー（ディーガ）での録画中にディーガを操作する、または重複するディーガ側の録画予約が開始するとi.LINK録画が失敗または中断する場合があります。 →ディーガの設定や注意事項など詳しくはディーガの取扱説明書をご覧ください。 ディーガ以外の録画機器でも同様の注意が必要な場合があります。詳しくは、録画機器の取扱説明書をご覧ください。	28
見るだけ予約が実行されない	●見るだけ予約をして、電源が「切」になっていませんか？ →見るだけ予約した場合、電源を「切」にしていると予約が実行されません。	19
時間指定予約で英語の音声が録画できない	●英語が第一音声で放送されていますか？ →デジタル放送では、英語（日本語以外）の音声が、第一音声の二重音声（主または副音声）として放送される場合と、2つ目の音声信号（第一音声または第二音声）として放送される場合があります。 詳しくは、番組内容で詳しい内容（属性）をご確認ください。 →番組表からの録画・視聴予約では、音声信号が複数ある場合や、二重音声で放送される場合、状況に応じて音声信号を予約設定（信号設定）することができます。	14 30

メッセージ表示一覧

本機では、メールで送られてくる情報とは別に、状況に合わせて「メッセージ」が表示されます。主なメッセージとその内容は下記の通りです。

メッセージ	内容
購入できません。本機の接続・設定を確認のうえ、ご加入のケーブルテレビ局へ連絡してください。	購入記録が送信できず、ICカードの記録容量を超えている場合などに表示されます。電話回線やネットワークの接続・設定をご確認ください。（☞50、54、60、64ページ）
現在、受信できません。	受信するための送信データが異常の場合に表示されます。
視聴できません。 視聴するには、「決定」ボタンを押してください。	有料番組の購入をしなかった場合などに表示されます。 決定ボタンで、再度選局操作が行えます。
気象条件などにより、信号品質が低下しています。	雨等の影響により、衛星からの電波が弱くなったため、ケーブルテレビ局で引き続き放送を受信できる降雨対応放送に切り換えると表示されます。画質、音質が少し悪くなります。また、番組情報も表示できない場合もあります。
緊急警報放送が開始されました。「決定」ボタンで選局、「戻る」ボタンで本メッセージを非表示にします。	緊急警報放送が始まると表示されます。必ず放送内容を確認するようにしてください。
C-CASカードを正しく挿入してください。	ICカードの挿入方向の間違い、または使用できないカードが挿入されると表示されます。本機専用のICカードを正しく挿入してください。（☞51ページ） ICカードが挿入されていない場合にも表示されます。
B-CASカードを正しく挿入してください。	
C-CASカード（またはB-CASカード）の交換が必要です。ご加入のケーブルテレビ局へ連絡してください。	ICカードの交換が必要なときに表示されます。 ご加入のケーブルテレビ局にご相談ください。
このC-CASカード（またはB-CASカード）は使用できません。ご加入のケーブルテレビ局へ連絡してください。	
信号が受信できません。ケーブルの接続を確認してください。接続に問題がない場合は、ご加入のケーブルテレビ局へ連絡してください。	●ケーブル宅内線の接続不良などでケーブル入力信号が正しく入力されていないと表示されます。 ケーブル宅内線の接続などを確認してください。 ●天候の影響などでケーブルテレビ局において受信障害が発生している、または放送されていないチャンネルを選局していると表示される場合があります。
チャンネル制限が設定されている為選局できません。	視聴制限のチャンネルスキップ設定でスキップ設定したチャンネルを選局しています。（☞43ページ）
このチャンネルはご覧いただけません。ご加入のケーブルテレビ局へ連絡してください。	視聴するために契約が必要な番組を選局すると表示されます。 ご加入のケーブルテレビ局にご相談ください。
視聴条件によりご覧いただけません。ご加入のケーブルテレビ局へ連絡してください。	
このチャンネルは契約されていません。ご加入のケーブルテレビ局へ連絡してください。	
ご契約の確認をしております。 しばらくお待ちください。	視聴するために契約が必要な番組を選局すると表示されます。 しばらく待って選局されない場合は、ご加入のケーブルテレビ局にご相談ください。
番組がワイド放送の場合、両端を切り取った映像に変換して出力します。 （データ放送時を除く）	ワイド（16：9）放送の番組を予約するときに、予約設定の「その他の設定」画面で「サイドカット」を「する」に設定すると表示します。両端に黒帯がある映像の場合、黒帯部分を切り取った映像で録画できますが、黒帯の無い映像の場合に設定すると、映像の両端が切り取られた映像になりますので、ご注意ください。（☞16ページ）

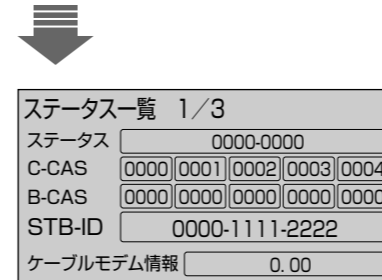
メッセージ表示一覧

ブラウザ関連のメッセージ表示

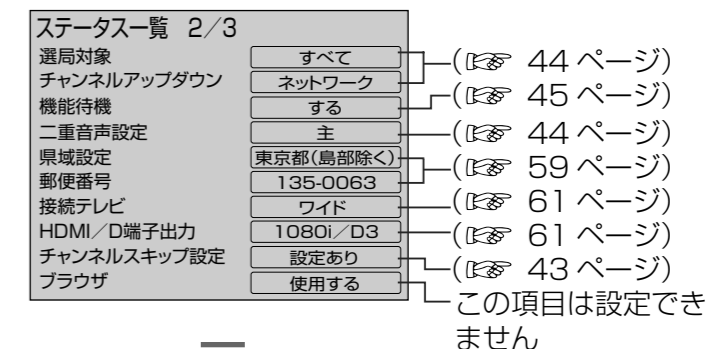
ネットワーク設定の接続テスト時やブラウザ使用時およびデータ放送からのお好みページ操作時などの主なエラーメッセージと内容は、下記の通りです。

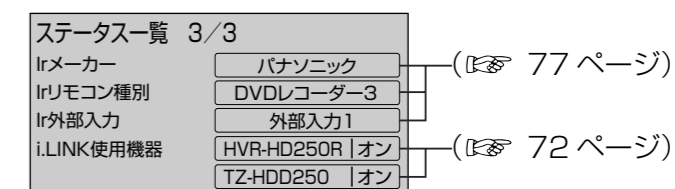
<table>
<tr><th>メッセージ(エラーコード)</th><th>内容</th></tr>
<tr><td>IPアドレスが設定されていません。
本機の「ネットワーク設定」をご確認ください。
(C201)</td><td rowspan="4">ご加入のケーブルテレビ局にご相談ください。</td></tr>
<tr><td>IPアドレスが取得できませんでした。
接続や設定をご確認ください。(C203)</td></tr>
<tr><td>接続テストに失敗しました。
ゲートウェイが応答しません。
接続や設定をご確認ください。(C207)</td></tr>
<tr><td>IPアドレスの重複を検出しました。
設定をご確認ください。(C204)</td></tr>
<tr><td>接続テストを実行できませんでした。(C205)</td><td rowspan="2">一度、本機の電源プラグをコンセントから抜いて入れなおして、再度実行してください。それでも症状が改善しない場合、ご加入のケーブルテレビ局にご相談ください。</td></tr>
<tr><td>アドレスが正しく設定できませんでした。(C206)</td></tr>
<tr><td>接続サイト先の証明書の検証で問題がありました。
接続先の安全性が確認できませんが接続しますか?サイト名:○○○○</td><td>接続先サイトが安全かどうかの確認ができませんでした。
このまま接続することもできますが、接続しないことをお勧めします。しばらく待って再度実行すると、接続先の安全性が確認できる場合もあります。</td></tr>
</table>

ステータス一覧

1 [ステータス] を押す

●TZ-DCH1520、TZ-DCH1820のみケーブルモデム情報が表示されます。

[赤] を押す

ステータス一覧の2ページ目設定情報を表示します。

[赤] を押す

ステータス一覧の3ページ目接続機器情報を表示します。

●[青]で1つ前のページに戻ります。

([元の画面] でテレビ放送の画面に戻る)

お手入れについて

キャビネットをいためないために次の点にお気をつけください。

●殺虫剤、ベンジン、シンナーなど揮発性のものをかけないでください。
　変質したり、塗料がはげることがあります。
●ゴムやビニール製品などを長時間接触したままにしないでください。跡がつくことがあります。
●汚れは柔らかい布でふきとってください。汚れがひどいときは、水で薄めた台所用洗剤(中性)に浸した布をかたく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。
●化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
注意	「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

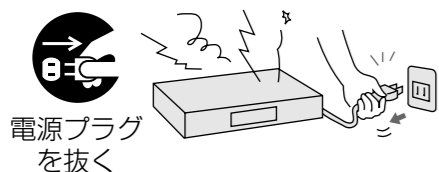
■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。（次は図記号の例です）

	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。
	気をつけていただく内容です。

警告

異常が発生したときはすぐに使用をやめてください。

そのまま使用すると火災・感電の原因となりますので、すぐに電源プラグをコンセントから抜いてご加入のケーブルテレビ局にご相談ください。

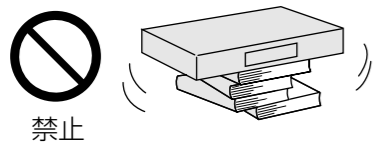
■故障や煙が出ている、へんな臭いや音がしたら電源プラグを抜く！

電源プラグを抜く

煙が出なくなるのを確認して修理をご加入のケーブルテレビ局にご依頼ください。
お客様による修理は危険ですから、おやめください。

■内部に異物や水などの液体が入ったり、落としたり、カバーが破損したら、電源プラグを抜く！

電源プラグを抜く

■不安定な場所に置かないでください

禁止

ぐらついた台の上や傾いた所などに置くと倒れたり、落ちたりしてけがの原因となります。

■水などの液体が入った容器を置かないでください

水ぬれ禁止

水などの液体がこぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

（花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器）

■ぬらしたりしないようにしてください

水ぬれ禁止

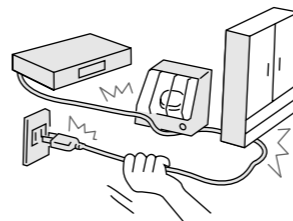
火災・感電の原因となります。

警告

電源コードについて

■電源コードや電源プラグを破損するようなことはしないでください

（傷つける、加工する、熱器具に近づける、重いものを載せる、無理に曲げる、ねじる、引っぱる、束ねる、加熱する　など）

禁止

芯線の露出、ショート、断線により火災・感電の原因となります。

- 電源コードやプラグの修理は、ご加入のケーブルテレビ局にご相談ください。

■電源プラグにほこりがたまらないよう、定期的に掃除をしてください

湿気などで絶縁不良になり火災・感電の原因となります。
電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

■電源プラグは根元まで確実に差し込んでください

差し込みが不完全ですと感電や発熱による火災の原因となります。

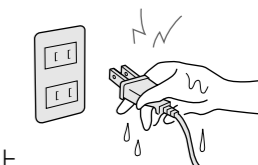
- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

■コンセントや配線器具の定格を超える使い方や交流100 V以外では使用しないでください

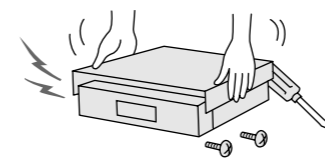
禁止

たこ足配線などで、定格を超えると発熱により火災の原因となります。

■ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください

ぬれ手禁止

感電の原因となります。

■カバーを外したり、改造したりしないでください

分解禁止

内部に触れないでください。火災・感電の原因となります。

- 内部の点検・調整・修理はご加入のケーブルテレビ局にご相談ください。

■電源コードは本機に付属のもの以外は使用しないでください

禁止

火災や感電の原因となります。

■異物を入れないでください

禁止

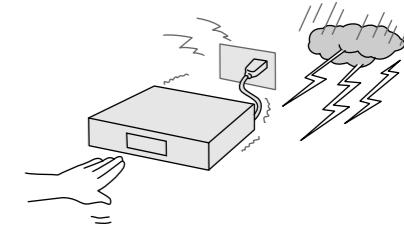
通風孔やICカード挿入口などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。

- 特にお子様にはご注意ください。

■雷が鳴りだしたら、機器やケーブルには触れないでください

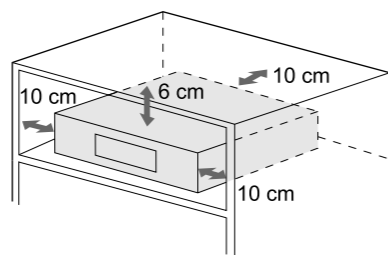
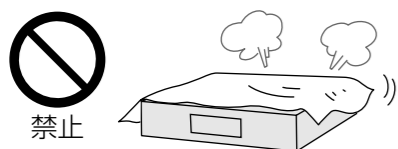
接触禁止

感電の原因となります。

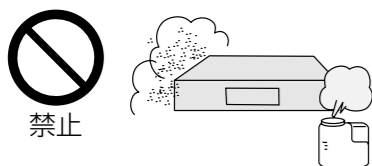
安全上のご注意　必ずお守りください

⚠ 注意

■ 本機の通風孔をふさがないでください

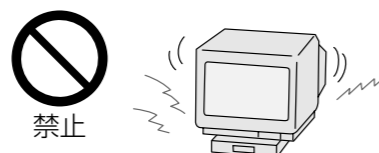
禁止

内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがありますので次の点にご注意ください。
● テレビ台などに設置した場合、上側が6 cm以上、左右と後側が10 cm以上の間隔をあけて据えつけてください。

● 押し入れ、本箱など風通しの悪い狭い所に押し込まないでください。
● テーブルクロスを掛けたり、じゅうたんや布団の上に置かないでください。
● あお向けや横倒し、逆さまにしないでください。

■ 湿気やほこりの多い所、油煙や湯気があたるような所に置かないでください

禁止

調理台や加湿器のそばなどに置くと火災・感電の原因となることがあります。

■ 上に物を置かないでください

禁止

バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。

■ 機器に乗らないでください

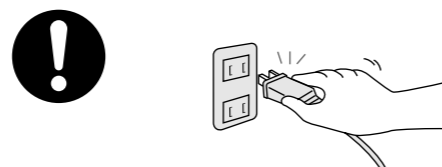
禁止

倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。
● 特に小さなお子様にはご注意ください。

■ 長期間ご使用にならないときは電源プラグをコンセントから抜いてください

電源プラグを抜く

電源プラグにほこりがたまり火災・感電の原因となることがあります。

■ 電源プラグを抜くときは、プラグを持って抜いてください

コードを引っぱると、コードが破損し、感電・ショート・火災の原因となることがあります。

⚠ 注意

リモコンについて

■ 電池を入れるときには、極性表示（プラス⊕とマイナス⊖の向き）に注意してください

機器の表示通り正しく入れてください。間違えますと電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

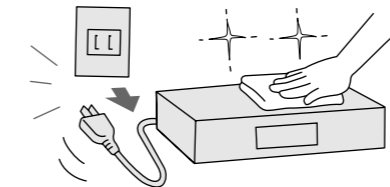
■ 新しい電池と古い電池を混ぜたり、指定以外の電池を使用しないでください

禁止

間違えますと電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

お手入れについて

■ お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください

電源プラグを抜く

感電の原因となることがあります。

■ 移動されるときは、必ず接続線を外してから行ってください

コードや接続している機器が傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

● 電源プラグやケーブルテレビ宅内線、機器間の接続線を外したことを確認のうえ、行ってください。

仕様

お客様のご使用機種の品番について

本体背面の機種品番表示でご確認いただくか、または49ページの「情報を見る」→「ステータス表示」画面のステータスでご確認ください。

例：フロントパネルがTZ-DCH520、ステータスが「0070-101B」の場合、ご使用の機種の品番はTZ-DCH520Bです。

品名	CATVデジタルセットトップボックス			
品番	TZ-DCH520	TZ-DCH520B	TZ-DCH820	TZ-DCH820B
使用電源	AC100 V　50 Hz／60 Hz両用			
消費電力	電源オン 11 W 電源オフ 0.1 W 機能待機時 7 W	電源オン 10 W 電源オフ 0.1 W 機能待機時 7 W	電源オン 11 W 電源オフ 0.1 W 機能待機時 7 W	電源オン 10 W 電源オフ 0.1 W 機能待機時 7 W
デジタル放送	●受信変調方式：64QAM(31.644 Mbps)、受信周波数帯域：90 MHz~770 MHz、入力レベル：49~81 dBμV(平均値) ●受信変調方式：OFDM(23.33 Mbps)、受信周波数帯域：90 MHz~770 MHz、入力レベル：47~81 dBμV(平均値) ※OFDMはTZ-DCH820/TZ-DCH820Bのみ対応			
ケーブルモデム	—			
接続端子	●ケーブル端子：F型接栓、75 Ω ●分配出力端子：F型接栓、75 Ω ●D端子映像出力端子：D1／D2／D3／D4映像 (Y) 1.0 V[p-p]、75 Ω (PB、PR) 0.7 V[p-p]、75 Ω ●出力1／出力2端子：S1／S2映像 ((Y) 1.0 V[p-p]、75 Ω (C) 0.286 V[p-p]、75 Ω) 映像 (1.0 V[p-p]、75 Ω) 音声 (250 mV[rms] (標準)、2.2 kΩ以下) ●光デジタル音声出力端子：－18 dBm 660 nm ●電話回線(モジュラー)端子：V.22 bis (2 400 bps)、MNP4 (着呼機能なし) ●Irシステム端子：Irシステムケーブル用 ●i.LINK端子(2系統)：IEEE1394準拠 ●HDMI映像・音声出力端子 ●LAN端子(100BASE-TX)			
外形寸法	幅28 cm・高さ5.9 cm(脚含む)・奥行き29.1 cm(端子含む)			
質量	1.5 kg			
環境条件	使用周囲温度範囲 0 ℃～40 ℃　許容相対湿度範囲 10 %～80 %(結露のないこと)			

品名	CATVデジタルセットトップボックス			
品番	TZ-DCH1520	TZ-DCH1520B	TZ-DCH1820	TZ-DCH1820B
使用電源	AC100 V　50 Hz／60 Hz両用			
消費電力	電源オン 16 W 電源オフ 0.1 W 機能待機時 12 W	電源オン 15 W 電源オフ 0.1 W 機能待機時 12 W	電源オン 16 W 電源オフ 0.1 W 機能待機時 12 W	電源オン 15 W 電源オフ 0.1 W 機能待機時 12 W
デジタル放送	●受信変調方式：64QAM(31.644 Mbps)、受信周波数帯域：90 MHz~770 MHz、入力レベル：49~81 dBμV(平均値) ●受信変調方式：OFDM(23.33 Mbps)、受信周波数帯域：90 MHz~770 MHz、入力レベル：47~81 dBμV(平均値) ※OFDMはTZ-DCH1820/TZ-DCH1820Bのみ対応			
ケーブルモデム	●受信変調方式：64QAM/256QAM(Annex.B)、受信周波数帯域：90 MHz~770 MHz、入力レベル49~79 dBμV(平均値) ●送信変調方式：QPSK/16/32/64/128QAM、送信周波数帯域：10 MHz~55 MHz、出力レベル68~118 dBμV			
接続端子	●ケーブル端子：F型接栓、75 Ω ●分配出力端子：F型接栓、75 Ω ●D端子映像出力端子：D1／D2／D3／D4映像 (Y) 1.0 V[p-p]、75 Ω (PB、PR) 0.7 V[p-p]、75 Ω ●出力1／出力2端子：S1／S2映像 ((Y) 1.0 V[p-p]、75 Ω (C) 0.286 V[p-p]、75 Ω) 映像 (1.0 V[p-p]、75 Ω) 音声 (250 mV[rms] (標準)、2.2 kΩ以下) ●光デジタル音声出力端子：－18 dBm 660 nm ●電話回線(モジュラー)端子：V.22 bis (2 400 bps)、MNP4 (着呼機能なし) ●Irシステム端子：Irシステムケーブル用 ●i.LINK端子(2系統)：IEEE1394準拠 ●HDMI映像・音声出力端子			
外形寸法	幅28 cm・高さ5.9 cm(脚含む)・奥行き29.1 cm(端子含む)			
質量	1.6 kg	1.5 kg	1.6 kg	1.5 kg
環境条件	使用周囲温度範囲 0 ℃～40 ℃　許容相対湿度範囲 10 %～80 %(結露のないこと)			

リモコン

使用電源	DC3 V(単3形乾電池2個使用)
操作距離・範囲	約7 m以内(本体正面距離)、左右各約30°以内、上下各約20°以内
質量	約170 g(乾電池含む)

● 本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

※ 本機を使用できるのは、日本国内のご加入されているケーブルテレビ局サービスエリア内のみで外国では放送方式、電源電圧が異なりますので使用できません。

* This device can only be used inside Japan in areas that are covered by subscription cable TV services. Because of differences in broadcast formats and power supply voltages, it cannot be used in overseas countries.

ブラウザ仕様

記述言語	HTML4.0準拠
スタイルシート規格	CSS1/CSS2(Subset)
動作記述言語	JavaScript 1.4/ECMAScript(ECMA-262)
セキュア通信	SSL2.0/SSL3.0/TLS1.0
Cookie	バージョン0
モノメディア(静止画)	JPEG、PNG、GIF
プラグイン	なし
文字入力	画面キーボード方式、携帯電話(リモコン)方式
画面解像度	800×450
カラーモデル	フルカラー

●日本語変換はオムロンソフトウエア(株)のモバイルWnnを使用しています。

さくいん

「安全上のご注意」を必ずお読みください
(☞98～101ページ)